

会長のページ 地域医療における在宅医療	河野 雅行	3
日州医談 医師資格証について	荒木 早苗	4
随 筆 これからはイクメンの時代	谷口 二郎	8
固執したい邪馬壹国九州説	古賀 繁喜	10
エコー・リレー(470)	岩崎 直哉, 下村 直也	18
メディアの目 東九州新幹線	赤崎 公一	22
宮崎大学医学部だより(外科学講座泌尿器科学分野)	分田 裕順	23
部会だより(勤務医部会)	豊田 清一	24
ニューメンバー	小田 弥生	56
診療メモ 救急救命士の処置範囲拡大について	落合 秀信	84

表彰・祝賀	6
各都市医師会だより(児湯医師会, 西都市西児湯医師会)	14
あなたできますか?(平成 25年度医師国家試験問題より)	19
宮崎県感染症発生動向	20
各種委員会(医学会誌編集委員会)	25
ベストセラー	25
県医師会と県福祉保健部・病院局との意見交換会	26
第 58回九州ブロック学校保健・学校医大会 平成 26年度九州学校検診協議会(年次大会)	30
平成 26年度九州学校検診協議会第 1 回専門委員会	34
九州医師会連合会第 34回常任委員会	38
九州医師会連合会第 10回定例委員総会	39
日医インターネットニュースから	42
薬事情報センターだより(329) 新薬紹介(その 72)	44
医師国保組合だより	46
理事会日誌	48
県アイバンク協会に寄付がありました	53
県医の動き	54
追悼のこぼれ	55
第 15回宮崎県医師会医家芸術展	57
会員の異動・変更報告	58
ドクターバンク情報	61
行 事 予 定	65
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	69
宮大医学部学生のページ(第 10回清花祭)	86
あ と が き	90
~~~~~	
お知らせ 県医師会在宅医療協議会入会のご案内	29
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ	37
クールビズについて	41
「新春随想」原稿募集	45
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	52
女性医師メーリングリストのご案内	53
宮崎県医師会医療情報コーナー	56
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	67
カット, イラストの募集	83
郡市医師会への送付文書	88

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 写真〕

### 天高く

10月に入ると早朝の韓国岳山頂はひんやりと澄んだ空気に覆われます。漆黒の世界から東の空に微かに明るさを感じるようになる頃、群青色の空がゆっくりと姿を現します。天空を覆う鱗雲が印象的で、高千穂峰と新燃岳のシルエットを思い切り低く配してみました。

小林市 矢野裕士

## 会長のページ

## 地域医療における在宅医療

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

来年度福祉予算が自然増を加えて30兆円を超えた。そのうち、医療に関しては1/3の10兆円程を占める。加えて元気な若年者の減少、医療を要する高齢者の増加等、医療費の増大を示唆する要素が大きく、国も危機感を募らせている。今後は医療・福祉予算縮減に拍車が掛かると思われる。その一策として、在宅医療を再度重視する方向性が示され、今回の診療報酬改定でも在宅医療を推進すべき処置が盛り込まれている。

我が国では古くは、大部分の国民は在宅での医療、看取りが普通であり、医療・福祉が生活の場と一体であった。その後、集約的・高密度な医療が施される入院が増える傾向となり、特に昭和の後半には核家族化が進み、介護も兼ねた社会

的入院も増え、病医院での看取りが8割を超えた。

平成6年に在宅医療の方針が決定し、20年を経て浸透しないのは様々な問題がある。一つは、財政的な理由が主で国が簡単に方針を決めても、性急な体制変化は医療現場に混乱を招くばかりである。また、在宅の定義が大きく異なっている。家族の在り方の変化により、在宅医療を受け入れるべき場所がなく、家族がいない。この傾向は少子化も相俟って更に深刻になっている。看取りまで含めた対策が必要で、国民・社会の意識を変えない限りは困難である。一方、帰るべき場所の確保ができない人々の受入れ先となる在宅老所や諸々の老人施設に対する今回の診療報酬の配分を見ると、結果的に在宅医療を制限している印象も拭えない。単に財政的な理由であれば、既存の有床診療所の活用が最も有効で容易であったと思われる。現在の医療費と介護費を足した額よりも、以前の形態から推測される医療費単独の方が、安上がりではないか。

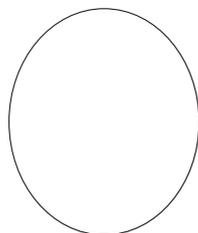
しかし、活用すべき有床診療所が過去の国の施策によって消滅寸前にある。往時は全国津々浦々に存在し、地域医療の中心的役割を担っていた有床診療所が現在では激減し、更に減少傾向にある。

また、在宅医療現場で活動するのは医師、看護師のみではなく、介護関係、行政、家族、その他様々な人々が関与している。その間の意思統一や意思疎通を図ることが困難な上に、家族の対応も種々である。更には緊急時のバックアップ体制の不備も挙げられる。そこで、地域包括ケア体制の整備が急がれることになったが、在宅医療の現状は、熱心な先生方の奉仕精神に委ねられている部分が多い。今一つの問題は、在宅医療を行う医師は単なるゲートキーパーでは終われない。各科の医師が極端に専門分化してしまったために、現場の医師が在宅医療に取り組もうとしても、全ての疾患への対応を要求されることに戸惑いを感じている。最近になり、総合診療医の教育・研修が始まったが、全国に充足するには時間を要するし、すぐに現場で実践するには様々なハードルがある。更に、現在進行中の新専門医制度の行方も不透明である。

このように問題点は数多いが、社会構造が変化していく以上、在宅医療が将来、地域医療の主流となるのは必須で、今こそ、皆で知恵を出し合い積極的に取り組むべき時である。国が推奨しているように医療、介護、行政、家族、地域までも含めた地域包括ケアの充実・整備が望まれる。最も重要なのは在宅医療も地域医療の一部であり、医療が中心として活動すべきで、会員諸先生方のご協力をお願いしたい。

(平成26年9月30日)

## 日州医談



## 医師資格証について

常任理事 ^{あら} 荒 ^き 木 ^さ 早 ^{なえ} 苗

「私は医師です」

そう言う人が本当に医師資格を持っているのか？同じ医学部の卒業生，医局の同門，地域で普段から交流のある医師同士であれば間違いのないかもしれない。しかし，現実には時に「なりすまし医師」が診療を行い，社会問題となることがある。2011年，被災地で住基カードとそっくりの「医師国家資格認定証」（実在しない）を使って医師を名乗り，診療行為を行っていた偽医師がいた。また，2012年には複数の医療機関で健康診断を行っていた偽医師が明らかになったが，その人物はインターネットから他人の「医師免許証」のコピーを入手し，名前を書き換えて偽造していた。

以前は，ほとんどの医師は大学の医局に所属し，医局が地域の医療機関に医師を派遣していた。しかし，2004年の新臨床研修医制度の開始後は医局に所属しない医師が急増し，また最近では人材派遣会社を利用した医師の転職や派遣も増えてきており，医師の身元確認は今まで以上に困難となっている。

また，近年の医療・医学の高度化，細分化，専門分化は著しく，患者の医療に関する要求も先鋭化している。医師不足や医師の偏在の問題もある。医療情報を共有し，医療機関の連携を図ることは地域医療を守るためにも，患者の満足度を上げるためにも有用な解決方法のひとつとなっている。医療分野における急速なIT化とも相俟って，ITを活用した地域連携も年々増加しつつあり，2013年の日医総研の調査では，地域医療再生計画によるITを利用した地域医療連携数は全国で7か所となっている。しかし，ITの持つ特性から，ネットワーク回線を用いた非対面での情報のやり取り，医療に関わる電子文書の信ぴょう性の確保など，セキュリティーや

個人情報保護の面について懸念する声も挙がっている。

現実の世界においても，ネットワークの世界においても，医師の資格を証明するしくみが求められている。

日本医師会認証局

日本医師会では従前より医療のIT化を進めるとともに，安全で安心して使えるIT基盤を実現するための検討も同時に重ねてきた。その検討結果のひとつが，公開鍵認証基盤（PKI：Public Key Infrastructure）の枠組みを使った日本医師会による認証局「日本医師会認証局」であり，「電子署名」と「認証」の機能を提供している。「電子署名」とは，電子化された医療文書に対して医師本人が書いたことの証明と改ざんの検知をすることであり，「認証」とは，クラウド・コンピューティングのような環境の中で，医師本人を確認して医療情報の閲覧の記載をすることである。

2013年5月，日本医師会の内部付属機関として日本医師会電子認証センターが正式に発足し，医師資格を証明する電子証明書（ICカード）の発行事業ならびにセキュリティーを確保した医療IT基盤の整備事業を本格的に開始した。

医師資格証

日医電子認証センターがネットワーク上で医師資格を証明するために発行している電子証明書は，ICカードのチップの中に格納され，電子的な医師の印鑑の機能やログイン時の医師資格確認のために利用することができる。本来はIT世界における医師資格を証明するために作成されたものであったが，なりすまし医師等への対策として，現実の世界においても医師の資格保有を証明できるように，医師資格保有者であることがICカードの券面に記載された。これが医師資格証である。

医師資格証を活用することで、IT 世界においても現実世界においても、医師であることを患者や国民に証明することができるようになった。

#### 受付審査局・地域受付審査局

医師資格証を発行する際には、厳密な本人確認と医師資格保有の審査が必要である。これらの確認・審査・登録は、最終的に日医電子認証センターの受付審査局で行われる。

医師資格証の発行申請には、必要な各種書類と共に医師免許証の原本の提示が必要となるため、より医師本人と繋がりの近い都道府県医師会等が受付審査の一次機能を担う仕組みが準備されつつある。この組織が地域受付審査局である。宮崎県医師会にも、本年 9 月 18 日に地域受付審査局が設置され、医師資格証の申請、受付が可能となった。地域受付審査局では、発行に必要な各種書類と医師免許証原本を対面で受付審査を行い、その審査結果を本センターの審査局に送付する役割を担っている。

#### 医師資格証の今後の展望

日医は医師資格証の今後の展望について、以下のように述べている。

##### 1. 身分証としての活用

医師資格証に顔写真を貼付していることで、身分証としての活用が可能となった。医師会等の内部的には既に身分証として活用するこ

とは可能だが、今後、例えば緊急災害時(JMAT 等)や交通機関で急病人対応のような時に提示して、医師資格保有者であることを証明できるようなカードとして使えるように、また、平時でも各医療機関の採用時における資格確認に利用できるよう、各行政機関にも働きかけをしていく予定である。

##### 2. オフラインでの活用

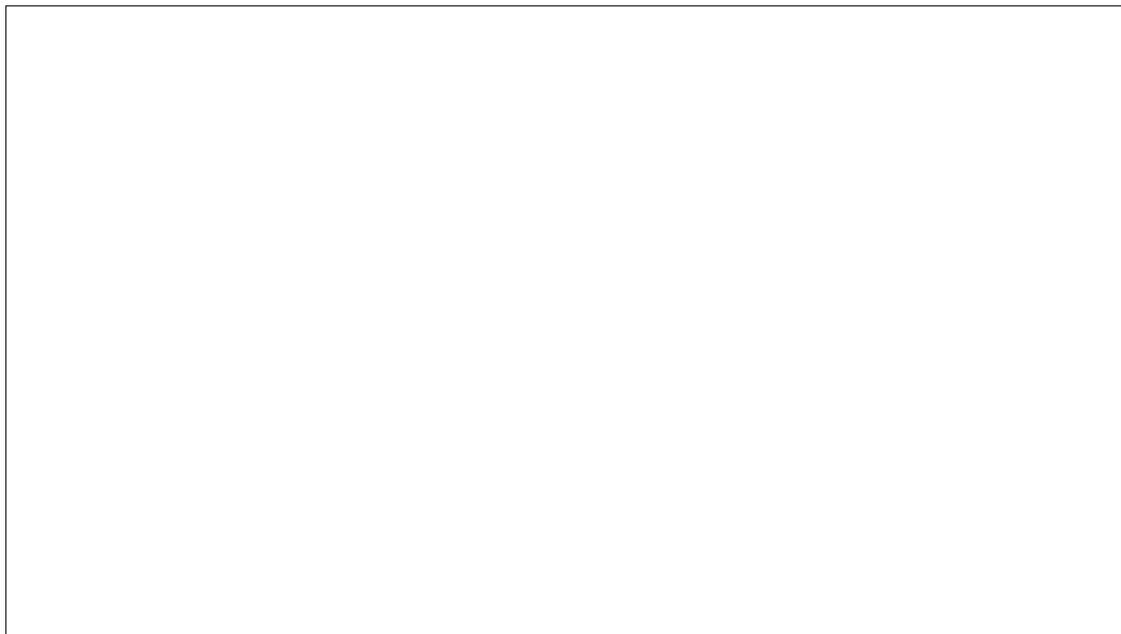
非接触タイプのカードの特性を生かして、セミナーや講習会時にお財布携帯のようなイメージで、カードを読み取り機にかざすだけで出席の管理ができるような仕組みを構築する。

##### 3. オンラインでの活用

これまでの日医認証局の取組みである、IT 世界での「署名」と「認証(通行証)」を更に啓発・普及をする。

今後、医師資格証が普及し、さらに活用の幅が広がることを期待したい。

医師資格証の詳細については、日本医師会電子認証センターのウェブサイト(<http://www.jm-acamed.or.jp/>)をご覧ください、発行を希望される方は宮崎県医師会の医師資格証担当までご連絡ください。



## 表彰・祝賀

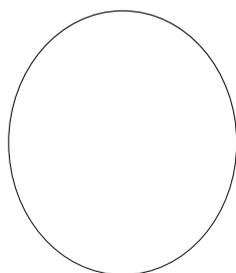
## 救急医療功労により県知事表彰

なか むら のり お  
中 村 典 生 先生（宮崎）

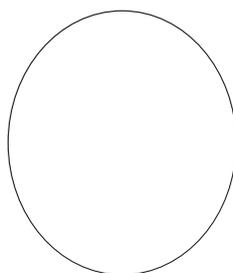
かり や とし ろう  
仮 屋 敏 郎 先生（都城）

なが ぬま こうざぶろう  
長 沼 弘三郎 先生（延岡）

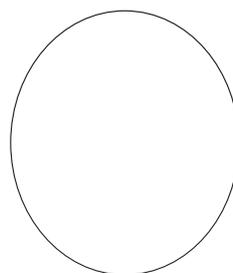
9月4日，救急医療功労者として県知事表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



中村 先生



仮屋 先生

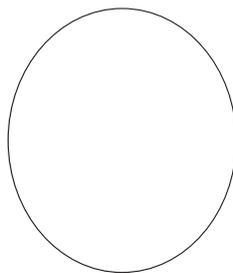


長沼 先生

## 救急医療功労により厚生労働大臣表彰

かね まる れい ぞう  
金 丸 禮 三 先生（宮崎）

9月9日，救急医療功労者として厚生労働大臣表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

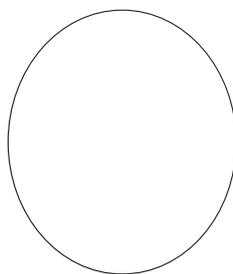


金丸 先生

## 産科医療功労により厚生労働大臣表彰

いけのうえ つよむ  
池ノ上 克 先生（宮崎）

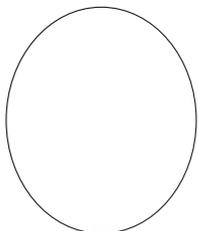
9月30日，産科医療功労者として厚生労働大臣表彰をお受けになりました。  
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



池ノ上 先生



## 随 筆



## これからはイクメンの時代

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たに ぐち じ るう  
谷 口 二 郎

今年の4月から、保健センターで親子手帳を交付する際「パパのイクメン手帳」というものが一緒に交付されている。それは父親にも育児に積極的に参加してもらうためである。

数年前からハンサムな男性をイクメンというようになり、それを文字で育児に熱心な男性をイクメンというようになった。今やイクメンという言葉を知らない人はいないという位がポピュラーな言葉になっている。

30年前位から夫立会い分娩というものが知られるようになった。当院は開業した30年前位から立会い分娩をしていたのだが中々理解されなかった。それまでは分娩室というものは神聖な場所で、男が立ち入るなんていうのは許されてなかった。だから我が子が生まれる時は外の廊下のイスに腰かけ、中からうぶ声が聞こえ初めて自分の子供が生まれたことを知っていたのである。

始めた最初の頃、年配の男性から「あんたの所はお産の時ダンナを立会いさせるそうだが、そんなことするのなら私の娘は他の所でお産をさせるからな」というような電話がよくかかっていた。どうやら赤ちゃんが出てくる所を見せるのが立会い分娩と思っていたらしい。その後テレビでも紹介され、徐々にその誤解もとけていった。

今や7割の父親が分娩に立ち会う時代になり、かえって立ち会わない方が批難的的になっている。それほどポピュラーになっているのだ。と

同時に父親の育児参加というのも増え、イクメンという言葉も今や違和感なく使われている。

さて、このイクメン手帳は中々うまく出来ている。最初のページに「パパになれる方へ」という欄には次のように書いてある。「奥様の妊娠おめでとうございます。はじめて奥様から妊娠を告げられた時の気持ちはいかがでしたか。子どもを授かった喜びを感じる反面、これからのように対応していったらいいのか不安な気持ちになられたのではないのでしょうか。これから取り組まれる育児は、長い人生のほんの一時期です。そして、何ものにも代えがたい子どもと過ごす貴重な時間でもあります。このイクメン手帳は、育児に必要な情報を提供するとともに、子どもの成長記録となるように作成しています。これから取り組む育児を、ママのお手伝いとしてではなく、積極的に関わり楽しく充実したものにしてください。そして、子どもが成人式を迎えたり、結婚したりする大事な節目の時に、家族で振り返り、微笑んでいただければ幸いです」。

この本の一番素晴らしいことは、妊娠した日から子育てはスタートするということ述べていることである。どうしてもイクメンというと、生まれた後からのことを考えがちである。父親が妊娠中からお腹の中の赤ちゃんのことを思いやるなんていう考えは産婦人科医の私にとっても「目からウロコ」だった。

妊娠中の記載の中に「妊娠中、ママがパパにし

てほしかったことベスト10」というのがある。それは ゴミ出し, お風呂掃除, 部屋の掃除, 洗濯物をたたむ, ごはんの後片付け, 洗濯物を干す, マッサージ, 料理, 買物(重い荷物を持つ), つわりがひどいときは, 早く帰宅してほしかった。

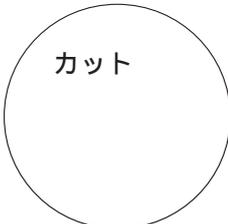
又, 産後のママのサポートというページには「育児でパパにしてもらってうれしかったことベスト10」というのがある。それは お風呂に入れる, オムツをかえる, 離乳食作り, 寝かしつけ, 絵本の読み聞かせ, 保育園に送ってくれる, ご飯を食べさせてくれる, 子どもとパパだけでお出かけ, おけいこに連れていってくれる, 子どもの着替えである。

子どもで一番心配なのは病気だと誰もが思うかもしれないが, 実は事故の方が圧倒的に多い。特に男の子は要注意である。手帳の中には「おうちの中の危険箇所」というのも分かりやすくイラストで書いてあり参考になる。

母子手帳というのは戦前に作られ, もう7年近くになる。日本だけでなくアジアの国でも同じような形式で作られていて, 健やかな子ども達の成長を願うものとして普及している。同じように父子手帳を作っている地域も少しずつあるが増えつつある。

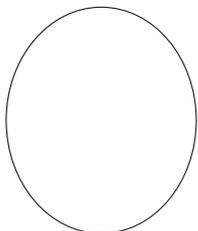
子育てを母親だけがしてきた日本人が, 父親も参加して行うということはとても嬉しいことだ。しかし残念ながら男性が育児休暇をとり長期間休んで育児をするという会社は数%に過ぎない。そういうことが出来て初めて, 父親の育児参加ということが言えるのかもしれない。

いずれにせよイクメンという言葉がこれほど知られるようになったのだから, きっと数年後には育児休暇をとるお父さんも増えてくると思う。それが一番の少子化対策になると私は思うのだが...。「育児は楽しい」と思うお父さんがもっと増えて欲しい。「パパのイクメン手帳」を見ながらそう思う。



カット

## 随 筆



## 固執したい邪馬壹国九州説

宮崎市 高宮病院 古賀繁喜

前回の投稿：「紀元は二六〇〇年」(日州医事・

770. 2013年 10月号)では『古事記』および『日本書記』の内容に基づき私見を混じえて書いたが、今回は『三国志』の中の『魏志倭人伝』に記載されてある邪馬壹国、卑弥呼に関して、その他の歴史書を参考にして私なりの考えを述べたいと思う。

江戸時代から古代倭国の邪馬壹国の所在地をめぐり九州説と畿内説とで激しく論争されてきたが、AD 2009年に放射性同位元素炭素 14を使った年代測定法により広大な纏向古墳群にある箸墓古墳の築造年代がAD 240年～AD 260年頃であると発表されると、卑弥呼の死とされているAD 240年に一致しているために纏向遺跡は邪馬壹国という見方で俄然畿内説が優勢になっているのが現状である。

中国の古典である「四書五経」の中に「東方、夷と曰う...」と倭人を指している文章があり、古代中国でも早くから倭人の存在は知られていたようであった。倭国の海外交流の歴史は北部九州から朝鮮半島との行き来から始まり、中国王朝との交流へと発展していった。大陸から稲作も伝わり、大陸文化も青銅器・鉄器も朝鮮半島経由で北部九州へ伝わり、山陰、吉備、畿内、東海へと広がっていった。北部九州は縄文時代、弥生時代に中国や朝鮮半島の文化をとり入れる古代倭国の玄関口であったようだ。倭国の九州沿岸地域の中心勢力が日中交流に大きな役割を果たしていたことは、北部九州から出土した史

料からしても十分に云えるのである。

『魏志倭人伝』によると、邪馬壹国への行程は帯方郡から狗邪韓国(釜山付近)まで7,000余里、そこから海路1,000余里で対海国(対馬)、海路1,000余里で一大国(壹岐)を経て、海路1,000余里で末盧国(松浦半島、唐津を中心)へ至り、その地から東南陸行して500余里の伊都国(糸島市付近、一大国軍団の一大率の常駐地であった)を経て、東南へは100里で奴国(福岡市近辺)に、東方へは100里で不弥国(福岡市近辺)に至る。奴国と不弥国の南の方へさらに陸行して邪馬壹国へ至ると考えられる。即ち、帯方郡から邪馬壹国までの総里程は12,000余里であり、狗邪韓国から邪馬壹国への里程は5,000里である。帯方郡から不弥国に至るまでの里程は記載されてあるので、狗邪韓国から里程5,000里の所、奴国・不弥国の南の方に邪馬壹国が存在していたように推測していいのではなからうか。

『倭人伝』に記載されている「水行20日(つま)で投馬国(さつま)へ至る...、水行10日陸行1月で邪馬壹国女王の都へ至る...」とあるが、不弥国から先のことを考えると理解し難い。中国の歴史書『隋書』に「東方の蛮族は距離を知らず、日で計っている」という記述があるように、古代倭国で距離を表すのに日数、月数を使用していたことを考慮すれば、不弥国を起点にしたのではなく朝鮮半島を起点にした倭国式距離表現の方法と考えてもよい気がする。古代中国では、里程は秦時代・漢時代および東晋時代に使用された長里法(1

里は 435メートル)であったが、周時代・三国時代および西晋時代には短里法(1里は約 77メートル)を使用されていたようだから、短里法で計算すれば距離的にも方角的にも邪馬壹国は九州北部にあったとしても矛盾しないのである。

このように朝鮮半島を介して中国と古代倭国との国交ルートは数百年あるいはそれ以上の期間を要して開発されてきた。一大国に近い松浦半島の水軍も徐々に発展して行き、倭国の諸国も松浦水軍を利用して朝鮮海峡や東シナ海を渡るようになった。AD 5年には奴の国王が後漢に朝貢して、光武帝から金の印綬が与えられたし、2世紀には倭の国王・帥升が後漢に朝貢した。AD 238年には邪馬壹国の卑弥呼が魏の国へ使節を送って朝貢した。この時の卑弥呼の特使・難升米(正使)と都市牛利(松浦水軍長)は魏の京都(洛陽)に詣ったが、明帝が病に伏していたので面会出来なかった。その翌年のAD 239年(明帝没後)に魏朝は明帝の詔書と「親魏倭王」の金印紫綬、銅鏡 100面、五尺刀 2口、錦 8匹と白絹 50匹その他を邪馬壹国および卑弥呼へ授与し、難升米と都市牛利にはそれぞれに魏朝の官位と銀印青綬を授与し送り届けている。破格の下賜の品々である。

当時の魏朝は呉の孫権および遼東半島の公孫淵と敵対しており、倭国側は楽浪郡の治安の維持に協力し、松浦水軍は東シナ海で魏朝に味方していたようだった。明帝の長文の詔書に対して卑弥呼もまた返答し自署名を記して上表した。このことは中国の正史である『三国史』の「帝紀」に明記されている。文字を知る女王、卑弥呼は文字を読み、文字を書く能力を持った女王であったようだ。倭国では漢式鏡(弥生鏡)が全部で 60面ぐらい出土しているが、その 9割が福岡県に

集中し、そのうち約 1/3位は銘文入りの漢式鏡であり、博多湾岸では既に文字文化が花開いていたと考えられるのである。

『魏志倭人伝』によれば卑弥呼からの魏王朝への国交はAD 238年、AD 240年、AD 243年、AD 244年にあり、西晋王朝へは巷与(台与)がAD 266年に朝貢したと報告されている。大陸へ使者を遣わす時は一大率または中国王朝の郡司が常駐して海外へ出て行く船、入ってくる船を監視していた伊都国に必ず立ち寄って行かねばならなかったという。

邪馬壹国は九州にあったと強く主張したい私は上述したように文献学的な見地からしても、中国と倭国との距離および地理的にも、遺跡からの出土物からしても、邪馬壹国は九州北部に存在していたと考えたいのである。発掘された古代の墳墓を見ても、権利の象徴とされていた三種の神器(剣、鏡、珠玉)を出土した遺跡は全国で六つしか発見されていなくて、弥生の六王墓と呼ばれるその遺跡は糸島市に 3か所、福岡市、春日市、佐賀県に 1か所ずつあるだけで、畿内から弥生王墓は発見されていないのである。(但し、畿内の卑弥呼の墓と思しき箸墓古墳は未発掘だから不詳)。春日市にある王墓・須玖岡本遺跡からは中国の漢・三国時代に禁制品だった錦が弥生六王墓の中でただ 1か所に出土している(錦は卑弥呼が魏王朝から賜った「親魏倭王」の金印の紫綬であった可能性があるとも云われている)。さらに、3世紀の中国で使用されていた武器であった剣、矛、戈も筑紫を中心に鑄型まで出土していて南九州、出雲地方へと伝搬していった。その他の出土物でも、当時の庄内様式土器、鉄鏃、勾玉類、絹などで奈良県よりも福岡県での出土が遥かに多かったのである。安本

美典氏によると、考古学的に確実に出土しているすべてのデータを入力してベイズの統計法で計算すると福岡県に邪馬壹国があった確率は99.9%になると云われている。糸島市(伊都国)にある王墓・平原古墳の「1号墓」とよばれる方形周濠墓からは銅鏡4面(そのうち、弥生の国産製である八咫鏡といわれる直径46.5センチの大型内行花文鏡が4面含まれていた)、素環頭太刀1本、ガラス製勾玉3個、ガラス製管玉30個以上、メノウ製管玉13個、その他華やかな装飾品や耳環(イヤリングの一種)なども埋葬されていた。その墓の出土物から見て、被葬者は女王もしくはそれに匹敵するような高貴な女性としか考えられないのである。伊都国は太陽信仰の国家、卑弥呼は太陽の巫女、魏国明帝より「汝好物也」として賜った10面の銅鏡は、平原古墳と強い繋がりがあったように思われてならない。この「1号墓」から日が昇る方向に約18メートル離れた場所に直径70センチ、高さは20メートル位の大柱が立てられていたことが判明して、太陽信仰に関わる埋葬された4面の銅鏡は、古墳内での儀式として行われた呪術に大きな役割を演じていたのではないかと想像されるのである。出土した4面の八咫鏡のほかにもう1面の八咫鏡があって、その鏡は第十一代垂仁天皇により畿内から伊勢に移された。以来、太陽神の天照大御神を祭神として八咫鏡は伊勢神宮に今でも鎮座している。

古田武彦氏は、『古事記』に記載されている神話世界の背景が【東日流(内・外)三郡誌】(江戸時代の寛政六年に物部蔵人によって書かれた古代史書の記録から筑紫であったと述べている。筑紫の高祖山の日向峠の近くに弥生の六王墓の一つである吉武高木遺跡があり、その地域は広い稲作地帯であった。そこへ、太陽信仰の強い一大国および対海国の海土族の侵略軍が筑紫の稲作地帯を攻めて制圧した。即ち、古事記神話

の「天孫降臨」であると準えたのである。そのことも含めて古田武彦氏は『魏志倭人伝』を徹底して解読され、中国の他の歴史書、朝鮮半島の歴史書および出土史料を参考にされて、博多湾岸を中心に多出する絹は魏朝からの賜り物と見なせば、博多湾岸とその周辺部こそが女王国の中心部であったと主張されている。

しかし、邪馬壹国畿内説の根拠とされてきた理由はいくつもあった。邪馬壹国の時代に畿内にも九州の王国にも劣らない大きな勢力があった。さらに、三角縁神獸鏡は九州では出土していないが、畿内を中心に多量出土していたので、その鏡が魏の明帝から卑弥呼が賜った10面の銅鏡に当たるのではないかと強く論じられたが、出土した三角縁神獸鏡の数は10面を遥に超えたとし、魏国で出土したという記録もなく、倭国の鏡製造技術も進歩していたので三角縁神獸鏡は国産製であったと結論されている。弥生時代末期には九州や畿内の複数勢力の他にも吉備、出雲、毛野などの大きな勢力も確認されているし、纏向古墳群の箸墓古墳や大きな建築物の柱の跡が並んで宮殿を想わせられるような跡を含む広大な遺跡は、規模からしても畿内こそ邪馬壹国であるという声が強まったのである。『魏志倭人伝』には「卑弥呼の墓は円墳で直径百余歩(145m)」、倭国の墓は棺あって槨なし」と記述されているが、卑弥呼の墓と思しき箸墓古墳の後円部の直径は約150mだから里程長里法ではほぼ一致しているけど(但し円墳でなく前方後円墳であり、里程法も違っている)、纏向遺跡の古墳では棺を木槨や石槨で保護されているので、弥生の六王墓の「棺あって槨なし」の古墳とは異なっている。また『古事記』によれば、箸墓古墳は倭迹迹日百襲姫命(崇神天皇の大祖母)が被葬者とされていて、さらに第十代崇神天皇時代の四道將軍の一人として吉備の国に派遣された吉備津日子命(倭迹迹日百襲姫命の弟)の墓が岡山市の

浦間茶臼山古墳にあり、姉弟のそれぞれの墳墓の大きさは2 : 1の相似形で4世紀初期に築造されたことになっているし、卑弥呼と吉備津日子命は活動時代が異っている。その他、全国的に各地で作られた土器類も畿内で出土しており、中国呪術で使用されていた木製仮面やヤママユの絹で出来た巾着袋も見つかっており、それらを併せて当時の畿内は日中交流の拠点であったという説が強いのである。就中、炭素^{なかんずく}14年代測定法で箸墓古墳の築造年代と卑弥呼の死んだとされるAD 248年が一致しているということが、箸墓古墳は卑弥呼の墓であろうと確認されたわけではない。邪馬壹国畿内説を一気に押しあげて優勢にしているのである。

日本で最も貴い神であり、皇室の皇祖神とされた天照大御神。中国の歴史書に倭国の最も古い女王として詳細に記載されている卑弥呼。しかし、『古事記』と『日本書紀』(『記・紀』)には卑弥呼・邪馬壹国については全く記載されていない。日本国が他国に支配されない万世一系の天皇制の歴史を示すためにはそうせざるを得なかったようである。日本の歴史書が編纂された奈良時代の朝廷は中国の唐王朝の「怒り」を恐れて『日本書紀』のみ公にしている(『古事記』は公表されず室町時代に発見された)。若し、天照大御神と卑弥呼との関係が解き明かされたら、絶対年代も一挙に解決することは明白である。弥生の漢式鏡についても寿命年暦として半年を1年とする2倍年暦についても『記・紀』には触れられていないし、筑紫に女王は存在していたということが認められたら畿内の天皇との間に矛盾した問題が多すぎて、真実の日本の歴史を語ることは

不可能と思われるのである。

日本最古の歴史書『記・紀』では、日本の正しい歴史を語っていない。国際的に認められている中国の歴史書『三国志』の『魏志倭人伝』からは真の倭国の姿が見えてくる。日中交流の歴史は筑紫中心勢力があったからこそ古代倭国も存在していたと云うことは自明であり、北部九州こそ邪馬壹国の地であったと私も強く主張したいのである。

#### 参考図書

- 実在した神話 原田大六 学生社  
古代人は太陽に何を祈ったのか  
奥野正男 大和書房  
卑弥呼 古田武彦 ミネルヴァ書房  
倭人伝を徹底して読む  
古田武彦 ミネルヴァ書房  
邪馬台国の正体  
邪馬台国の会(会長 内野勝弘) 徳間書店  
弥生興亡 女王・卑弥呼の登場  
石野博信 吉田敦彦 片山一道 文英堂  
精神医学的に見た邪馬台国論  
松下兼知 講談社出版サービスセンター  
邪馬台国の秘密 高木杉光 光文社  
古事記 歴史群像シリーズ(67) 学研  
現代語古事記 竹田恒泰 学研  
図解古事記と日本書紀  
森村宗冬 新人物往来社  
謎の歴史書『古事記』『日本書紀』  
別冊歴史読本 新人物往来社  
『日本書紀』と考古学 中尾七平 海鳥社

## 各都市医師会だより

## 児 湯 医 師 会

会 長 ^{なが}永 ^{とも}友 ^{かず}和 ^{ゆき}之

6月24日に開催された社員総会において、7期目の会長を担当することになりました。「また君か、シラケルな」ごもっともです。これも12年間の営業成績の不振の責任をとれということらしいので、今度こそ児湯医師会のために力の限り努力する所存であります。「歴史はくり返すというが」、余計なお世話です。

では児湯医師会の現況を報告いたします。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 1) 周辺状況：当医師会の診療圏は東児湯5町(都農町・川南町・木城町・高鍋町・新富町富田地区)で森と海に囲まれた自然豊かな地域です。概して日本の高速道路は殺風景ですが、東九州自動車道路の新富～都農間はまさに絶景です。交通事故には気をつけてください。サーフィンのため湘南から来ていた若者(会員)は、原住民といろいろとあって結婚する羽目になりました。児湯の美しい女性にも気をつけてください。実は私もその被害者の一人なのです。
- 2) モラルハザード：私が赤い糸で結びつけている蟻塚高生先生は、もちろん副会長を留任させられました。副会長のメインテーマは「医の倫理」ですが、ゆとり教育の申し子でしょうか、何らの規制はありませんが、自ら行動規範を示していますので、会員はみなモラルに満ち溢れています。倫理道徳と騒ぐ安倍さんとは大違いです。
- 3) 中核状況：何といても当医師会(含む児湯准看護学校)の財政問題です。一言でいうとギリシャと同じです。やはり7度目の会計担当の黒木宗俊先生が孤軍奮闘していますが、私も含めた理事全員がラテン系体質を抜け出し、緊縮財政にマジに取り組まなければなりません。県理事は高橋政見先生が成績優秀のためご卒業されました。代わって米澤勤先生が県理事となりました。病院長と兼務の激務になりますが頑張ってもらいます。スキューバダイビングは止めてもらいます。救急医療や在宅医療、有床診療所の無床化など問題は山積みであります。尚、現在の会員数は77名(うち女性9名)です。

児湯医師会新役員

## 役員等名簿（任期 平成26年6月24日定時総会終結後～平成28年6月定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所 属 医 療 機 関	担 当 業 務
会 長	永友 和之	泌尿器科	永友クリニック	総括 児湯准看護学校長
副会長	蟻塚 高生	眼科	蟻塚クリニック	医療安全対策，諸規定検討委員会 倫理向上・自浄作用活性化委員会 児湯准看護学校副校長
* 理 事	大森 史彦	内科，循環器内科，腎臓内 科，漢方内科，小児内科	大森内科医院	学校検診委員会，健康教育委員会 心臓・腎臓検診，東洋医会
"	黒木 宗俊	内科	黒木内科医院	総務，会計，地域医療ビジョン委員会 宮崎中部地域産業保健センター 産業医部会
"	坂田 師隣	婦人科	坂田病院	医師協同組合総代，医師国保会議員 児湯准看護学校主事
"	米澤 勤	外科	海老原総合病院	県医師会理事，救急医療，勤務医部会 病院部会・医療法人部会
"	高山 修二	小児科，アレルギー科	たかやま小児科	小児科医会，学術生涯教育委員会 心臓・腎臓検診
"	永田 昌彦	循環器科，胃腸科， 内科，外科	木城クリニック	県在宅医療協議会 へき地出張診療委託医師
"	北村 洋	外科，消化器科，内科	北村医院	医療保険委員会，会員福祉委員会 外科医会
"	喜多保一郎	小児科，内科	喜多医院	予防接種委員会，園医部会 心臓・腎臓検診
"	内田 俊浩	内科	内田医院	学術生涯教育 児湯内科医会
* "	永友 淳司	外科，内科，胃腸科， リハビリテーション科	ながとも医院	医療関係者対策，医師確保対策 国民健康保険審査会審査委員
* "	山口政一朗	整形外科，放射線科， リハビリテーション科	山口整形外科	情報システム委員会 介護保険委員会，労災部会・自賠委員会
* "	野津手大輔	内科	野津手・加来内科医院	公衆衛生・感染症委員会 内科医会評議員，医師協同組合総代 学校医部会評議員，在宅医療協議会
監 事	鶴 敬雄	外科，胃腸科，肛門科	鶴外科胃腸科	
"	崎濱 國治	胃腸科，外科， 消化器科	崎浜胃腸科医院	
議 長	茂木 晃			
副議長	高橋 政見	耳鼻咽喉科	高橋耳鼻咽喉科医院	医師国保組合常務理事

*は新任

## 各都市医師会だより

## 西都市西児湯医師会

会 長 いわ み あき おみ  
岩 見 晶 臣

本年 6 月より 2 期目の西都市西児湯医師会長に就任いたしました。今後 2 年間よろしく願い  
いたします。

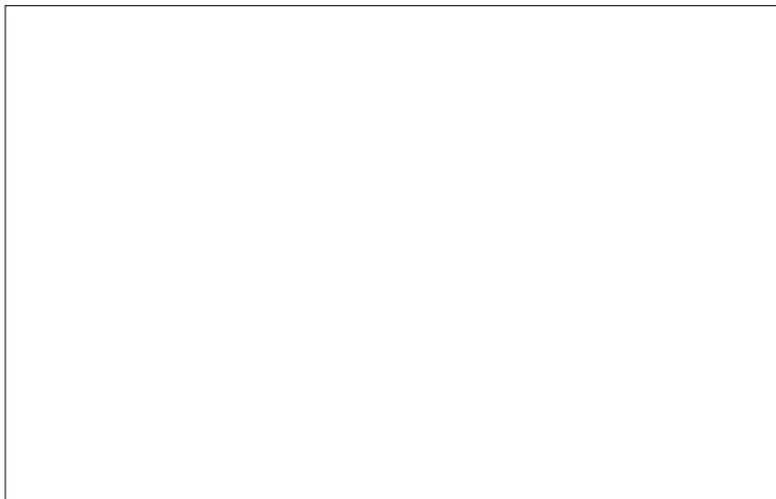
当医師会の執行部人事ですが、富田副会長が退任され県医師会副会長の職に専念されること  
になり、また学術・労務担当の野口英郎先生が退任されました。今期から新理事に上山裕史先生と  
大塚康二郎先生のお二人を迎え 8 人体制で運営していくことになりました。監事は引き続き大塚  
直純先生、相澤潔先生にお願いしました。少人数ではありますが協力しあって頑張っていきたい  
と思います。

1 期目は会長就任直後に事務長の突然の交代があり、その状態で新法人への移行、旧西都医師  
会病院の清算など難題があり新事務長も大変だったようです。法人移行の問題は無事終了しまし  
たが、医師会病院閉院に伴った負債の一部は医師会に戻っておりません。このことが医師会と行  
政の関係を難しくしている原因となっております。

西都市西児湯医師会の当面の課題として救急医療の問題があります。平成 24 年 3 月末で西都児  
湯医療センターでの内科の一次救急が中断されて以降、どのようにして地域の救急医療を行うか  
が課題となっておりますが医師会としての結論が出ていません。その理由として、行政との関係  
がうまくいっていないことと、会員の減少及び高齢化によるマンパワー不足があります。現在の  
西都市西児湯医師会の会員数は A 会員 23 名、B 会員 1 名で昨年より 2 名減少しております。この  
ままでは郡市医師会としての機能も保てないのではないかという会員の声があり現在、宮崎市郡  
医師会との合併を検討協議しています。

当医師会の事業として、松本副会長が中心になり在宅医療推進事業を行っており、一昨年度は  
在宅医療実施施設名簿作成、昨年度は平成 26 年 3 月に在宅医療推進のための研修会を行い、各専  
門分野から多くの人に参加していただきました。また歯科医師会医師会合同の学術講演会を行い  
医科歯科の連携を図っているところです。

これからも県医師会のご指導を仰ぎながら地域医療に取り組んでいきたいと思ひます。



西都市西児湯医師会新役員

## 役員等名簿（任期 平成26年6月26日定時総会終結後～平成28年6月定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所 属 医 療 機 関	担 当 業 務
会 長	岩見 晶臣	小児科	いわみ小児科医院	総括, 学校保健, 医療事故
副会長	松本 英裕	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	三財病院	総務, 産業医, 在宅医療
* 理 事	上山 裕史	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	上山医院	介護保険
* "	大塚康二郎	形成外科, 美容外科, 皮膚科	大塚病院	労務
"	黒木 重晶	胃腸科, 内科	黒木胃腸科医院	学術, 公衆衛生
"	杉尾 克徳	胃腸科, 内科, 外科, 肛門科	すぎお医院	会計, 会員福祉, 文化厚生
"	鶴田 明士	整形外科, リハビリテーション科	鶴田病院	医療保険, 救急医療
"	水田 能久	内科	水田内科医院	心臓検診, 腎臓, 糖尿検診
監 事	相澤 潔	内科, 麻酔科, リハビリテーション科	三財病院	
"	大塚 直純	外科, 消化器科, 胃腸科	大塚病院	
* 議 長	児玉 健二	内科, 循環器科	児玉内科クリニック	
* 副議長	上野 尚美	内科, 腎臓内科, 循環器内科	上野医院	
* 顧 問	富田 雄二	内科, 循環器科, 小児科	富田医院	

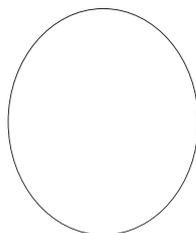
*は新任

## エコー・リレー

( 47回 )

( 南から北へ北から南へ )

### 医療に国境は無い(はず)

宮崎市 友絵こどもクリニック いわ さき なお や  
岩 崎 直 哉

2000年9月、国連ミレニアム・サミットは2世紀の国際社会の目標として「国連ミレニアム宣言」を採択しました。この宣言と、1990年代に開催された主要な国際会議等で合意された開発目標を統合したものが、ミレニアム開発目標

( M D G s )です。

M D G sの4番目の目標は「5歳未満児死亡率の削減」です。具体的には2015年までに1990年と比較して、3分の2削減する(つまり3分の1にする)というもので、小児科医としては是非とも実現してほしい目標です。

1990年当時、5歳の誕生日前に亡くなった子どもの数は全世界で1,260万人に達していましたが、2012年の統計では660万人へと減少しました。出生数1,000人当たりでは、90人の死亡が48人となりました。

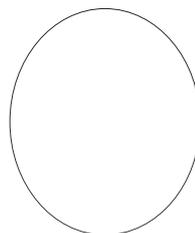
改善傾向を示しつつもまだ数値の高い地域があります。それは中部西部アフリカ地域です。この地域では2012年の5歳未満児死亡は出生数1,000人当たり118人です。これは日本の約40倍という恐ろしい数字です。それでも1990年は195人だったので、改善は必ず可能です。そして、その改善の鍵のひとつは適切な新生児ケアだと考えます。

というわけで、私はこれから中部アフリカの片田舎にある母子保健センター的な病院に行き働きます、短期間ですけどね。あるNGOの活動に参加して新生児病棟業務の評価と改善の支援を行う予定です。

では、行ってきます。

( 次回は、宮崎市の川越 富夫先生をお願いします )

### 錦織圭に学ぶ

宮崎市 下村産婦人科 しも むら なお や  
下 村 直 也

全米オープンテニスで錦織圭が準優勝しました。日本人がグランドスラムの決勝で戦うとは思いませんでした。テニスは、あまり番狂わせのないスポーツなので、錦織選手はこれからもっと活躍する

と思います。

私も中学、高校、大学時代は硬式テニス部でした。中学時代は、宮崎県に硬式テニス部があるのは私が通っていた日向学院だけでした。おかげで、予選なしで九州大会に出場し、後輩にうまい子がいて、運良く団体戦で予選突破し全国大会に出場したことがあります。

監督は、テニスで飯は食えないからとよく言っていました。高校生になると、自分のレベルも分かり、また、部活に割く時間も限られてきたため2年生の夏でテニス部を辞めました。

進路を決める時期になり、国語の成績が悪かったこともあり、とりあえず理系を選択しました。親の影響、兄の影響もあり医学部受験をすると決めました。そして、高校3年のときに、日頃の行いが良かったのか、聖マリアンナ医科大学の指定校推薦をもらいました。指定校推薦はだいたい合格すると思込み、あまり勉強しなくなりました。いざ、受験すると不合格でした。目が覚めて勉強して、2年後に久留米大学になんとか滑り込み、今に至ります。

錦織圭は13歳の時に、アメリカにテニス留学をし、大成しました。自分の子どもには、早めに目標を見つけ、継続して努力するように教育しようと思います。

( 次回は、日向学院でずっとトップだった都城市の吉見雅博先生をお願いします )



## あなたできますか？

平成 25年度 医師国家試験問題より

( 解答は 89ページ )

1. 就業者数が最も少ないのはどれか。
  - a 医師
  - b 看護師
  - c 保健師
  - d 薬剤師
  - e 歯科医師
2. 3 歳児で発達の遅れとされるのはどれか。
  - a 三角が書けない。
  - b 二語文が話せない。
  - c スキップができない。
  - d おもちゃが片付けられない。
  - e 服のボタンがかけられない。
3. 産褥熱の感染巣として最も多い部位はどれか。
  - a 外陰
  - b 膣
  - c 子宮頸管
  - d 子宮内膜
  - e 卵管
4. 急性好酸球性肺炎について正しいのはどれか。
  - a 喫煙と関連しない。
  - b 呼吸不全を伴わない。
  - c 副腎皮質ステロイドが奏効する。
  - d アレルギー性疾患を背景に発症する。
  - e 気管支肺胞洗浄液で好酸球比率は正常である。
5. 子宮体癌のリスクファクターでないのはどれか。
  - a 肥満
  - b 大腸癌の家族歴
  - c 黄体ホルモンの内服
  - d 多嚢胞性卵巣症候群
  - e タモキシフェンの内服
6. ボツリヌス中毒で認められないのはどれか。
  - a 縮瞳
  - b 眼瞼下垂
  - c 輻湊障害
  - d 対光反射消失
  - e 眼球頭反射消失
7. 僧帽弁閉鎖不全症の直接の原因とならないのはどれか。
  - a 乳頭筋断裂
  - b リウマチ熱
  - c 僧帽弁逸脱
  - d 感染性心内膜炎
  - e 急性大動脈解離
8. 後天性免疫不全症候群 ( A I D S ) の併発疾患でないのはどれか。
  - a サイトメガロウイルス感染症
  - b ニューモシスチス肺炎
  - c 口腔内カンジダ症
  - d 悪性リンパ腫
  - e プリオン病
9. 急性胆管炎の原因菌として頻度が高いのはどれか。2 つ選べ。
  - a *Clostridium difficile*
  - b *Escherichia coli*
  - c *Haemophilus influenzae*
  - d *Helicobacter pylori*
  - e *Klebsiella* spp ( クレブシエラ属菌 )
10. 肺動脈絞扼術が適応となる疾患はどれか。2 つ選べ。
  - a Fallot四徴症
  - b 動脈管開存症
  - c 心房中隔欠損症
  - d 完全大血管転位症
  - e 心内膜床欠損症( 房室中隔欠損 )

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 8 月 ～

平成 26年 8 月 4 日 ～ 平成 26年 8 月 31日( 第 32週 ～ 35週 )

### 全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類
  - 結核 24例：保健所別報告数を【 図 1 】に示した。患者が 13例、無症状病原体保有者が 1例であった。患者は肺結核が 10例、肺結核及びその他の結核(腸結核)が 1例、その他の結核では結核性胸膜炎が 1例、結核性膿胸が 1例であった【 表 1 】。性別は男性 1例・女性 13例で、年齢別報告数を【 表 2 】に示した。
- 3 類
  - 腸管出血性大腸菌感染症 4 例：宮崎市保健所管内で 1 例、都城保健所管内で 2 例及び小林保健所管内で 1 例報告された。患者が 2 例( HUS 発症例なし )、無症状病原体保有者が 2 例で、年齢別では 5 歳未満が 2 例、20 歳代 1 例、50 歳代 1 例であった。患者の主な症状として腹痛、軟便、血便がみられた。原因菌の O 血清型別は O 14 が 1 例、O 115 が 1 例、O 12 が 2 例であった。
- 4 類
  - E 型肝炎 2 例：いずれも宮崎市保健所管内で報告された。いずれの患者も 70 歳代で、主な症状として全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常がみられた。
  - 重症熱性血小板減少症候群( SFTS ) 1 例：日南保健所管内で報告された。
    - ・患者は 70 歳代で、発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少がみられた。刺し口は確認できず海外渡航歴もなかった。
  - つつが虫病 1 例：都城保健所で報告された。
    - ・患者は 20 歳代で、発熱、リンパ節腫脹、脾腫、上腹部・背部痛がみられた。刺し口は確認できなかった。
  - レジオネラ症 1 例：高鍋保健所管内で報告された。
    - ・患者の病型は肺炎型で、70 歳代男性であった。発熱、咳嗽、肺炎がみられた。
- 5 類
  - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例：高鍋保健所管内で報告された。
    - ・患者は 70 歳代で、ショック、中枢神経症状、下腿蜂窩織炎がみられた。病原体の血清群は G 群。
  - 後天性免疫不全症候群 1 例：宮崎市保健所管内で報告された。
    - ・患者は 10 歳代男性で、無症候性キャリアであった。
  - 侵襲性肺炎球菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内で報告された。
    - ・患者は 90 歳代で、発熱、全身倦怠感、意識障害、肺炎、菌血症がみられた。
  - 梅毒 1 例：宮崎市保健所管内で報告された。
    - ・患者は 30 歳代男性で、早期頭症梅毒( 一期 ) 梅毒性バラ疹がみられた。
  - 風しん 1 例：延岡保健所管内で報告された。
    - ・患者は 1 歳で、臨床診断例であった。発疹、発熱、リンパ節腫脹がみられた。ワクチン接種歴はなかった。
  - 麻しん 1 例：都城保健所管内で報告された。
    - ・患者は 20 歳代で、検査診断例であった。発熱、咳、発疹、嘔吐がみられた。ワクチン接種歴は 1 回であった。病原体の遺伝子型は B 3 であった。

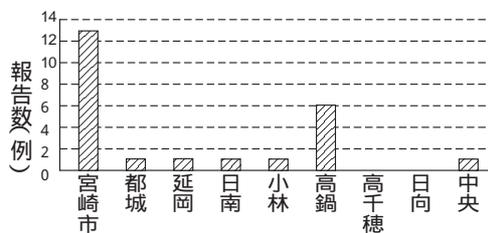


表 1 結核 病型別報告数( 例 )

肺結核	10
肺結核及びその他の結核(腸結核)	1
その他の結核	2
無症状病原体保有者	11

表 2 結核 年齢別報告数( 例 )

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	2	1	3	3	4	5	3	2

### 前月との比較

	2014年 8 月		2014年 7 月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	18	0.3	7	0.1	
RSウイルス感染症	38	1.1	11	0.3	
咽頭結膜熱	89	2.5	165	4.6	
溶レン菌咽頭炎	159	4.4	313	8.7	
感染性胃腸炎	845	23.5	1,117	31.0	
水痘	154	4.3	225	6.3	
手足口病	288	8.0	568	15.8	
伝染性紅斑	11	0.3	15	0.4	
突発性発しん	163	4.5	174	4.8	
百日咳	1	0.0	4	0.1	
ヘルパンギーナ	308	8.6	732	20.3	
流行性耳下腺炎	29	0.8	35	1.0	
急性出血性結膜炎	0	0.0	1	0.2	
流行性角結膜炎	49	8.2	54	9.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	2	0.3	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	1	0.1	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	0.6	1	0.1	

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 2,159人( 定点あたり 67.4 )で、前月比 68% と減少した。また、例年の 71% と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

感染性胃腸炎の報告数は845人(23.5)で前月の約0.8倍、例年の約1.2倍であった。小林(56.3)、日南(44.3)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月～3歳が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は288人(8.0)で前月及び例年の約0.5倍であった。日南・小林(各13.0)、都城(12.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は308人(8.6)で前月の約0.4倍、例年の約0.7倍であった。日南(20.0)、延岡(18.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

### 月報告対象疾患の発生動向 8月

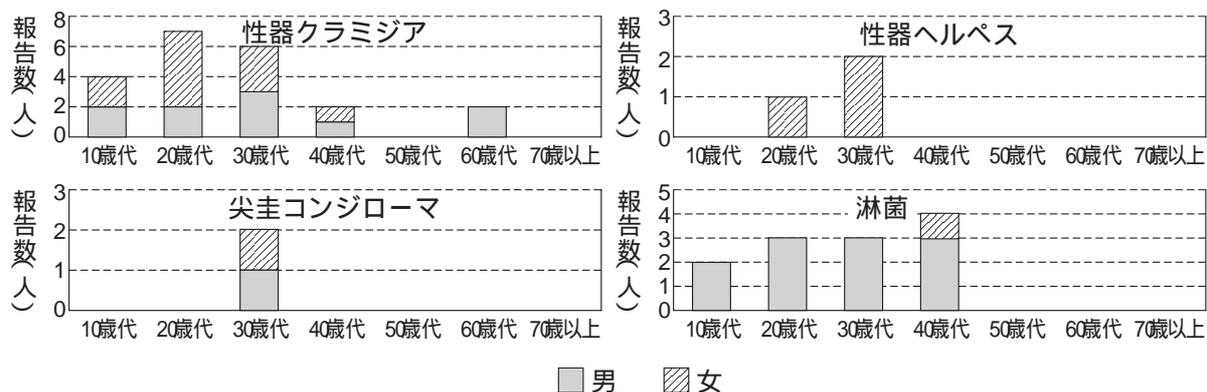
#### 性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は38人(2.9)で、前月比158%と増加した。また、昨年8月(2.6)の約1.1倍であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数21人(1.6)で、前月の約1.6倍、昨年8月の約1.3倍であった。年齢別では20歳代、30歳代が共に全体の約3割を占めた(男性10人・女性11人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数3人(0.23)で、前月の約0.8倍、昨年8月の約0.4倍であった(女性3人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月と同程度、昨年8月の約0.5倍であった(男性1人・女性1人)。
- 淋菌感染症：報告数12人(0.92)で、前月の約2.4倍、昨年8月の約1.7倍であった。40歳代が全体の約3割を占めた(男性11人・女性1人)。



#### 薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は26人(3.7)で前月比77%と減少した。また昨年8月(4.0)の約0.9倍であった。

#### 《疾患別》

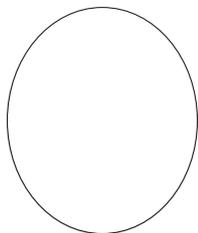
- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数24人(3.4)で、前月の約0.8倍、昨年8月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数2人(0.29)で、前月と同程度、昨年8月の約2.0倍であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

### 病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	コクサッキーウイルスA4型	3
	コクサッキーウイルスB5型	2
	単純ヘルペスウイルス1型	1
	パラインフルエンザ3型	1
	麻疹ウイルス	1
ライノウイルス	1	
細菌	サルモネラO7群型別不能	1
	腸管凝集付着性大腸菌(O86a HNM aggR)	1
	腸管出血性大腸菌(O55 H12 VT1)	1
	毒素原性大腸菌(OUT HNM LT)	1
	Bordetella pertussis(百日咳菌)	2
	EPEC(O U T H 21 eae)	1
	Mycobacterium bovis BCG	1
菌	Salmonella Enteritidis(O9 gm -)	1
	Salmonella Mbandaka(O7 z10 en z15)	1
	Salmonella Infantis(O7 r 1,5)	3

## メディアの目



## 東九州新幹線

南日本新聞社 宮崎支局長

あか さき こう いち  
赤 崎 公 一

本格的な秋の行楽シーズンが到来した。今年3月に東九州自動車道の宮崎 延岡間が開通し半年が経過。おかげで、直直行くのがおっくうだった県北地域に足を伸ばす機会も多くなった。週末や祝日は大いににぎわっている観光地や道の駅などもあり、延伸による経済効果は徐々に現れているようだ。

同じ東九州でもこちらは冬眠から目覚めたような感覚といったところだろうか。鹿児島から宮崎、大分を通り福岡まで走る「東九州新幹線構想」のことである。

宮崎や鹿児島など関係自治体の首長や議長らでつくる東九州新幹線建設促進期成会は今年1月、国土強靱化論の提唱者である藤井聡内閣官房参与を招き、宮崎市で講演会を開いた。東九州自動車道の宮崎県内北部区間整備に一定のめどがついたことから、「今度は新幹線」と氣勢を上げる思惑だったらしい。

そもそも、この期成会は197年に誕生した。横綱大鵬が引退した年である。その後、毎年のように総会を開き先進地視察なども行ってきたようだが、73年に基本計画路線に決まってからは進展がなかった。整備計画路線への格上げが事実上凍結されると、期成会自体も長らく休眠状態だった。

折しも、10月1日は東海道新幹線(東京 新大阪)が開業してちょうど半世紀にあたる。当時の国鉄が、わが国の技術の粋を集めて実現させた「夢の超特急」は当初、最高速度が時速210kmだったが、その後JR各社が開発を競い合う中でぐんぐんと伸び、今では320kmに到達している。

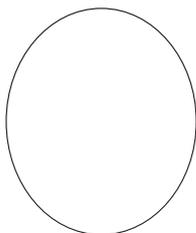
各地の整備新幹線は、日本の経済成長を下支えする原動力になっただけでなく、沿線地域経済にも大きなインパクトをもたらした。開通効果でにぎわいをみせる鹿児島を横目に、宮崎県民が「九州の東西格差を埋めるために次は高速鉄道を」との思いを抱くのは当然のことだろう。

河野俊嗣知事は「目標を高く掲げなければ前へは進めない」と語り、将来世代の夢として取り組む姿勢を示している。宮崎市の戸敷正市長も、先の市長選で「孫と乗りたい新幹線」をキャッチフレーズに掲げていた。

東九州新幹線が整備されれば、利便性アップや経済波及効果という面だけでなく、南海トラフ巨大地震に備える「命の道」としての用途も広がるだろう。半面、地元負担金や並行在来線の取り扱いなど難題も多い。果たして県民の機運は盛り上がるのか。熱く、それでいて冷静な議論の積み重ねが求められる。

## 宮崎大学医学部だより

### 外科学講座 - 泌尿器科学分野 -



かもと としゆき 教授  
賀本 敏行

宮崎大学泌尿器科学分野は石澤靖之先生を初代教授として昭和52年4月に開講しました。昭和63年3月に二代目教授として長田幸夫先生が、平成2年5月に三代目教授として賀本敏行先生が就任され、今年で6年目を迎えました。現在教室員は28名で、大学は賀本敏行教授のもと、分田裕順

院准教授(医局長)、上村敏雄(病院講師)、向井尚一(講師、病棟医長)、月野浩昌(講師、外来医長)、鬼塚千衣、木田和貴、永井崇敬、武田将司(以上助教)、杉江悟、上別府豊治、井上正浩、中原梢、深尾理(以上医員)が、教育、診療、研究に日々邁進しております。

関連病院として県立延岡病院に下村貴宏・齊藤太郎、県立日南病院に山下康洋・秋岡貴弘、藤元総合病院に長野正史・押川英央・藤田直子、野崎東病院に小林隆彦・岩本秀安、千代田病院に永田豊春、串間市民病院に高森大樹・山崎浩司、京都医療センター(京都市)に藤井将人、原三信病院(福岡市)に村嶋隆哉が出向し、それぞれの地域に根ざした診療を行っております。

大学病院での診療体系ですが、原則として火曜、木曜日が初診日、月曜、金曜日が再診日で泌尿器科全領域の診療を行っており、迅速かつ正確な診断および治療が行われるべく努力をしております。また特殊外来として、神経因性膀胱および尿失禁外来(月曜日)、前立腺外来(月曜午後)、小児泌尿器科外来(火曜午前)、腎移植外来(火曜)、特殊カテーテル外来(木曜午後)を行い、よりきめ細かい診療を心がけております。

入院診療においては複数名の医師によるインフォームドコンセントを行い、QOLを重視した良質な医療を提供できるよう努めております。手術面では平成8年より始めた腹腔鏡手術はほぼ全ての腫瘍(副腎、腎、腎盂尿管、前立腺、膀胱)に対し施行しています。腎部分切除術、腎盂尿管移行部狭窄症に対する腎盂形成術も腹腔鏡手術に積極的に取り組んでおり、また近年は根治的膀胱全摘術も腹腔鏡手術にて施行しております。このような腹腔鏡手術は現在では年間100例以上の症例に対し施行し、術後の早期離床や入院期間の短縮につながっております。現在関連病院も含め日本泌尿器科内視鏡学会の泌尿器腹腔鏡技術認定医も8名が取得し、今後の取得

を目指し手術前後の検討会を行っております。日本がん治療認定医機構のがん治療認定医も現在7名が資格取得しており、今後も若手の先生を中心に資格取得を目指しております。

近年PSAの普及に伴い前立腺癌の症例数が増加してきていますが、それに伴い早期発見症例も増え、個々の症例を細かく検討し根治的前立腺全摘術や放射線治療、ホルモン療法、監視療法、精巣摘除術などを行っております。また手術療法では、腹腔鏡下手術を中心に行っておりますが、より高リスクの広範リンパ節郭清が必要な症例は開腹手術にて行っております。また停留精巣や水腎症、尿道下裂などの先天性疾患に対しても積極的に治療を行っており、上村講師、鬼塚助教を中心に毎年70~80症例の手術を施行しております。また2012年3月に再開した腎移植は、東京女子医大にて研修した上村講師を中心に次回の2014年9月の症例に向けて準備を進めているところです。

研究面においては賀本教授を中心に泌尿器癌研究を行い、前立腺癌、膀胱癌に関しては国内外の施設との共同研究も行っております。月野講師を中心に行っている医療連携に関しては、前立腺癌における「宮崎県泌尿器科医療連携(Miyazaki Urological Network-MiU-Net)のPSAパス」は軌道に乗りましたので、今後は宮崎県泌尿器科医会のご協力のもと前立腺肥大症の実診療を明らかにすべく、「大規模コホート研究」を開始しています。

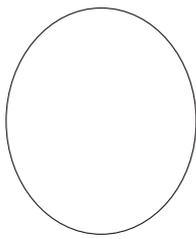
研究活動においては、杉江・上別府医員が現在は大学院生として研究生活に専念しております。杉江医員は「前立腺癌及び腎癌における癌進展とMSP/ROXシグナルの関連」、「腎癌骨転移モデルマウスを用いたHGF/METシグナル関連新規治療ターゲットの探索」、「各種泌尿器癌の発生、進展と遺伝子多型の関連解析」を、上別府医員は「トイレ体型尿流測定装置(フロースカイ)を使った排尿に関する臨床研究」、「遺伝的腎形成不全マウスの病態解明」を研究テーマとしてデータ収集及び解析に日々取り組んでおります。

また進行性腎癌や再発症例に対する分子標的薬が標準的治療となってきております。また内分泌療法に抵抗性となった前立腺癌(去勢抵抗性前立腺癌)に対する新薬が次々と使用出来るようになり、今後ますます使い分けに関してはより深い知識が必要となってくると考えられます。

賀本教授の赴任後5年間で10名の若い先生方が入局しましたが、宮崎県全体の問題でもある慢性的なマンパワー不足は継続しております。現在も研修医の先生や医学部生に積極的なリクルートを行いつつ、精力的に診療される賀本教授を中心にそれぞれの医局員の専門分野をフルに活用し、今後益々大学病院のみではなく各地域での診療、研究、教育を充実させていきたいと考えております。(医局長 分田 裕順)

## 部会だより

## 勤 務 医 部 会

とよだ きよかず 部会長  
豊田 清一

勤務医部会は、宮崎県医師会の部会として昭和62年に発足し、27年目を迎えました。これまで、勤務医相互の連携、研修、福祉の増進、研修および親睦を図るとともに、地域医療および学術研究に協力することを目的に活

動してまいりました。

平成 24年の医師届出によると、宮崎県の医師数は 2,709名で、現在 1,694名が県医師会に入会されています。一方、宮崎県の勤務医数は 1,942名で、そのうち 798名( 41% )の先生方が勤務医部会に入会されています。

平成 25年度の勤務医部会の活動状況を報告いたします。

勤務医部会理事会( 年 4 回 )

全国医師会勤務医部会連絡協議会参加

都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会参加

勤務医部会総会( 平成 25年 5 月 18日 )

勤務医部会学術講演会( 年 2 回 )

・前期講演会( 平成 25年 5 月 18日 )

講演 : 「宮崎県における周産期医療体制の取組み」

鮫島 浩先生

( 宮崎大学医学部生殖発達医学講座  
産婦人科学分野教授 )

講演 : 「報道から見た日本の医療」

杉尾秀哉先生

( TBS テレビ報道局解説室長 )

・後期講演会( 平成 26年 3 月 1 日 )

講演 : 「高齢者の慢性腎臓病( CKD )~ その特徴と管理のポイント ~」

藤本昭一先生

( 宮崎大学医学部血液・血管  
先端医療学講座教授 )

講演 : 「医療メディエーション~患者との対話による紛争調整~」

和田仁孝先生

( 早稲田大学大学院法務研究科教授 )

学術講演会では、著名な先生方に専門的な立場から内容の濃い有意義な講演を賜っておりますので、会員以外の先生方にもご参加いただければ幸いです。

さて、少子高齢化が進むなか、社会保障制度改革国民会議の報告書に基づき、持続可能な社会保障制度の確立を目指した医療制度改革が行われることになりました。地域における効率的・効果的な地域医療提供体制を確保するために、医療機能の分化・連携を推進し、医療と介護の連携強化により地域医療包括ケアシステムを構築し「地域完結型」医療体制への移行が求められています。新たな医療提供体制を構築するために都道府県は、今年度中に示される国のガイドラインに沿って平成 27年度を目途に地域医療構想( ビジョン )を策定しなければなりません。地域医療構想の策定にあたっては、医師会、行政機関、医療関係者等により十分に協議を行い、地域の実情にあった内容にすることが肝要であります。

県医師会には、その協議の場に参加し積極的に意見を述べていただきたいと存じます。勤務医部会としても県医師会の一員としてその一翼を担い、勤務医としての役割とはなにかを真摯に考え行動し、地域医療に貢献して参る所存であります。

今後とも、勤務医部会の活動にご指導とご支援を賜りますとともに、県医師会および勤務医部会への入会を勧誘いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。( 豊田 清一 )

## 各種委員会

## 医 学 会 誌 編 集 委 員 会

と き 平成26年9月8日(月)

と ころ 県医師会館

上田理事より開会，河野会長の挨拶に続き，協議が行われた。

まず始めに，任期満了に伴う委員改選により，委員長に松岡均先生，副委員長に河野寛一先生の就任が了承された。

掲載論文19編からなる第38巻第2号のカテゴリーの検討が行われ，総説2編，診療2編，症例9編，地域医療5編，クリニカルカンファレンス1編と，編集後記担当者を決定した。

第39巻第1号総説の執筆依頼については，委員長へ一任することが承認された。

また，投稿規程について，著作権等について新たに追加したものを今後検討していくこととなった。

出席者 - 松岡委員長，河野副委員長・長友・  
下園・後藤・黒川・山田・古川・森・  
坪井・武田・上園・稲津・竹永・  
阿南委員，菊池前委員長  
(県医) 河野会長，濱田副会長，上田・  
鮫島理事，久永課長，高山主事

## 9月のベストセラー

1 続・終物語	西 尾 維 新	講 談 社
2 地方消滅	増 田 寛 也	中央公論新社
3 貴様いつまで女子でいるつもりだ問題	ジ ェ ー ン ・ ス ー	幻 冬 舎
4 変見自在 プーチンよ， 悪は米国に学べ	高 山 正 之	新 潮 社
5 中国・韓国を本気で見捨て始めた世界 各国で急拡大する嫌中・嫌韓の実態	宮 崎 正 弘	徳 間 書 店
6 国家の暴走 安倍政権の世論操作術	古 賀 茂 明	KADOKAWA
7 銀翼のイカロス	池 井 戸 潤	ダイヤモンド社
8 日本改革原案 2050年成熟国家への道	小 川 淳 也	光 文 社
9 孤独の力	五 木 寛 之	東 京 書 籍
10 韓国人による沈韓論	シ ン シ ア リ ー	扶 桑 社

## 県医師会と県福祉保健部・病院局との意見交換会

と き 平成 26年 7月 8日(火)

ところ 宮崎観光ホテル

今回は行政の主催であることから県医療薬務課の重盛課長補佐の司会進行により開会し、佐藤部長、河野会長が挨拶の後、懇談及び意見交換を行った。

県福祉保健部 佐藤部長 挨拶(要旨)

本県は、県医師会と県と大学の三者がうまく連携されており、より強固に相互連携と理解を深めていくことで、医療行政の推進・確保に成果が表れていくと思っている。医療介護法、新たな財政支援制度、病床機能の報告制度、地域医療ビジョン、地域包括ケアシステム等、いろいろな課題があるが、医療の提供者の代表である県医師会とは、充分な意思疎通を図りながら連携していきたい。

県医師会 河野会長 挨拶(要旨)

医療・福祉・保健を取り巻く環境は、問題が数えきれないほどあり、尽きることなく新しい問題が出てきている。問題の解決には、関係者がおろそかにせず、スピードを持って知恵を出し合う必要がある。幸い本県では官民の協力体制が良好であり、うまく対応できていると思っている。

県より、本年度の事業と医療行政の根幹を成す医師会に関連した事業費等の説明がされることになっている。本県の苦しい財政状況は理解しているが、県民の健康を守ることは県政の最重要課題だと思う。医師会としても様々な面で協力することはやぶさかではないが、そのための裏付けとなると、事業費・補助金に結び付いてしまうので、配慮をお願いしたい。

### 懇談事項

県医師会関係事業について

平成 26年度の委託事業、補助事業について、担当課から新規事業及び変更点等を中心に説明が行われ、引き続き意見交換が行われた。

### 意見交換

県医師会から以下の3点について質問が行われ、県から回答があった。

#### 1. 風しん抗体検査事業について

(県の回答)対象者は風しんの予防接種を2回接種していない、年齢制限なしの男女であり、過去に抗体検査を受けていない方が対象となる。抗体検査の結果陰性の場合の対応としては、予防接種の費用は自己負担でお願いしたい。

#### 2. 児童虐待防止対策について

(県の回答)養護児童対策連絡協議会(養対協)への産科医の出席を促し、情報を行政と医師で共有することが重要であるので、各地域での養対協への産科医の参画を市町村とも協議して詰めていきたい。

#### 3. 自殺対策プロジェクト対策について

(県の回答)今年度の事業は、県医師会と相談しながら講演会等を具体的に企画していきたい。

### 出席者

県福祉保健部

佐藤部長、高原(福祉担当)・日高(保健・医療担当)次長、橋本こども政策局長、

長友部参事兼福祉保健課長，  
 長倉医療薬務課長，日高国保・援護課長，  
 松田長寿介護課長，川原障害福祉課長，  
 瀧口健康増進課長，徳永こども家庭課長  
 病院局  
 渡邊局長，緒方次長兼経営管理課長  
 医療薬務課  
 重盛課長補佐，津田主幹(医務担当)，  
 徳地主幹(地域医療担当)，

児玉主幹(医師確保担当)，  
 坂本副主幹(看護担当)  
 県医師会  
 河野会長，富田・濱田副会長，立元・吉田・  
 小牧・荒木・池井・牛谷・金丸・佐々木(幸)・  
 高村常任理事，上田・峰松・川野・佐藤・  
 佐々木(究)・岩村・米澤・系数理事，  
 大重事務局長，小川・竹崎次長，  
 與・久永課長，杉田国保次長

### 宮崎県医師会関係事業の概要(平成 26年度)

(医療薬務課関係)

(単位 千円)

事業名	財源	事業概要	25年度	26年度
1 救急医療施設医師研修委託事業	県単	救急医療に関する知識技術の向上を図るための研修を実施	1,000	1,029
2 訪問救急教室事業	県単	医師等が保育所や幼稚園に出向き保護者等を対象に小児救急医療の基礎知識や受診のあり方等について講座を開催	1,950	2,006
3 小児救急医療電話相談事業	県単 新たな財政支援制度に移行	保護者の不安軽減等を図るため，看護師・小児科医による小児救急医療電話相談を実施	12,319	12,671
4 小児科専門研修医症例研究事業	県単	症例研究会の実施による小児科専門研修医の育成確保	1,000	1,029
5 へき地出張診療所医療業務委託	県単	医師が常駐しない市町村設置のへき地診療所に対し最寄りの開業医を派遣	5,801	5,966
6 宮崎県地域医療支援機構運営事業	県単 新たな財政支援制度に移行	臨床研修指導医養成事業	2,000	2,292
		研修医確保のため優秀な指導医を養成 臨床研修病院説明会事業 県内外での臨床研修病院説明会開催	7,604	8,358
7 女性医師キャリア支援相談窓口運営等事業	県単 新たな財政支援制度に移行	女性医師の出産・育児と勤務との両立を安心して行うことができる環境整備を図るための相談窓口の設置等	2,350	1,543
8 看護師等確保対策事業	県単 新たな財政支援制度に移行	看護師等養成所運営費補助事業 看護師養成所 3校 准看護師養成所 6校	110,159 ( 41,407)	109,038 ( 41,113)
9 看護教育充実支援事業	県単	看護教育教材整備事業	( 9,000)	( 0)
		看護教員等養成支援事業 臨床実習等充実支援事業 上記 8 の 9校を対象	( 6,240) ( 9,900) 25,140	( 7,920) ( 9,945) 17,865

10 臨床検査精度管理事業	県単	外部精度管理調査に要する経費を補助	858	858
11 在宅医療推進事業	県単	各圏域で、在宅医療に携わる関係機関リストの作成に要する経費を補助	4,500	-
12 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業	国費	地域の在宅医療・介護を担う多職種に対して、多職種が協働して在宅チーム医療を提供するための研修を実施	1,912	-
13 在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修事業	県単	各圏域で、在宅医療に携わる多職種の連携・スキルアップ研修に要する経費を補助	4,599	9,000
14 救急患者転院搬送促進事業	県単	宮崎大学救命救急センターからの転院患者に係る県内医療機関の受入情報を提供するための体制構築に要する経費を補助	10,000	10,000
合 計			191,192	181,655

(長寿介護課関係)

(単位 千円)

事業名	財源	事業概要	25年度	26年度
1 介護保険制度運営支援事業	国費 1/2 県費 1/2	介護保険に係る主治医の役割及び主治医意見書の記載方法等についての研修	850	875
2 認知症地域医療支援事業	国費 1/2 県費 1/2	かかりつけ医や看護師を対象とした認知症診療の知識・技術、認知症ケア等についての研修	-	1,249
合 計			850	2,124

(健康増進課関係)

(単位 千円)

事業名	財源	事業概要	25年度	26年度
1 家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業	その他 10/10	・家族計画・避妊指導の実態調査 ・家族計画・避妊指導のための手引き媒体検討 ・手引き及び媒体作成・配布	827	849
2 生活習慣病検診従事者研修事業(予防から終末期までのがん対策体制整備事業)	国費 1/2 県費 1/2	がん検診等に携わる医師・技師への検診精度向上のための研修会の実施	3,386	3,472
3 宮崎県寝たきり予防対策支援センター業務委託	県単	・関係団体、医療機関との連絡・調整 ・リハビリテーション研修会の開催 ・リハビリテーション資源調査・研究	842	768
4 HTLV-1(ヒトT細胞白血病)母子感染対策事業	国費 1/2 県費 1/2	・HTLV-1-母子感染防止対策に携わる職種への研修会の開催 ・HTLV-1-母子感染防止対策マニュアル及び関係機関の連携に必要な様式等の作成 ・HTLV-1-キャリアの実態調査 ・HTLV-1-抗体検査及び相談支援についての普及啓発	1,231	1,263

5 緩和ケア研修事業 (予防から終末期 までのがん対策体 制整備事業)	国費 1/2 県費 1/2	緩和ケアの推進のための緩和ケアチームを 対象にした研修会の実施	712	732
6 緊急肝炎ウイルス 検査事業	国費 1/2 県費 1/2	医療機関でのB型及びC型肝炎ウイルス検 査の実施	982	839
7 風しん抗体検査 事業	国費 1/2 県費 1/2	先天性風しん症候群の予防のために、予防 接種が必要である者を抽出するための抗体 検査の実施	-	11,002
合 計			7,980	18,925

(こども家庭課関係)

(単位 千円)

事 業 名	財 源	事 業 概 要	25年度	26年度
児童虐待防止対策緊 急強化事業 (児童虐待防止対策 広報啓発事業)	県単	望まない妊娠に悩む養育者等を支援するた めのネットワークの形成	2,000	2,000

(福祉保健課関係)

事 業 名	財 源	事 業 概 要
「自殺ゼロ」プロジェ クト推進事業	その他 10/10	自殺対策に係る基盤づくりや普及啓発,人材育成,相談窓口設置, 自殺未遂者等への支援を総合的に展開。

(単位 千円)

は補助事業,それ以外は委託事業  
金額は,当初予算ベース

総 計 202,022 204,704

## 県医師会在宅医療協議会入会のご案内

県医師会在宅医療協議会は,在宅医療に携わる医師の知識向上,情報交換,並びに在宅医療の普及を目的に平成24年5月に会員130名をもって設立されました。

年数回の研修会開催のほか,現在は地域ごとの在宅医療ネットワーク構築に向け,役員,世話人が奔走しています。また,在宅で困っていること,多職種連携の方法など会員同士の情報交換のためにメーリングリストを運用しています。

ご興味のある先生は,ぜひご入会いただき,いっしょに在宅医療を推進していきましょう。ご入会につきましては,県医師会地域医療課に入会申込書をご請求ください。

*協議会に入会済みでメーリングリストに加入されていない先生は,事務局までメールアドレスをお知らせください。

お問い合わせ先 宮崎県医師会 地域医療課

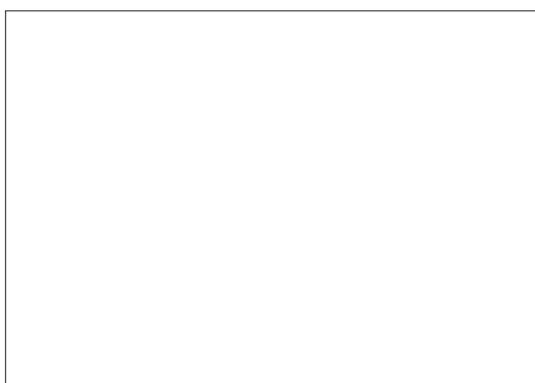
TEL 0985 - 22 - 5118

## 第 58回九州ブロック学校保健・学校医大会 平成 26年度九州学校検診協議会(年次大会)

と き 平成 26年 8月 2日(土)～ 3日(日)

ところ 宮崎観光ホテル

メインテーマ 「子どもを守ろう未来のために～  
私たちが今できること～」



8月2日、3日に宮崎市において九州ブロック学校保健・学校医大会ほか、関連行事が開催された。3日午前中に開催された平成26年度九州学校検診協議会では、心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに教育講演が行われた。心臓部門では「学童における致死性不整脈(学校検診の重要性)」と題し、宮崎大学医学部附属病院小児科病院教授高木純一先生、腎臓部門では「腎臓検診医と腎臓専門医との連携～正確な診断と適切な管理をめざして～」と題し、宮崎大学医学部生殖発達医学講座小児科学分野助教此元隆雄先生、小児生活習慣病部門では「小児生活習慣病健診の事後指導に役立つ健診システムの開発」と題し、埼玉医科大学小児科教授菊池透先生の講演が行われた。

分科会の眼科部門では「ものを見るしくみとその異常」と題し、宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野准教授中馬秀樹先生、並びに「学校医、保健師が気をつけたい眼疾患」と題し、宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野教授直井信久先生、耳鼻咽喉科部門では「スポーツ

による聴器疾患：剣道難聴とサーファーズ・イヤーズ」と題し、宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野教授東野哲也先生並びに「難聴児の早期発見・療育体制の確立」と題し、宮崎大学医学部附属病院難聴支援センター副センター長牛迫泰明先生、運動器部門では「学童期運動器検診～現状と課題～」をテーマに、名越内科院長名越敏郎先生、友絵こどもクリニック院長松元友絵先生、宮崎市立古城小学校養護教諭吉野尚子先生、宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科分野医員山口奈美先生の講演が行われた。

午後からは九州医師会連合会学校医会総会が開催され、開催県を代表して河野会長が挨拶を行い、続いて、臨席した来賓を代表して道永日医常任理事、河野宮崎県知事、戸敷宮崎市長の挨拶が行われた。最後に次期開催県の詩本長崎県会長が挨拶を行い盛会裏に終了した。

続いて、第58回九州ブロック学校保健・学校医大会が開催され、「フッ化物を用いてみんなで守る子どもの歯」と題し、宮崎市郡歯科医師会歯科医師(宮崎市保健所勤務)榎山実寿先生の講演があった。近年、全体のむし歯罹患率は減少傾向であるが、二極化が顕著になり永久歯を小学生で喪失してしまうケースがみられるようになった。その責任を児童本人や保護者に求めるのではなく、周りの人たちが、それぞれの立場の特性を組み合わせたコミュニティケアによって、子どもの口腔内の健康づくりを支援することが重要であるとの内容であった。次に「学校におけるアナフィラキシー対応～調布市での取り組み」と題し、東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科准教授・診療部長勝沼俊雄先生の講演が行われた。2014年に報告された調布市でのアナフィ

ラキシーが原因とされる小学児童の死亡事例をあげ、アナフィラキシーに対応するために、医療的に過酷な現場である学校に裁量の余地を残すマニュアル表記は、躊躇による対応の遅れを招きかねない。再発防止に向けて、マニュアルを簡素化し「個別対応カード」を作成、講習会実

施、シミュレーショントレーニングの定期開催に加え、アレルギー専用 PHS による緊急時の相談・要請対応などを行っている。この試みが順調に発展し、多く地域で参考にしていただければ幸いであるとの内容であった。

## 平成 26年度九州学校検診協議会幹事会

九州医師会連合会の近藤会長、九州学校検診協議会の松田会長の挨拶の後、慣例により、松田会長が座長に選出され、協議に入った。

### 1. 平成 25年度九州学校検診協議会の事業報告並びに決算について

福岡県から、年次大会及び専門委員会を 2 回開催し、歳入歳出合計 1,173,686円(実質赤字 183,648円福岡県メディカルセンター負担)からなる決算の説明があり原案通り承認された。

### 2. 平成 26年度九州学校検診協議会の事業計画並びに予算について

福岡県から、例年同様、年次大会と専門委員会を 2 回開催する。九州医師会連合会の補

助金を 700,000円増額し、収支改善を図った予算案の説明があり原案通り承認された。

### 3. 平成 26年度(第 32回)九州学校検診協議会第 1 回専門委員会について

先に行われた各専門委員会別協議事項について、心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに報告があった。

出席者 - 河野会長、富田副会長、高村常任理事、  
宮田学校医部会理事、  
澤田学校医部会学校検診委員、  
大重事務局長、竹崎次長、  
鳥井元課長補佐、高山主事

## 九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)

河野会長、道永日医常任理事の挨拶の後、慣例により、河野会長が座長に選出され、協議に入った。

協 議

### 1. スマートフォンやメディア・LINE アプリ等の問題における各県、教育委員会の取組みについて(鹿児島県)

鹿児島県から、児童生徒がスマートフォンや LINE アプリを利用することの対応に学校現場も苦慮していることから、鹿児島県では 8 月 24日(日)に市民公開講座を開催することになった。各県の取組みについて伺いたいとの提案理由が説明された。

各県ともに、医師会及び教育委員会を主体に、研修会等を通じてネット被害を未然に防ぐ取組みを行っていることが報告された。また、日本医師会は、この問題を深刻に受け止め、今年 5 月の政府予算要望に「ネット依存防止対策」を掲げるとともに今年 6 月に厚生労働大臣に対し要望書を提出し改善を求めたと報告された。

### 2. 文部科学省より依頼が来ている、食物アレルギーの対応における「ガイドライン」や、学校生活管理指導表に基づく対応の周知ならびに指導についての各県の取組みについて(鹿児島県)

鹿児島県から、各学校の状況に見合ったマニュアル作りや医師の診断に基づく学校生活管理指導表の活用を促進する予定であるが、小児のアレルギー専門医不足等で十分な診療、生活管理指導表を正確に記載することが難しい状況である。アレルギー疾患(生活管理指導表)について、各県の対応等をお伺いしたいとの提案理由が説明された。

諸会議等を通じて組織的に取り組んでいる県がある一方、「管理指導表」の活用については、福岡県を除いて十分に活用できていないとの現状報告がされた。また、日本医師会は、昨年の文科省の調査で児童生徒の約 4.5%に食物アレルギーがあり平成 16年度の調査に比べ倍増しており、日本学校保健会が「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」を作成して5年を経過していることから、「学校生活管理指導表」を含め改善を求めていくとの報告が行われた。そのほか、今年3月の日本医師会学校保健委員会答申により提案した「保健調査票例」や仙台市・山梨県等の先進県の取り組み状況、今年6月2日に成立した「アレルギー疾患対策基本法」の概要が説明された。

### 3. 学校におけるいじめの問題に関する学校医の参加について(福岡県)

福岡県から、昨年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」に関連し、福岡県では「いじめ問題対策連絡協議会」が設置され、指針の作成をはじめ対応体制を整えつつある。今後、いじめ問題に対し学校医が関与することについて、文科省の動き、又日本医師会から何らかの方針やアドバイスをご提示いただきたいとの提案理由が説明された。

日本医師会は、いじめによる重大事態が発生した後に、地域の教育委員会若しくは学校設置者から、各医師会に対して調査組織等への専門家推薦等の協力依頼があった際にはできるだけ協力いただきたい。しかし、いじめ問題はデリケートな対応が必要なので、学校医の参画については、各状況に応じて慎重に

行うことが重要であると述べられた。

### 4. 学童における予防接種漏れ者の救済について(福岡県)

福岡県から、予防接種に関して、文科省も積極的に関与し、予防接種漏れ者の現状把握及び注意喚起等を行うとともに、可能であれば接種漏れ者に無料接種を促すよう自治体においてお願いすることはできないかとの提案理由が説明された。

日本医師会は、文科省から「市町村教育委員会は、就学時健診において健康診断票を確認し、予防接種漏れ者がいる場合は未接種者に対して指導することとなっている。また、就学時健診の機会を利用して、定期予防接種対象者の罹患歴及び予防接種歴を確認、接種勧奨を行うよう関係機関に周知した。自治体の無料接種に関しては対応が困難であるが、今後も適切な対応が行えるよう努めていきたい」とする回答があったことを報告し、各県において、地方自治体及び市町村教育委員会に積極的に働きかけていただきたいと述べられた。

### 5. 児童・生徒の生活習慣病予防について

(福岡県)

福岡県から、「生活習慣病予防健診」について、九州では児童生徒の肥満度から、プラス30%以上、マイナス20%以下の肥満と痩せの子どもを「要観察児童」としてピックアップし、医療機関への受診の推奨及びその受診結果を医師会等にフィードバックしてもらうことを提案している。このような小児の生活習慣病に対する関心や取り組みについて、全国的な状況をお聞きしたいとの提案理由が説明された。

日本医師会は、健康診断、課題の抽出、事後措置、健康教育のPDCAサイクルによって生涯保健の充実につなげることが重要であるが、文科省は「児童生徒の生活習慣病対策については、国の政策として取り組むことは難しい」とのスタンスなので、各自治体と教育委員会、学校と医師会と保護者が協力して地域事情を踏まえ対応しなければならない。九州の

先生方の学校保健活動の実績は大変素晴らしく、我が国の児童生徒の生活習慣病対策に示唆を与えるものなので、引き続きご指導いただきたいと述べられた。

#### 中央情勢報告

道永日医常任理事から、国及び地方公共団体、学校の責務について、学校保健安全法の第3条で、国及び地方公共団体は財政上の措置その他の必要な施策を講ずる。第4条で、学校は管理運営体制の整備充実その他の必要な措置を講ずる。第5条で学校は児童生徒の健康診断、環境衛生検査、保健に関する事項について計画を策定し実施しなければならないと明記されている。学校保健は、国や地方公共団体、教育委員会が財政をはじめ、様々な必要な措置を実施するこ

とが大前提となる。地域医師会は各機関がその責務を果たしているかどうか監視すると共に、場合によっては改善を求めることも重要になってくる。また、改正地方教育行政法について、3年前の天津市でのいじめ自殺をきっかけに、教育委員会の在り方が見直され、平成26年6月13日成立した。平成26年4月以降、教育長の任命方法が変更になり、総合教育会議が新たに設置される等、体制が大きく変更される。学校保健の政策を動かすうえで、先生方のご意見、成果が原動力になる。これからもご指導いただきたいと説明しまとめとした。

出席者 - 河野会長、富田副会長、高村常任理事、大重事務局長、竹崎次長、野尻係長

## 平成 26年度九州医師会連合会学校医会評議員会

高村常任理事の司会により開会し、河野宮崎県医師会長の開催挨拶の後、慣例により河野会長が議長に選出され報告・議事が行われた。

#### 報 告

1. 平成 25年度九州医師会連合会学校医会事業について( 沖縄県 )
2. 平成 25年度九州医師会連合会学校医会歳入歳出決算について( 沖縄県 )

沖縄県から資料に基づき説明があり、九州各県医師会学校保健担当事業者会、九医連学校医会評議員会、年次大会の開催を含めた事業並びに歳入歳出合計 8,863,428円からなる決算報告があった。

3. 平成 26年度九州医師会連合会学校医会事業経過について( 宮崎県 )

高村常任理事から、九州各県医師会学校保健担当事業者会に関する報告があった。

#### 議 事

- 第 1 号議案 平成 26年度九州医師会連合会学校医会事業計画に関する件( 宮崎県 )

高村常任理事から、年次大会等の説明があり、原案どおり承認された。

- 第 2 号議案 平成 26年度九州医師会連合会学校医会負担金並びに歳入歳出予算に関する件( 宮崎県 )

高村常任理事から、歳入歳出合計 7,530,000円からなる予算案の説明があり、原案どおり承認された。

- 第 3 号議案 第 59回・第 60回九州ブロック学校保健・学校医大会開催担当県に関する件( 宮崎県 )

第 59回( 平成 27年度 )を長崎県担当で、第 60回( 平成 28年度 )を熊本県担当で開催することが承認された。第 59回( 平成 27年度 )の日程は、平成 27年 8 月 1 日( 土 ) ~ 2 日( 日 )、長崎市のホテルニュー長崎を予定している。

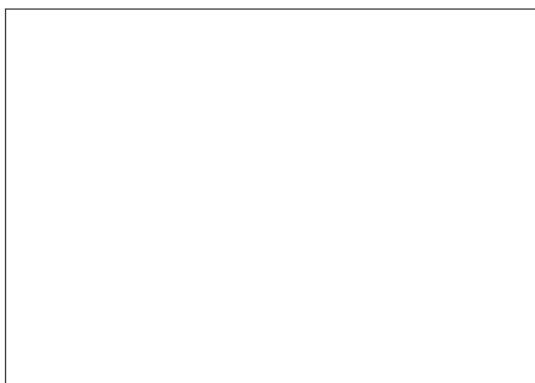
出席者 河野会長、富田副会長、高村常任理事、竹崎次長、野尻係長

## 平成 26年度九州学校検診協議会第 1 回専門委員会

と き 平成 26年 8 月 2 日(土)

ところ 宮崎観光ホテル

- 1 . 心臓部門 座長：吉永 正夫  
( 鹿児島県医師会学校保健委員会委員 )



- 1 ) 九州各県における学校管理下の心臓性突然死(平成 25年度)について(福岡県)

九州各県で毎年継続調査を行っており、平成 25年度の学校管理下での突然死は、福岡県 1 例、熊本県 1 例の計 2 名が報告された。

- 2 ) 心臓学校心臓検診の集計結果：心臓検診時の統一病名(平成 25年度)について(九州各県)

昨年、検診時の統一病名票が作成され、平成 25年度から各分類コードに分けられた「学校心臓検診精密検査結果統計」を用いた各県の集計結果が報告された。二次検診(精密検査)については、実施方法などにより受診率に開きがでているとの指摘があり、行政の費用負担や集団検診によって一定の効果が現れているとの説明があった。調査表については、初回診断の解釈や実数の把握・集計などの対応にばらつきがあるため、今後精度を高めていくとともに診断基準なども含め検討していくこととなった。

- 3 ) 児童生徒の心肺蘇生事例調査(対象期間：H 25.1.1~ H 25.12.31)について(九州各県)

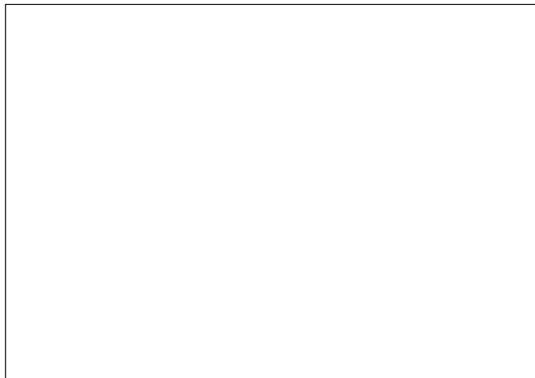
平成 25年の心肺蘇生事例は 83例(0 ~ 19歳)で、学校及び学校医からの報告が 14例、消防からの報告は 69例であった。6 歳未満と交通事故、自殺を除いた件数は 35例で 13例が死亡となっている。また、昨年報告されたものを含めた 2 年間の事例(平成 24年 1 月 1 日 ~ 25年 12 月 31 日)では、111例中 70例が死亡、0 ~ 1 歳の睡眠中の死亡が 28例と大変多くなっている。6 歳 ~ 18歳では、67例の心肺蘇生事例が発生し、その半数が AED を使用し、16例が作動、うち 12例は蘇生していることから、AED の広報とともに、引き続き調査分析を進めることとなった。

- 4 ) 児童生徒の心肺蘇生事例調査における情報収集について(沖縄県)

関係機関の協力のもと調査報告が行われているが、死亡例については、心電図など、詳細な情報の収集に苦慮しているとの報告があり、各県、同様の問題を抱えていることが明らかとなった。そのような状況を打開する案として、学校検診の調査表に利用目的を記載し、情報収集に関して事前に承諾を得ることや心肺蘇生事例調査表に搬送医療機関名を記載する欄を設け、医療機関から情報提供してもらう案などが出され、今後検討していくこととなった。

出席者 - 高村常任理事、竹崎次長

2. 腎臓部門 座長：服部 新三郎  
(熊本県医師会学校検診委員会委員)



提案事項

- 1) 「九州学校腎臓病検診マニュアル第4版～検診担当者のために～」の紙媒体での配布について(報告)(長崎県)

昨年11月30日(土)の平成25年度九州学校検診協議会第2回専門委員会において、熊本県から報告された方法を基に、長崎県でも関係各所に送付したことが報告された。

マニュアルはホームページからダウンロードが可能だが、より有効活用してもらうため紙媒体での配付について検討していくこととなった。

- 2) 学校検尿の結果集計表に1次検尿、2次検尿の判定基準がマニュアルと同じか、異なるかの項目を作り、基準が統一されている群に分けて集計できるようにすることを提案したい。(宮崎県)

- 6) 平成25年度腎臓検診結果の集計結果について(九州各県)

2), 6)については一括協議された。

学校検尿の検診結果は毎年集計され、その結果を用いて学校検尿のクオリティーが評価できるようになりつつある。しかし、1次検尿、2次検尿の判定基準が地域により異なると集計結果の解釈が困難となる。1次検尿を、2次検尿の判定基準がそれぞれ蛋白尿(+ )以上が異常、尿潜血(+ )以上が異常ならば 印

を、そうでなければ×印を集計表に記入すること。また、同じ都市医師会で と×の地域がある場合は、 と×の2つの群の集計を行うことが提案された。

次年度から群に分けて集計することとし、集計依頼の際、×の定義を明確にした文書を添付することとなった。文書の内容についてはメーリングリストで検討する。

各県より報告があった平成25年度腎臓検診結果の集計結果について報告されたが、2県が未提出であるため次回専門委員会で報告されることとなった。

- 3) 宮崎県医師会が提出した学校検尿について要望に対する宮崎県教育委員会からの回答について(報告)(宮崎県)

- 4) 昨年8月に提出された要望書「(私学学校に関する)学校検尿結果の開示」について私学学校へ対し調査を行うこととし、調査機関・様式(内容)等を決定し、県医師会へ依頼を行いたい。(福岡県)

- 5) 学校検尿結果の開示について(熊本県)

3), 4), 5)については一括協議された。

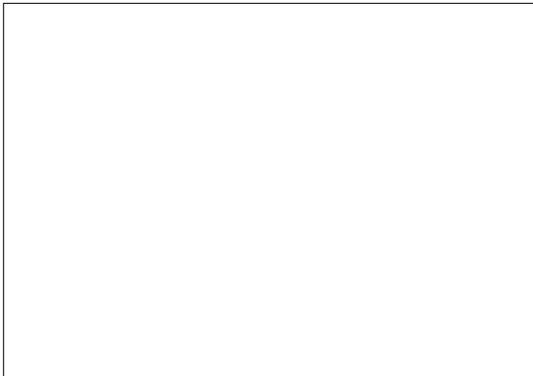
宮崎県医師会の要望に対する県教育委員会からの回答が報告された。

福岡県医師会では、福岡県私学協会にご相談して協力いただけることを口頭でご回答いただいている。しかし、調査時期や内容が未定では正確な依頼ができないままであるので、本委員会において、調査内容や時期、統一して使用する様式等があるならばそれも含め、決定していただきたいとの提案があった。

本要望についての各県の現状報告があった。私学学校への要望書を作成することとなった。調査時期や内容については引き続きメーリングリスト等で検討していくこととなった。

出席者 - 宮田学校医部会理事、高山主事

3. 小児生活習慣病部門 座長：田崎 考  
(九州学校検診協議会専門委員)



【提案事項】

- 1) 小児生活習慣病予防健診の昨年度の動向(活動状況)と今後の取組みについて(佐賀県)
- 2) 平成 25年度九州地区尿糖陽性者群集計結果のまとめについて(佐賀県)
- 3) 宮崎県医師会が提出した小児生活習慣病予防健診についての要望に対する宮崎県教育委員会からの回答について(報告)(宮崎県)
- 4) 昨年 8月に提出された要望書「小児生活習慣病健診の標準化と普及のための教育委員会への働きかけについて」について、県医師会の状況を教えていただきたい。(福岡県)

すべて一括協議された。

以下のとおり、各県医師会の状況及び教育委員会の反応について意見交換が行われ、今後の対応について検討された。

佐賀県 県教育委員会及び県私学担当課へ要望書を提出しているが、実施可能かの検討に時間を要している。趣旨には理解をいただいております、受診勧奨の様式等の細部を詰めて交渉することも必要である。

長崎県 要望書は提出しているが、現時点での回答はなく、県教育委員会との協議会で再度提案した。教育委員会からは「例年、指導が必要と思われる児童生徒が見受けられることから、校医やかかりつけ医による専門的な助言を得る機

会があれば、改善の効果は高いと考える。必要性はわかるので、学校としてどのような協力ができるか、今後情報を共有しながら検討したい」との回答を得た。

熊本県 熊本市医師会が昭和 63年度から、菊池郡市医師会が平成 23年度から健診を実施している。平成 23年 3月に県内全学校とその学校医を対象に実施した「学校保健に関するアンケート」では、学校の 82%、学校医 87%が実施すべきと答えており、関心は高い。市町村の財政的な問題、実施機関側の問題等があるが、大変重要であり、今後も教育委員会等に働きかけていきたい。

大分県 県教育委員会と複数の市町村、市町村教育委員会と直接面談し回答をいただいた。大分市、別府市では既に実施されているが、それ以外の市町村は、医師会・学校の協力・専門医の確保などの問題があるものの、環境が整えば実施していただけるのではないかとと思われる。宮崎県 県教育委員会より、「身体計測から計算した肥満度の結果や学校医の総合的な判断を基に、肥満傾向、痩身傾向の児童生徒には、家庭と協力して保健指導を実施し、必要に応じて、かかりつけ医又は学校医の受診を勧奨している。今後とも、児童生徒の健康管理について、県医師会と連携を深めながら対応したい」旨の回答を得た。

鹿児島県 要望書は提出していないが、県教育委員会により、学校保健課題解決支援事業連絡会の分科会として健康診断結果検討委員会が昨年 2回開催され、栄養状態等について協議や具体的な取組みが報告された。また、他県同様、大きな市町は実施できているが、小さい市町では、まだ実施できていない状況である。健診に対して興味を持っていただけるよう情報を地方まで発信する必要がある。

沖縄県 要望書は提出しているが回答待ち。長寿日本一から転落したことで危機感は高くなっ

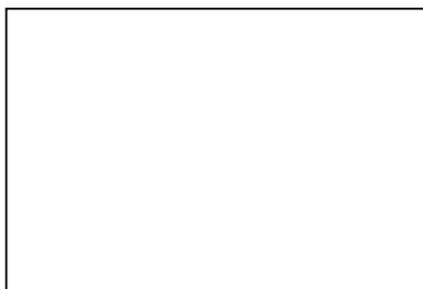
ているが、小児にはまだ目が向いていない。  
福岡県 教育委員会と調整の上、本年5月に県教育委員会及び政令都市の教育委員会(福岡市、北九州市)へ健診の増進に関する要望書を発出するとともに、肥満度について、要観察児童数を集計する参考調査を行っている。

提案事項2について田崎委員長より、抽出対象の母集団がはっきりしないので、真の受検率は小中高とも不明である。今回の集計では、最終診断名の数既管理者、新規を含む県がある。今後は、新規と既管理者を分けた集計が良いとの意見が出ており、集計する医師会等の負担も懸念される。また沖縄県では、二次検診以降の情報が一切入手できない。福岡県、政令都市の北九州市、福岡市は新規者のみ公費負担での二次検診なので新規と既管理者を分けた集計が可能であるなどの報告があった。

提案事項4では北九州市の現状報告があった。平成26年度から検診実施予定だったが、校長会の反対で中止になり小児生活習慣病に係る注意喚起文が全児童に配布された。注意喚起文には肥満度の計算式・標準体重早見表や、内臓脂肪型肥満の判定表を載せて、保護者に子どもの肥満度を計算し、健康状態や対応を確認してもらう。医療機関受診を希望される場合は、小児生活習慣病受診票、小児系医療機関リスト、小児肥満専門外来機関リスト等を送付する旨を記載した。その結果、北九州市医師会に内容や受診方法についての問合せがあり、この場合は保険診療扱いとなるとの報告であった。

出席者 - 澤田学校医部会学校検診委員、  
鳥井元課長補佐

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時的無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 野尻・竹崎

## 九州医師会連合会第 342回常任委員会

と き 平成 26年 8 月 30日(土)

ところ レンブラントホテル大分

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

九州医師会連合会長(近藤稔大分県医師会長)

### 3. 報 告

○第 10回定例委員総会について(大分)

このあと同ホテルでの開催される委員総会の次第が報告された。

### 4. 議 事

第 1号議案 平成 25年度九州医師会連合会  
歳入歳出決算に関する件

第 2号議案 平成 26年度九州医師会連合会  
事業計画に関する件

第 3号議案 平成 26年度九州医師会連合会  
負担金賦課に関する件

第 4号議案 平成 26年度九州医師会連合会  
歳入歳出予算に関する件

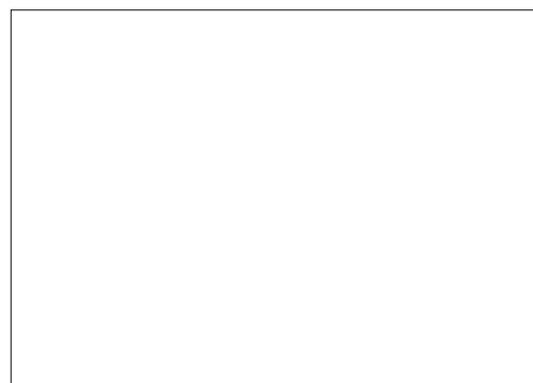
第 5号議案 平成 26年度九州医師会連合会  
監事(2名)の選定に関する件  
福岡県医師会：堤康博専務理事，  
宮崎県医師会：富田雄二副会長

第 6号議案 平成 26年度第 114回九州医師会  
医学会会費賦課に関する件

第 7号議案 平成 26年度第 114回九州医師会  
医学会事業計画に関する件

以上、異議なく承認された。

第 8号議案 次回第 115回(平成 27年度)九州  
医師会医学会開催担当県の決定  
並びに次々回第 116回(平成 28年  
度)同学会開催担当県の内定に関  
する件



次回第 115回決定 長崎県医師会

次々回第 116回内定 熊本県医師会

### 5. 協 議

1) 第 343回常任委員会の開催について

平成 26年 9 月 20日(土)大分市開催が承認さ  
れた。

2) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会  
役員合同協議会の持ち方について

横倉日本医師会会長の中央情勢報告への  
要望・質問事項等のとりまとめを大分県医  
師会が行うことの内定があった。

3) その他

広島市における土砂災害に対する九医連  
の対応が協議され、類似災害の見舞金実績  
どおり、広島県医師会を通じて見舞金を送  
ることが決定された。

### 6. 閉 会

出席者 - 河野会長，大重事務局長

## 九州医師会連合会第 10回定例委員総会

と き 平成 26年 8 月 30日(土)

ところ レンブラントホテル大分

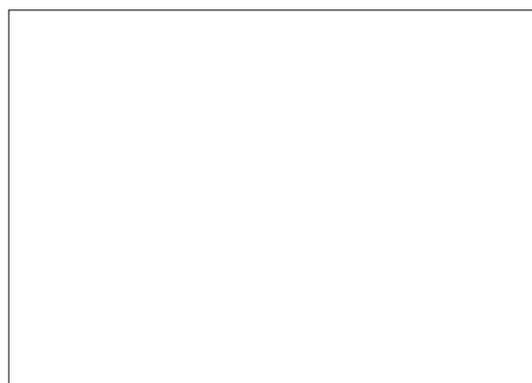
前担当県の宮城沖縄県医師会長から、昨年度 1 年間のご協力に対する御礼の挨拶と、九州医師会連合会長の近藤大分県医師会長の挨拶に続き、今村日医常任理事が横倉会長の祝辞を代読された。

横倉日医会長祝辞(要旨)

九州医師会連合会第 10回定例委員総会の開催にあたり、日本医師会を代表して一言ご挨拶を申し上げる。

はじめに、本年度の当番県たる近藤大分県医師会長をはじめ多くの皆様方のご尽力により本総会がこのように盛大に開催されることに、お祝い申し上げます。また、去る 6 月の日本医師会役員改選にあたり皆様方の絶大なるご支援のもと 2 期目となる会長職を拝命させていただいたことに厚く御礼申し上げます。

就任にあたっては、地域医療を支えること、将来の医療を考えていくこと、医師会の組織を強化すること、この 3 つを基本方針と掲げさせていただいた。すなわち超高齢社会を迎える我が国において、地域医療を支え続けていくためには、国からのトップダウンではなく、地域の行政や医師会が主体となり、地域の実情を反映した地域に即した形でのまちづくりを行っていくことが重要である。このまちづくりにあたっては、医療者にとっても地域住民にとっても最善で持続可能な医療提供体制を、地域住民と医師会、行政が一緒になって考えていくことが必要である。そしてそのビジョンの実現に向け、地域にある全ての医療機関が献身的に努力し、



また行政が誤った方向へ進むような際の抑止力となるためにも加入率の向上による医師会組織の強化が不可欠と考えている。

折しも、昨年 6 月には日本医師会綱領を採択し、医師の大同団結を呼びかけるとともに、国民医療の向上に向けた奉仕を国民との約束として掲げさせていただいた。九州医師会連合会の皆様方におかれても、日本医師会綱領の精神を遵法していただく中で、今後ともさらなる協働と本会会務への一層のご支援を賜るようこの場を借りて深くお願い申し上げます。

結びに、本総会の成果が実り多きものとなるよう期待するとともに、本日ご参集の皆様のご健勝とご活躍を衷心より祈念し、挨拶とさせていただきます。

続いて、日医推薦の羽生田参議院議員から祝辞が述べられた。

羽生田参議院議員祝辞(要旨)

昨年 7 月参議院議員選挙において、皆様から心強いご支援を賜り当選させていただいたことに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。あれ

から 1 年を超え、議員としての自己紹介もやっと板についてきた。

1 年間全く新しい土俵の中での活動ということで、手探りの中、あつという間に 1 年が過ぎてしまった印象である。昨年いろいろな形で先生方に話をさせていただき、その中で、与党内野党となるべくしっかり意見を申し上げると約束して参ったが、まさに自民党の中での部会または厚生労働委員会の中での発言はほとんど与党内野党という発言であるし、初めての厚生労働委員会での正式な発言でも、はじめに拍手をもらったのは共産党議員からであった。

医療については野党の方々ともそう意見は変わらない。特に厚生労働委員会の参議員の場合は全部で 20 人程なのでほとんど同じ方向を向いている。今、アベノミクスという耳触りのいい言葉に、若手の議員が多く当選してきている。経済効果、経済再生ということではいけいけドンドンのような発言が多い。医療に関しても同じようにほとんど医療のことが良くわからない議員においてもいけいけドンドンのような発言が相次ぐ。

私が議員になって良かったと思うのは、その時すぐに反論ができるということである。そういった意味で今日、定例委員総会にお招きいただき挨拶させていただいたことに感謝申し上げますとともに、今後は国政の場で現場の意見として物を申すために、是非皆様からのご支援を続けていただくようお願い申し上げます。お祝いの挨拶とさせていただきます。

#### 記念品贈呈

本年度日本医師会役員を退任した 3 名に対し、近藤会長から記念品目録が贈呈された。

- ・前日本医師会常任理事 藤川謙二先生(佐賀)
- ・前日本医師会理事 稲倉正孝先生(宮崎)
- ・前日本医師会理事 福田 稔先生(熊本)

#### 座長選出

近藤会長を座長に選出し、報告・議事・協議に入った。

#### 報 告

##### 1. 第 34 回常任委員会について

近藤会長から、定例委員総会に先立ち開催された第 34 回常任委員会において、本委員総会へ提出する議事(第 1 号議案～第 7 号議案)等について協議を行い了承されたことが報告された。

また、次回第 115 回(平成 27 年度)の九医学会担当県が長崎県に、次々回第 116 回(平成 28 年度)の九医学会担当県が熊本県に内定したことが報告された。

##### 2. 平成 25 年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

沖縄県玉城委員より平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日までの庶務並びに事業について、資料に沿って報告された。

#### 議 事

##### 第 1 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

沖縄県真栄田委員から、平成 25 年度の決算は、歳入合計 67,450,372 円、歳出合計 44,066,528 円となり、差引 23,383,844 円を 26 年度に繰越す旨の説明が行われた後、監事の鹿児島県野村委員より監査報告があった。採決の結果、承認された。

##### 第 2 号議案 平成 26 年度九州医師会連合会事業計画に関する件

大分県新森委員から、平成 26 年度に予定される定例諸会議、支援事業、総会・医学会等からなる事業計画案の説明が行われ、採決の結果、承認された。

##### 第 3 号議案 平成 26 年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

大分県内田委員から、負担金は、会員 1 人年額 1,500 円(前年度と同額)、研修医は 1 人年額 500 円(同)とする案の説明があり、採決の結果、承認された。

第 4 号議案 平成 26年度九州医師会連合会歳入  
歳出予算に関する件

大分県内田委員から、今年度予定される事業と例年の予算を参考に、総額 59,770,344円  
の予算案について説明が行われ、採決の結果、  
承認された。

第 5 号議案 平成 26年度九州医師会連合会監事  
( 2 名 )の選定に関する件

近藤会長から、7月の常任委員会の決定により、  
前もって福岡県堤委員、本県の富田委員を推薦  
いただいている旨の説明があり、採決の結果、  
2名を監事として選定することが承認された。

第 6 号議案 平成 26年度第 114回九州医師会医学  
会会費賦課に関する件

大分県内田委員から、会費を会員 1 人年額  
2,500円(前年度と同額)、研修医は 1 人年額 1,500  
円(同)とする案の説明が行われ、採決の結果、  
承認された。

第 7 号議案 平成 26年度第 114回九州医師会医学  
会事業計画に関する件

大分県新森委員から、11月 21日(金)の九医連  
関係前日諸行事と 11月 22日(土)～ 11月 23日(日)総  
会・医学会等について説明が行われ、採決の  
結果、承認された。

出席者 - 河野会長、濱田副会長、吉田常任理事、  
大重事務局長、小川次長、  
松本・牧野課長補佐、喜入主事

## お知らせ

### クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 26年 5 月 1 日より平成 26年 10月 31日  
までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クール  
ビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、  
ご理解とご協力をお願いいたします。

## 日医インターネットニュースから

### 新基金の配分，2次医療圏単位を念頭 総合確保方針の素案

厚生労働省は8月29日の「医療介護総合確保促進会議」(座長=田中滋・慶応大名誉教授)に、新たな財政支援制度(新基金)の対象となる事業の大枠などを定める「医療介護総合確保方針」の素案を提示した。新基金を活用して実施する事業の区域「医療介護総合確保区域」については、2次医療圏などの提供体制を念頭に設定するよう求める方針を明示した。

都道府県は国の総合確保方針に基づいて、総合確保区域ごとの整備計画を「都道府県計画」に盛り込む。新基金は都道府県計画に基づいて配分される。厚生労働省が同日示した素案には総合確保区域として、2次医療圏のほか、都道府県介護保険事業計画で設定しなければならない「老人福祉圏域」も念頭に置くよう求める方針を記載した。

素案ではこのほか、新基金を活用する事業の期間は1年を原則に、内容に応じて複数年も可能とした。

構成員からは、人口動態の変化や患者の流入・流出などの実態に合うよう、2次医療圏を見直した上で総合確保区域を設定すべきとの意見が複数出た。厚生労働省の福島靖正医政担当審議官は「現時点で直ちに直すと申し上げることはできない」と明言は避けた。一方、「今後、医療機能などの集約化を図る中で、ある機能は現在の医療圏でカバー、救急などはそれ以外の範囲で、などと違いが出てくるかもしれない」と述べた。

#### 地域ごとに窓口機能が必要 今村副会長

一定の地域ごとに医療・介護の総合的な相談窓口機能を設置すべきとの意見も複数あった。今村聡構成員(日本医師会副会長)は「医療・介護をシームレスに提供する体制の構築に向けて」と題した資料を提出し、窓口機能の担い手として、既存の郡市区医師会や地域包括支援センターを活用すべきとの考えを示した。地域の医療と介護の資源を把握し、患者・要介護者や家族のニーズにワンストップで対応できる人材養成も重要

と主張した厚生労働省は、新基金の用途について実効性などを検証し同会議に報告する方針を示した。公的・民間機関への配分割合についても調査・公表するとした。(平成26年9月2日)

### 全病床の平均在院日数は30.6日 13年医療施設調査・病院報告

厚生労働省が9月2日に発表した「2013年医療施設動態調査・病院報告の結果」によると、病床の種類別の平均在院日数は、感染症病床と介護療養病床を除いて前年から減少したことが分かった。全病床の平均在院日数は30.6日で、前年から0.6日短くなっている。病床の利用率も、全病床は81.0%(前年比0.5ポイント減)で減少し、感染症病床以外で減少している。

病院の平均在院日数を病床別に見ると、一般病床が17.2日(前年比0.3日減)、精神病床が284.7日(7.2日減)、結核病床が68.8日(1.9日減)、療養病床が168.3日(3.5日減)と前年より減少。感染症病床は9.6日(1.1日増)、介護療養病床は308.6日(1.6日増)と前年から増加した。

病院の常勤換算従事者数を職種別に見ると、医師は20万6658.6人(前年比1.9%増)で、このうち常勤の医師は16万6134人(1.6%増)、非常勤の医師は4万524.6人(3.1%増)となっている。

#### 病院の施設数は減少、一般診療所は増加

医療施設数は、病院が8,540施設(前年比25施設減)、一般診療所が10万528施設(37施設増)。病床数では、病院が15万3,772床(4,482床減)、一般診療所が12万1,342床(4,257床減)となった。また、「小児科」を標榜する一般病院は2,680施設(2施設減)、「産婦人科」または「産科」を標榜する一般病院は1,375施設(12施設減)となっている。

(平成26年9月5日)

### 過去最多、医学部定員増の効果は？ 研修医採用実績

厚生労働省は9月5日、2014年度の臨床研修医採用実績の調査結果を公表した。全国の採用実績は前年度から118人増加して7,792人となり、医師の臨床研修が義務化された04年度以降で過

去最多だった。ただ、これまでも7,700人超の採用実績は複数回あり、08年度に医学部定員を増やした効果は見えていないといえそうだ。

医学部の定員は08年度から段階的に増加した。14年度から臨床研修を始める08年度入学者の定員は07年度から168人増えている。厚労省医事課医師臨床研修推進室は「09年度はさらに693人の定員増を実施し、07年度比で861人の定員増となっている。来年度以降は定員増の効果で、さらなる研修医採用実績の伸びが見込まれる」と分析している。

都市部以外、採用実績割合を連続更新

地域別の採用実績割合では「大都市部6都府県」（東京、神奈川、愛知、京都、大阪、福岡）以外の「その他道県」が過去最大の55.6%（前年度比1.1ポイント増）を占めた。その他の採用割合は過去最大を5年連続で更新。採用人数は都市部が前年度比31人減の3,462人、その他が同149人増の4,330人だった。

臨床研修病院の採用実績割合が微増

臨床研修病院と大学病院の採用実績割合を比較すると、臨床研修病院が前年度比0.1ポイント増の57.2%で過去最大を更新した。

調査は毎年度実施しており、今年度は1,014か所の臨床研修病院と大学病院が対象となった。

（平成26年9月9日）

## 公安委員会への届け出でガイドライン 改正道交法で日医

車の安全な運転に支障を来す可能性のある患者を診察した医師が、診断結果を公安委員会に任意で提供することができることにした改正道

交法の施行を受け、日本医師会はこのほど、医師の届け出に関するガイドラインをまとめた。医師の度重なる指導にもかかわらず、患者が運転を続けた場合に公安委員会に届け出ることが柱。松原謙二副会長が9月10日、定例会見で発表した。

2013年6月に成立し、今年6月に施行された改正法では、特定の症状を持つ患者を診察した医師が任意で届け出る制度が明記された。この場合の医師の届け出行為は守秘義務違反にならず、届け出をしなかったことで刑事責任を問われることもない。

日医は今回、日本精神神経学会や日本てんかん学会、日本糖尿病学会などの関係学会が作成した診断基準に基づいて医師が「公安委員会に届け出るべき」と判断した際のその後の流れを提示した。

主に<1>該当患者の運転免許の有無の確認<2>患者への聞き取りで免許の有無が確認できない場合は公安委員会に確認できる<3>免許保有が確認された場合は、患者に自身の疾病や症状が運転に支障を来す恐れがあることを丁寧に説明。運転しないよう指導して診察録に記載する<4>患者への指導が困難な場合は家族などを通じた指導を考える<5>それらの対応を患者が受け入れずに運転を続けている場合、医師は患者に個人情報を含めた診断結果を公安委員会に届け出ることが可能と説明する。運転しないよう再度指導し、診療録に記載する というもので、このプロセスを経ても運転継続が明らかな場合、最終的な措置として必要事項を明記して公安委員会に持参するか書留で届け出るよう示した。（平成26年9月12日）

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている10桁の数字)を0も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の6桁の数字を半角で入力  
例) 196年5月1日生まれの場合、610501

## 薬事情報センターだより (329)

## 新薬紹介(その72)

今回は9月に薬価収載されたHCV NS5A複製複合体阻害剤ダクルインザ錠60ng(一般名:ダクラタスビル塩酸塩)とHCV NS3/4Aプロテアーゼ阻害剤スンペプラカプセル100ng(一般名:アスナプレビル)について紹介いたします。

ダクルインザ錠60ng及びスンペプラカプセル100ngはダクラタスビル・アスナプレビル併用療法に使用する医薬品で、2014年7月に「セログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変における次のいずれかのウイルス血症の改善 (1)インターフェロンを含む治療法に不適格の未治療あるいは不耐容の患者 (2)インターフェロンを含む治療法で無効となった患者」を効能・効果として承認され、9月に Bristol・マイヤーズ株式会社から発売されました。また、現在、インターフェロン適格の未治療患者ならびにインターフェロンを含む治療法で再燃となった患者に対しての第3相臨床試験が終了し、適応追加申請がなされています。なお、ダクラタスビル・アスナプレビル併用療法は、非代償性肝硬変を対象とした臨床試験が行われておらず、安全性も確認されていません。

ダクルインザ錠(一般名:ダクラタスビル塩酸塩)は、米国 Bristol・マイヤーズ スクイブ社が開発しました。HCVの複製及び細胞内シグナル伝達経路の調節に関与する多機能蛋白である非構造蛋白5A(NS5A)複製複合体に対して、高い選択性を有する新規の作用機序を有する直接作用型抗ウイルス剤(direct acting antiviral agent: DAA)です。NS5Aと結合することにより、NS5Aの二量体形成時において構造上の歪みを生じさせ、この歪みが複製複合体形成を阻害すると考えられており、NS5Aの機能を阻害することにより、抗ウイルス作用を示します。

スンペプラカプセル(一般名:アスナプレビル)も、米国 Bristol・マイヤーズ スクイブ社が開発しました。HCVの複製に必要な成熟したウイルス蛋白産生のためのHCVポリ蛋白プロセシングに関与する酵素である、非構造蛋白3/4A(NS3/4A)プロテアーゼの活性部位において基質の結合を競合的に阻害し、抗ウイルス作用を

示す直接作用型抗ウイルス剤(DAA)です。なお、HCV NS3/4Aプロテアーゼ阻害剤としては、テラプレビル(テラビック錠250ng)、シメプレビル(ソプリアードカプセル100ng)に次いで3剤目となります。しかし、上記2剤はインターフェロンを含む治療法で使用する薬剤であり、DAAのみによって使用する初めての薬剤です。

ダクラタスビル・アスナプレビル併用療法により、ジェノタイプ1bのC型慢性肝炎患者又はC型代償性肝硬変患者において、インターフェロンを含む治療法に不適格の未治療あるいは不耐容の患者におけるSVR24達成割合(投与終了24週後にHCV RNAが定量下限未満であった患者の割合)は87.4%(118/135例)、前治療無効患者におけるSVR24達成割合は80.5%(70/87例)、合計のSVR24達成割合は84.7%(188/222例)でした。そのうち、ベースラインに代償性肝硬変のある患者集団におけるSVR24達成割合は90.9%(20/22例)でした。

ダクラタスビル・アスナプレビル併用療法による国内第2相及び第3相試験で、255例中158例(62.0%)に副作用が認められ、主な副作用は、ALT(GPT)増加45例(17.6%)、AST(GOT)増加36例(14.1%)、頭痛33例(12.9%)、発熱30例(11.8%)等でした(承認時)。なお、重大な副作用として、ALT(GPT)増加8.2%、AST(GOT)増加5.9%、血中ビリルビン増加0.8%の肝機能障害が報告されています(承認時)。

また、治療で著効が得られなかった場合、高率に多剤耐性変異を獲得することが知られており、併用療法は検討する場合には、治療前にダクラタスビル耐性に関係するHCV NS5A領域Y93/L31遺伝子多型(変異)がないことを確認することが重要です。

## 参考資料

ダクルインザ錠60ng・スンペプラカプセル100ng各添付文書・インタビューフォーム  
C型肝炎治療ガイドライン(第3版).日本肝臓学会肝炎診療ガイドライン作成委員会  
(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 「新春随想」原稿募集

平成 26年 1, 2月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。  
この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。  
本文に関連した写真・イラスト等( 1枚程度, カラー印刷はできません )  
も掲載できます。

字 数 800字以内( 字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがあります  
しますのでご了承ください )

締 切 平成 26年 12月 10日(水)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

原稿には「新春随想」と明記してください。

掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。

掲載はお一人, 1編とさせていただきます。

ご投稿の原稿が他紙に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせくだ  
さい。

原則として, 原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨  
ご指示ください。

日州医事は, 会員以外( マスコミ・行政・図書館等 )にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテ  
キスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス( genko  
@m iyazaki.m ed.or.jp )宛にお送りください。もちろん, それ以  
外の方法( FAX, 郵便等 )でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E m ail:genko@m iyazaki.m ed .or .jp

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118

原稿送付の際は, 他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」  
である旨とタイトル, ご氏名を明記の上お送りください。

## 医師国保組合だより

### 保健事業のご案内

医師国保組合では、下記の保健事業を実施いたしておりますので、ぜひご利用ください。

#### 1. 健康診断

**対象者** 次のいずれかに該当する被保険者の方々です。

- ・組合員，高齢組合員並びにその配偶者
- ・本年度中に満 40歳になる方～ 74歳の方

**実施機関** 各地域の健診機関並びに医療機関(自院で実施されても請求できます)

日曜日の集団健診 予約は当組合にお電話ください)

実施機関 宮崎市郡医師会成人病検診センター

平成 26年	11月 16日(第 3 日曜日)	定員各 20名 (子宮頸がん検診， 内視鏡検査は実施できません)
平成 27年	1月 18日(第 3 日曜日)	
	2月 1日(第 1 日曜日)	
	2月 15日(第 3 日曜日)	
	3月 1日(第 1 日曜日)	

**検査項目** 血液生化学検査，肝機能検査，血糖検査，尿検査，心電図検査，貧血検査，胸部 X 線検査，便潜血検査，腹部超音波検査他，詳細は「健康診断個人票」にてご確認ください(胃・大腸内視鏡検査を実施した場合は，補助金を別途支給いたします。次項をご覧ください)。

**実施期間** 平成 26年 4 月から平成 27年 3 月末まで

#### 2. 胃・大腸内視鏡検査の補助

**対象者** 次のいずれかに該当する被保険者の方々です(健康診断対象者と同様)。

- ・組合員，高齢組合員並びにその配偶者
- ・本年度中に満 40歳になる方～ 74歳の方

**検査内容及び補助金額**

胃内視鏡検査 15,300円

大腸内視鏡検査 21,950円

それぞれ 1 人 1 回，上記金額を上限として実費を補助します。

**実施期間** 平成 26年 4 月から平成 27年 3 月末日まで

**請求方法** 支給申請書に領収書を添付の上，組合に申請してください。

#### 3. 脳ドック等の補助

**対象者** 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員

**実施機関** 各地域の健診機関並びに医療機関

**検査内容及び補助金額**

頭部 MRI，頭部 MRA，頭部 CT 等 20,000円

1 人 1 回，上記金額を上限として実費を補助します。

**実施期間** 平成 26年 4 月から平成 27年 3 月末まで

## 4. 歯科健康診査

**対 象 者** 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員

**実施機関** 宮崎県歯科医師会の会員である歯科医院

**健診内容** * AまたはBコースのいずれかをお選びいただけます(健診のみ実施も可)。

- Aコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング
- Bコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング+フッ素塗布

歯科健診の項目...歯の状況, 歯周病, 補綴の状況, 顎関節, アフタ, 口腔粘膜疾患等  
歯石除去は保険診療の歯石除去とは内容が異なります。

**申込・受診方法**

組合員宛にお送りしている申込書に記入の上, 組合宛にファックスしてください。  
無料券, 歯科健康診査票(3枚複写), 質問票, 結果票を人数分送付します。  
歯科医院へ受診の予約をしてください。

* 宮崎県歯科医師会の会員であることを必ずご確認ください。

健診当日は, 無料券, 歯科健康診査票(3枚複写), 質問票, 結果票, 被保険者証を  
予約された歯科医院へご持参ください。

**実施期間** 平成 26年 4月 から平成 27年 3月 末まで

## 5. 肺炎球菌ワクチン予防接種補助

**対 象 者** 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員  
小児も含む。

**補助金額** 1人 5,000円  
支払額が補助額を超えた場合の差額は自己負担となります。

**接種期間** 平成 26年 4月 から平成 27年 3月 末まで

## 6. インフルエンザワクチン予防接種補助

**対 象 者** 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員  
小児も含む。

**補助金額** 1人1回 2,000円(高齢組合員は1,000円)

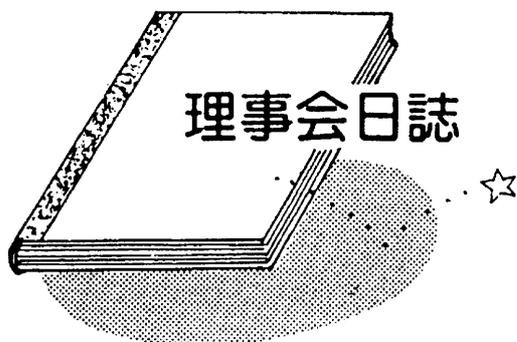
**接種期間** 平成 26年 10月 から平成 27年 2月 末まで

組合員の皆様方には詳細のご案内を送付いたしております。  
また, 当組合のウェブサイトでもご案内しております。  
<http://www.miyazakimed.or.jp/kokuho/>

事務局・お問い合わせ先

宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101 ☎0985-22-6588



平成 26年 8月 19日(火)第 13回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 10/1(水)・2(木)日医)第 58回社会保険指導者講習会の受講申込みについて  
痛みのマネジメントをメインテーマに開催される講習会で、講習会の参加者が本県での復講の講師を兼ねることから、上田理事他 3人が出席することと、本県での復講については 11/1(土)に開催することが承認された。
2. 9/2(土)大分)九医連第 343回常任委員会、平成 26年度第 1 回各種協議会の開催について  
常任委員会への提出議題については会長に一任することとなり、各種協議会への出席者については、後日、事務局から担当理事を中心に照会することとなった。
3. 9/2(土)大分)九医連平成 26年度第 1 回各種協議会の提案事項について  
地域医療(救急・防災を含む)は池井常任理事、医療保険は濱田副会長、介護保険・在宅医療は金丸常任理事が中心に取りまとめて回答することとなった。
4. 平成 26年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について  
過去に、公衆衛生事業に関する功績により県知事、日本公衆衛生協会会長等の表彰を受け、

かつ健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育等の諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で、2名の先生を推薦することが承認された。

##### 5. 後援・共催名義等使用許可について

10/26(日)宮日会館)いい皮膚の日に合わせた県民向け講演会の名義後援について

県皮膚科医会主催の県民向けの講演会であり、名義後援を行うことが承認された。

11/30(日)日南)第 2回宮崎県理学療法学会の後援について

創造的理学療法～今、一人ひとりのブラッシュアップを～とのテーマで開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

##### 6. 日曜日の会館使用申し込みについて

11/2(日)日本認知症ケア学会九州沖縄 2 地域部会研修会について

日曜・祝祭日の開催であり、また参加者が本会員中心の会ではないこともあり、従来の理事会での申合せ事項に従い、貸し出さないこととなった。

##### 7. 業務委託について

平成 26年度県認知症地域医療支援事業の業務委託契約について

認知症かかりつけ医対象の研修会と病院勤務医師・看護師等の医療従事者向けの研修会を、それぞれ開催する事業であり、契約を締結することが承認された。

##### 8. 10/9(木)日医)第 36回産業保健活動推進全国会議の開催について

産業保健活動の在り方について検討することを目的に開催される全国会議で、佐々木常任理事と県医師会事務局及び県内 4 か所の地域産業保健センターのコーディネーターが出席することが承認された。

## (報告事項)

1. 週間報告について
2. 8/9(土) (県医)母体保護法指定医師研修会について
3. 8/16(土) (県医)県有床診療所協議会総会について
4. 8/16(土) (県医)産業医研修会(前期)について
5. 9/4(木) (県医)日医職員研修「第1回医療の諸課題研修会」の開催について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

1. 8/27(火) (宮観)自民党第一選挙区支部総会開催について  
河野委員長が出席することが承認された。
2. 10/19(日) (シーガイア)アジア創価青年大会開催について  
公明党は政権与党であるが、創価学会の行事であるのでお断りすることが承認された。

平成 26年 8月 26日(火)第4回全理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 9/18(木) (JA 九州)九州厚生局及び宮崎県による社会保険担当者(医科)の集团的個別指導の実施に係る立会について  
35医療機関を対象に行われる講習会形式の集团的個別指導で、上田理事を立会い人として派遣することが承認された。
2. 本会外の役員等の推薦について  
宮崎県障害者施策推進協議会委員の推薦について  
障害者に関する施策の調査審議及び実施状況を監視することを目的に設置される審議会で、任期満了に伴う推薦依頼であり、河野会長を推薦することが承認された。

## 3. 後援・共催名義等使用許可について

10/19(日) (潤和会記念病院) NPO 法人日本医師事務作業補助者研究会第7回宮崎地方会名義後援申請について

医師の業務負担軽減や診療支援につながることを目的に開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。

## 4. 9/30(火) (宮観ホテル)平成26年度第1回各郡市医師会長協議会の開催について

9/16(火)に開催される都道府県医師会長協議会の報告を主な議題として予定している協議会で、時間は18:45~19:30と決定され、郡市医師会に提出議題等を照会することが承認された。

## 5. 9/30(火) (宮観ホテル)宮崎大学医学部教授等と県医役員等との懇談会開催について

毎年、地域医療の諸問題について意見交換を行うことを目的に開催されている懇談会で、日程及びプログラムの確認が行われた。今回は、各郡市医師会長協議会と重なるため、スタート時間を変更した上で、宮大学長をはじめとする関係者に案内することが承認された。

## 6. 本会各種委員会について

県医師会内に設置される29の委員会(治験審査委員会含む)の内、すでに決定している2つの委員会を除く27の委員会について、会長委嘱と委員長・副委員長(案)の人選を担当理事を中心に行い、定款第5条並びに県医師会委員会規程に基づき、9/30(火)の次回全理事協議会で決定することとなった。

## 7. 業務委託について

平成26年度高次脳機能障がい講演会の委託契約について

医療機関の診断技術の向上に資することを目的に、講演会の開催を行う委託事業で、契約を締結することが承認された。

- 平成 26年度広域予防接種業務委託契約の変更について  
既に契約を締結している平成 26年度の契約について、新たに水痘ワクチンを追加し、平成 26年 10月 1日付けで市町村との委託契約を変更することが承認された。  
平成 26年度インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌感染症定期予防接種に係る広域契約について  
県内市町村に住所のある高齢者に対し、当該市町村外での接種が可能となるよう契約するもので、市町村によって一部負担金にばらつきがあるが、接種料金をインフルエンザ 3,768円と高齢者肺炎球菌 7,319円から自己負担額を除いた額、事務手数料を予診票 1件あたり 200円で契約を締結することが承認された。また、県から事前の相談がなかったことから、各市町村の平均の額となっているので、今後は事前の相談をするように県へ申し入れることとなった。
8. 10/13月・祝)(日医)かかりつけ医機能強化研修会～第2回日医在宅医リーダー研修会～の開催について  
都道府県医師会や地域医師会で核になる在宅医療のリーダーの育成を目的に、かかりつけ医機能強化研修会と題して開催される研修会で、各都市医師会へ周知すると共に助成の在り方を含め調整を行うことが承認された。日医での受講は県内 10名までと限定されているが、県医師会でのテレビ会議受講もできることも併せて案内することとなった。
9. 12/6(土)(福岡)平成 26年度九州学校検診協議会第2回専門委員会の開催について  
本会から、高村常任理事、宮田純一先生、澤田浩武先生が出席することが承認された。
10. 12/6(土)(福岡)九州各県医師会学校保健担当理事者会の開催について  
九州学校検診協議会専門委員会に引き続き開催される担当理事者会で、高村常任理事が出席することが承認された。
11. 10/25(土)(横浜)全国医師会勤務医部会連絡協議会の開催について  
担当の上田理事、金丸常任理事、米澤理事の出席が承認された。
12. 労災保険情報センター(RIC)事業へのご支援について  
事業として労災診療援護貸付と補償保険支援契約について、契約数の向上を図るため、本会窓口等へのパンフレット備え付けと日州医事への案内文の掲載依頼であり、RIC事業の周知方法を検討することとなった。
13. 11/2(日)(西都市)県高等学校総合体育大会駅伝大会開催に伴う医師および看護師の派遣について  
西都市公認マラソンコースで開催される大会で、開催地の西都市西児湯医師会へ人選をお願いすることが承認された。
14. 11/16(日)(西都市)県中学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について  
西都市公認マラソンコースで開催される大会で、開催地の西都市西児湯医師会へ人選をお願いすることが承認された。
15. 9・10月の行事予定について  
9月の追加行事と10月の行事について確認が行われた。
- (報告事項)
1. 8/26(火)(県庁)県立看護大学あり方検討委員会について
2. 8/20(火)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について
3. 8/24(日)(宮日ホール)TPP問題シンポジウム「宮崎からTPPを考える - TPPでわたしたちの暮らしはどう変わる? -」について
4. 8/25(月)(県医)広報委員会について

5. 7 /12(社) 県医) 労災部会総会・合同学会について
6. 7 /19(社)・20(日) 岐阜) 全国有床診療所連絡協議会総会について
7. 7 /30(社) 労働局) 労災診療指導委員会について
8. 8 /19(火) 後期高齢者広域連合) 県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会について
9. 8 /12(火)～17(木) 県医) 県医医家芸術展について
10. 9 /6 (土) 県医) 県医医学会について

## 医師国保組合関係

## (報告事項)

1. 7 /24(木) 県医) 医師国保組合通常組合会について
2. 8 /22(金) 県医) 医師国保組合理事会について
3. 8 /23(土) 熊本) 九州地区医師国保組合連合会監査会、理事会・全体協議会、九州支部幹事会・総会について

## 医師協同組合理事・運営委員合同協議会

## (報告事項)

1. 8 /19(火) 県医) 第7回医師協同組合理事会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

1. 医政活動推進事業の実施について  
各郡市医師会連盟から医政活動推進幹事を2名ずつ(西臼杵医連は1名)推薦していただき、従来の医連活動に加えて医政活動推進事業に取り組むことで、各郡市医連の活性化を図り、諸課題の解決にむけての一助とすることを目的に、10/4(土)に第1回医政活動推進幹事会を開催すること等が承認された。
2. 10/19(日) 宮観ホテル) 清山知憲県政報告会の案内と協力をお願いについて  
崎田日南市長の特別講演と、清山県議の活動報告、支援者との懇親を兼ねて開催される県政報告会であり、協力することが承認された。

3. 9 /20(土) (メディキット) 自由民主党宮崎県政経セミナー 2014の開催について  
清山県議からの依頼であり、自民党幹事長の石破茂衆議院議員らを講師に招き開催される政経セミナーへの協力をすることが承認された。

## 平成 26年 9月 2日(火) 第 14回 常任理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員(保険医代表)の推薦について  
平成 2年 1月 1日から 2年間の任期であり、県医社保・国保審査委員会委員の選任基準(内規)に則り、本会から富田副会長と佐藤理事の2名を引き続き推薦することとし、郡市医師会に推薦依頼を行い、その後、各専門分科医会へ推薦依頼を行うことが承認された。
2. 9 /20(土) (大分) 平成 26年度九州医師会連合会第1回各種協議会における提案事項に対する回答について  
地域医療(救急・防災を含む)は池井常任理事、医療保険は濱田副会長、介護・在宅医療は金丸常任理事が中心に取りまとめを行い、回答することが承認された。
3. 11/22(土) (大分) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における日本医師会への質問・要望事項について  
日医横倉会長の中央情勢報告に対する質問・要望事項であり、会長に一任することとし、役員で提出事項があれば9月10日までに総務課に連絡いただくことが承認された。
4. 日本医師会の委員会委員の委嘱について  
予防接種・感染症危機管理対策委員会の委員について、峰松理事に委嘱依頼があり、委嘱することが承認された。

- 5 . 9 /16(火) 宮崎空港 )平成 26年度宮崎空港航空機事故消火救難部分訓練の実施について  
毎年開催されている航空機事故を想定した訓練であり、事務局対応とすることが承認された。
- 6 . 12/10(火) 県医 )平成 26年度南海トラフ大地震を想定した衛星利用実証実験(防災訓練)について  
昨年から開催されている超高速インターネット衛星きずなを用いた実証試験の開催であり、本会でTV会議システムを使って参加することが承認された。
- 7 . 10/8 (火) 県医 )独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議(宮崎)の開催について  
2年に1度、本県で開催される学校安全業務の災害救済給付等の審議を行う会議の案内であり、事務局対応が承認された。
- (報告事項)
- 1 . 8 月末日現在の会員数について
- 2 . 8 /29(金) 九州厚生局宮崎事務所 )九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
- 3 . 8 /30(土) 大分 )九医連常任委員会について
- 4 . 8 /23(土) 広島 )中四九地区医師会看護学校協議会について
- 5 . 8 /26(火) マリックス )役員懇談会について
- 6 . 8 /27(水) 日医 )小児死亡事例に対する死亡時画像診断モデル事業説明会について
- 7 . 8 /30(土) 大分 )九医連定例委員総会について
- 8 . 8 /30(土) 県庁 )総合防災訓練における広域医療搬送訓練について
- 9 . 9 /2 (火) 県医 )治験審査委員会について
- 10 . 8 /28(木) 県医 )生活習慣病検診各部会長連絡会議について
- 11 . 8 /29(金) 県庁 )東九州メディカルバレー構想県推進会議について
- 12 . 8 /30(土) 県医 )在宅医療協議会役員会、総会・研修会について
- 13 . 8 /31(日) 福岡 )日本プライマリ・ケア連合学会九州支部長会について
- 医師連盟関係  
(報告事項)  
報 告
- 1 . 8 /27(水) 宮観ホテル )自民党県第一選挙区支部総会について
- 2 . 8 /30(土) 大分 )九州医連連絡会執行委員会について

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

### MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内等)

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

### 会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。  
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 地域医療課

TEL 0985-22-5118

## 医療法人慶明会 宮崎中央眼科病院 公益財団法人宮崎県アイバンク協会に寄付



今回、医療法人慶明会 宮崎中央眼科病院(土屋利紀理事長、中崎秀二院長)の患者様からの善意を、宮崎県アイバンク協会の趣旨に賛同いただき、ご寄付いただくこととなり、9月2日(火)に県医師会館にて、原田一道先生(医療法人慶明会副理事長、生目眼科クリニック院長)から県アイバンク協会河野雅行代表理事に手渡されました。ありがとうございました。

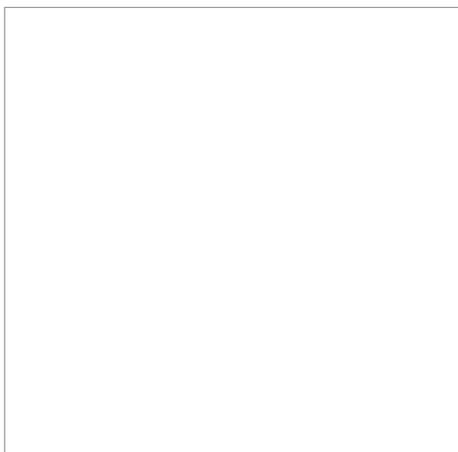
なお、昨年度は5月に直井信久先生(宮崎大学医学部眼科学講座教授)、6月に野村道夫様(一般県民)、3月に県眼科医会からご寄付をいただきました。併せて、お礼申し上げます。

公益財団法人宮崎県アイバンク協会(河野雅行代表理事)は、宮崎県医師会内に事務局を置き、県眼科医会等関係団体の協力を得ながら、昭和57年1月14日設立以来、258名(平成26年3月末現在)の方に角膜等を提供し、光を取り戻していただいています。

しかしながら、近年は、金利の低下や献眼者数の減少により、運用財産の確保に苦慮しております。皆様からのご協力をお願い致します。

### 女性医師メーリングリストのご案内

仕事や育児のちょっとした悩み相談やお役立ち情報の提供など、女性医師同士で気軽に情報交換を行いませんか。女性医師であればどなたでも参加できます。医師会の会員・非会員、現在の仕事の有無などは問いません。



#### お申し込み

E-mail: w-dr-adm in@iyazaki med.or.jp

FAX: 0985-27-6550

「女性医師メーリングリスト申込書」は、宮崎県医師会ホームページのDoctors Pageからダウンロードできます。

#### お問い合わせ

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 野尻・竹崎

## 県 医 の 動 き

( 9 月 )

1	県内科医会理事会(小牧常任理事他)		
2	治験審査委員会(富田副会長他) 第14回常任理事協議会(会長他)		
3	土曜会(報道機関支局長の会)との懇談会(会長他) 県警察医会協議会	18	都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議会(日医)小牧常任理事) 全国国民健康保険組合協会理事長・役員研修会(東京)秦理事長) 日医認証局LRA説明会(荒木常任理事) 社会保険医療担当者(医科)の集团的個別指導(上田理事) 地域医療連携プランについての話し合い(会長他)
4	日医職員研修第1回医療の諸問題研修会(TV会議) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導(立元常任理事) 日医医療情報システム協議会運営委員会(日医)(富田副会長) 宮崎銀行経営説明会(会長)	19	産業医研修会(都城) 医療現場のワークライフバランスセミナー(会長他)
5	宮崎信販との懇談会(富田理事長他)	20	九医連常任委員会(大分)会長) 九医連各種協議会(大分)富田副会長他)
6	県医学会(会長他)	21	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会(濱田副会長) 県産婦人科医会水子供養(濱田副会長)
8	医学会誌編集委員会(会長他)	22	みやざき若手医師キャリアプラン講演会・交流会(会長他) 広報委員会(荒木常任理事他) 九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会実行委員会(福岡)金丸常任理事) 九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会(福岡)金丸常任理事)
9	日医連執行委員会(日医)河野委員長他) 医協打合せ会(立元副理事長) 第15回常任理事協議会(濱田副会長他)	24	労災診療指導委員会(川野理事)
10	支払基金幹事会(会長) 三師会懇談会(会長他)	25	日本看護学会学術集会開会式(会長) 地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議(金丸常任理事) 労災部会自賠委員会(川野理事他) 産業医部会理事会(会長他) 損害保険医療協議会(川野理事他)
11	県糖尿病対策推進会議幹事会(会長他) 県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長)	26	日医大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会(日医)荒木常任理事他)
12	全国医師国保組合連合会代表者会(青森)(秦理事長) 全国医師国保組合連合会全体協議会(青森)(秦理事長他) 日医医療秘書認定試験委員会(日医)富田副会長) 広報委員会(荒木常任理事他)	27	産業医研修会(前期)佐々木常任理事) 県産婦人科医会秋期総会・市民公開講座(濱田副会長他) 全医秘協常任委員会(宮城)富田副会長) 全医秘協定例総会・運営委員会(宮城)(富田副会長)
13	全国医師国保組合連合会全体協議会(青森)(秦理事長他) 園医部会理事会(富田副会長他) 園医部会総会・医学会(富田副会長他)	29	准看護師試験問題調整委員会(立元常任理事) 医師国保組合理事会(秦理事長) 医師国保組合退任役員慰労会(会長他)
14	全国医師国保組合連合会全体協議会(青森)(秦理事長他)	30	医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 地方公務員災害補償基金県支部審査会(会長) 第5回全理事協議会(会長他) 各郡市医師会長協議会(会長他) 宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会(会長他)
16	宮崎空港航空機事故消火救難部分訓練(事務局) 都道府県医師会長協議会(日医)会長) 医協理事会(富田理事長他) 第16回常任理事協議会(富田副会長他) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講習会打合せ会(金丸常任理事)		
17	県総合防災訓練に係る広域医療搬送訓練関係者会議(事務局) リスクマネジメント・ラボラトリーとの懇談会(富田理事長他)		

## 追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

宮 田 典 男 先生

(昭和 3年 10月 24日生 8歳)

## 追 悼 記

故 宮田典男先生を悼みて

本会会員 宮田典男先生  
は平成 26年 9月 5日、享年  
8歳をもってご逝去なさい  
ました。

先生は昭和 26年 3月に鹿  
児島県立鹿児島医学専門学  
校をご卒業後、熊本大学眼科教室、熊本通信病  
院、串間市立病院にご勤務の後、昭和 35年 7月、  
都城市蔵原町に宮田眼科医院を開業、昭和 50年  
8月には宮田眼科病院に改称されておられます。

先生のご生涯は日本、いや世界の最高水準の  
眼科医療を地域の皆様に提供する事に捧げられ  
ました。何十万人という患者様が先生の誠実な  
人柄を慕い、真摯な医療に対する姿勢と熟練の  
手術を求めて来院され、先生の手術を受け、光  
と明るい希望を取り戻されました。また、先生  
は早くから癩病施設・星塚敬愛園への眼科訪問  
診療を始められ、長く続けられました。それら  
のご功績により平成 7年に寛仁親王より、平成  
2年には日本眼科医会会長から表彰状や感謝状  
をお受けになられました。しかし、何よりも尊  
いのは、先生が光と希望をお与えになられた幾  
多の患者様達の心の中に書かれた感謝状でござ  
います。

また、学校医活動にも積極的に取り組まれ、  
都城市立大王小学校をはじめ都城市内及び三股

町内の小学校・中学校・高校と延べ二十数校の  
学校医を長年に渡り務められ、この間に学校保  
健功労として平成 2年に都城市教育長表彰、平  
成 8年に宮崎県教育長表彰を受けられました。

先生にはご子息の和典先生が医師としてすで  
に先生の後継者として立派にご遺志を継いで、  
今や、我が国を代表する眼科臨床研究者であり、  
優れた眼科医としてご活躍中であります。また、  
宮田眼科病院は常に世界に向けて患者様の治療  
に役立つ情報を発信し続けておられますので、  
先生もさぞかしご安心のことと思います。

最後に、先生が世界にも類を見ない活発で立  
派な眼科専門病院を育て上げられましたご功績  
に対し、心から敬意を表しますと共に謹んでご  
冥福をお祈り致します。

東京医科歯科大学名誉教授 望月 學 先生の  
ご弔辞を一部、引用させていただきました。

平成 26年 9月 7日

一般社団法人

都城市北諸県郡医師会

会長 飯 田 正 幸

## ニューメンバー

宮崎市  
国立病院機構宮崎東病院

お だ や よい  
小 田 弥 生

住 所 宮崎市

専門科目 循環器科一般 内科一般

パートナー

Australian Labradoodle  
(Dog male age 9 y .10m .28kg)

略 歴

昭和 58年 県立宮崎南高等学校卒業

昭和 62年 長崎大学薬学部卒業

平成 7年 宮崎医科大学卒業

同 年 日本赤十字社医療センター  
循環器科

平成 26年 国立病院機構宮崎東病院  
循環器科・内科

趣 味 登山，十三弦箏，茶道

抱 負 古都鎌倉に暮らして  
おりましたが，18年振りに宮崎に住まいを  
移しました。6月から宮崎東病院所属，  
現在週4日は川南町の同機構宮崎病院  
に派遣され勤務しております。何十年  
振りかで再会した方々が当地で活躍し  
ておられるのに接して，懐かしく嬉し  
いことが多くございます。宮崎の風土  
に寄り添いながら，仕事をして参りたい  
と存じます。

医師会の先生方には諸々ご指導賜り  
たく，今後ともどうぞ宜しく願い申  
し上げます。

## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では，分かりやすい医療や介護の本，闘病記のほか，  
難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。  
県民の皆様への貸出もしておりますので，お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索，  
ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間 月～金曜日 10:00～19:00，土曜日 10:00～18:00

休館日 日曜・祝日，12月29日～1月3日，8月14～15日，特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地

TEL 0985-22-5118 E-mail tosho@m-iyazakimed.or.jp

## 第 15回宮崎県医師会医家芸術展

今回で第 15回を迎えました医家芸術展は、8月 12日(火)から 17日(日)まで県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。50名の医師会員及びご家族の方々より絵画・写真・書道の 3部門に 126点の応募をいただきました。出展者の方々に厚く御礼申し上げます。

世話人の藤木浩先生(絵画)、押川紘一郎先生(写真)、山内励先生(書道)には多大なご尽力をいただきました。深く感謝申し上げます。なお、作品の一部は作者のお許しを得て、日州医事の表紙を飾ることにしています。

猛暑の中にも拘らず、多くの医療機関がお盆休みということとマスコミからの取材による報道もあり、入場者は過去最高の 6日間で 2,924人を数えました。毎年の行事として定着していることがうかがえます。

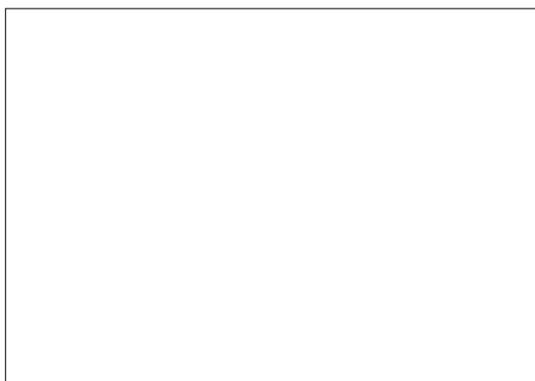
開催期間中の入場者数は以下のとおりです。

12日(火) 297人, 13日(水) 373人, 14日(木) 487人

15日(金) 539人, 16日(土) 600人, 17日(日) 628人

6日間 計 2,924人

来場者の方々より「すばらしい作品に感動した」との感想を多数いただきましたので、一部ですが紹介いたします。

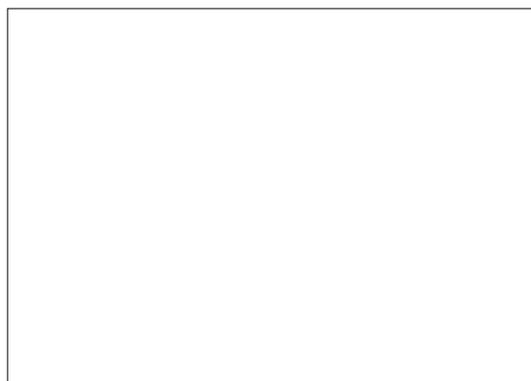


毎年素敵な作品で感動させていただいています。これからもますますのご活躍を楽しみにしております。誠にありがとうございました。展示空間のゆとり、ゆっくりと楽しく鑑賞しました。遊び心あり、自分流を貫いておられる姿勢など、医療に専念することは命をつくる、つなぐ大事なお仕事。心のゆとり、優しさが伝わる良い展覧会でした。益々のご発展をお祈りいたします。毎年観ていますが、充実した見ごたえのある作品が多くなっている、そう感じました。

今年も楽しみにしていました！心が明るくなるようなすてきな絵を観て、本当に元気をいただいたような気がします。また、来年を楽しみに待っております！ありがとうございました。

どの作品も心温まるすばらしいものばかりだったと思います。来年も心がけて是非拝観させてください。皆様に拍手！

来年の医家芸術展は、平成 27年 8月 12日(火)から 16日(日)の 5日間、県立美術館で開催する予定です。会員及びご家族の皆様のお待ちいたしております。



団体所得保障保険

## ドクターバンク情報

（無料職業紹介所）

平成 26年 9月 16日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 4人

#### 1) 男性医師求職登録数 4人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	3	2	1
外 科	1	1	0

#### 2) 女性医師求職登録数 0人

### 2. 斡旋成立件数 49人

	男性医師	女性医師	合 計
平成 26 年 度	1	1	2
平成 16年度から累計	35	14	49

### 3. 求人登録 81件 332人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	99	75	24
外 科	35	28	7
整 形 外 科	27	22	5
精 神 科	17	15	2
循 環 器 科	6	6	
脳 神 経 外 科	10	8	2
消 化 器 内 科	15	12	3
麻 酔 科	12	8	4
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	12	10	2
小 児 科	4	3	1
呼 吸 器 内 科	11	10	1
リハビリテーション科	3	3	
総合診療科・内科	5	4	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	6	6	
健 診	5	2	3
産 婦 人 科	3	3	
泌 尿 器 科	1		1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	
在 宅 担 当 医	1	1	
そ の 他	36	30	6
合 計	332	265	67

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医 三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外、整、放、麻、内	10	常勤・非常勤
160017	医 プレスビア プレスビアなんば病院	宮崎市	乳外、内、麻	3	常勤
160020	財 弘潤会 野崎病院	宮崎市	精、内	2	常勤
160031	社医 同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼、神、内、眼、総診、呼外、 臨病、乳外、整外、麻酔	11	常勤
160033	医 如月会 若草病院	宮崎市	精	2	常勤
170046	医 社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内、内、泌、糖、内、呼、リウマチ、 神経内、健診	6	常勤・非常勤
170048	医 慶明会 けいめい記念病院	国富町	内、放、在宅医療	3	常勤
170052	医 春光会	宮崎市	外、内	6	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内、神、内、整、消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内、呼内	6	常勤
190094	医 耕和会 迫田病院	宮崎市	内、外、整	8	常勤・非常勤
190095	医 慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
190096	医 晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化、麻、循、リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医 社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内、外、救急、呼外、婦人	7	常勤
200105	医 誠友会 南部病院	宮崎市	内、外、放	3	常勤
210110	医 幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内、外、整	12	常勤・非常勤
230128	医 真愛会 高宮病院	宮崎市	内、精	2	常勤
230132	医 康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医 慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国富町	内、外	2	常勤
230143	医 社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外、内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	総内、呼吸内、消化器内、 健診	8	常勤・非常勤
230146	財 潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内、神、内、外、整外、脳外、 リハ、麻酔、救急、緩和ケア	10	常勤
230148	医 コムコ美容外科	宮崎市	美外、形成外、外、麻酔	8	常勤・非常勤
230159	医 常聖会 巴外科内科	宮崎市	内	1	非常勤
230161	医 建心会 滝口内科医院	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
160008	医 正立会 黒松病院	都城市	泌	1	非常勤
160010	特医 敬和会 戸嶋病院	都城市	内、消内、整、神内	7	常勤・非常勤
160018	医 宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内、救急、放射、脳外、外、 眼、透内、皮膚	8	常勤
170057	医 清陵会 隅病院	都城市	内、外、整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消内、内、呼内、総合内	4	常勤
180081	医 恵心会 永田病院	都城市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内、呼	6	常勤
210114	藤元病院	都城市	精、内	3	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外,内,整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内,消外,健診	8	常勤・非常勤
230157	医)一誠会 都城新生病院	都 城 市	精,内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放射, 病理,呼吸内,精	16	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外,内,緩ケア	6	常勤・非常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内,外,麻,精,神内, 脳神経,老施,心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,内,整,神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	東 郷 町	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外	3	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整,内,総合診療,麻,眼, 健診,循,脳	10	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外	2	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,リハビリ,在宅診療	5	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,整,皮膚	5	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	循,救急,産婦,放,小	10	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外,内,整	7	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精,内	3	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
230155	医)三和会 池田病院	小 林 市	脳外,整,麻,内,放射,外	7	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,整	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 26年 9月 16日現在

1. 譲渡物件	<p>宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番 ,2634番 &lt;所有者 児湯医師会員 土地のみ：593.57坪( 2022.17㎡) (医)崧雲会 林クリニック&gt;</p>
2. 譲渡又は賃貸物件	<p>宮崎市大字本郷南方 407番 &lt;黒岩医院跡&gt; 建物 鉄筋コンクリート 2階建( 905㎡) 駐車場 14台分 別途職員専用駐車場有り</p>

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前9時から12時及び13時から17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地(宮崎県医師協同組合)

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakimed.or.jp

### 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26年 9月 30日現在

10			月			
1	水	10 00 (日医)日医社保指導者講習会	17	金		
2	木	10 00 (日医)日医社保指導者講習会	18	土	14 30 産業医研修会(実地) 16 30 九州医師協同組合連合会通常総会	↑
3	金	19 00 産業医研修会	19	日	8 00 県総合防災訓練 9 00 九州医師協同組合連合会通常総会 17 00 清山知憲県議県政報告会	国
4	土	14 00 (日医)日医「2020.30」推進懇話会 15 00 県警察医会総会・特別講演会 16 00 県医連臨時執行委員会 17 00 医政活動推進事業研修会 18 10 医政活動推進事業等懇談会	20	月		保
5	日	13 00 (日医)日医医療安全推進者養成講座 講習会 14 30 県小児科医会秋季学術講演会	21	火	14 00 県訪問看護推進協議会 18 20 医協打合せ会 19 00 第19回常任理事協議会	審 査
6	月	14 00 県立看護大学あり方検討委員会	22	水	13 30 県医療分野『雇用の質』向上企画 委員会 19 00 宮崎市郡医師会例会・しのめ 医学会・特別講演会	↓
7	火	18 30 治験理事会 19 00 第1回常任理事協議会	23	木	14 00 産業医研修会 15 30 (日医)日医医療情報システム協議会 運営委員会 18 30 県産業保健連絡協議会等	
8	水	14 00 日本スポーツ振興センター学校安全 業務運営会議 16 00 支払基金幹事会 16 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会	24	金	19 00 広報委員会	↑
9	木	10 30 (日医)産業保健活動推進全国会議 13 30 社会保険医療担当者(医科)の個別 指導 14 00 みやざき愛の献血運動推進県民大会 19 00 産業医研修会 19 30 県産婦人科医会常任理事会	25	土	10 00 全国医師会勤務医部会連絡協議会 10 00 日本保育園保健学会 13 30 県訪問看護ステーション連絡 協議会総会・研修会	社
10	金	15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会	26	日	9 00 日本保育園保健学会	保
11	土	9 00 ICLS指導者養成ワークショップ	27	月	18 30 治験セミナー(TV会議) 19 00 県医・宮大医学部・県福祉保健 部幹部の三者協議・交流会	審
12	日	8 30 ACLS研修会	28	火	18 00 九州地方社会保険医療協議会 宮崎部会 18 15 医協理事会 19 00 第6回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	査 ↓
13	月	(体育の日) 10 00 (日医)かかりつけ医機能強化研修会 (日医在宅医リーダー研修会) 10 00 かかりつけ医機能強化研修会(日医在 宅医リーダー研修会)(TV会議)	29	水	15 00 労災診療指導委員会 17 30 小児救急医療電話相談事業運営 協議会	
14	火	18 00 治験審査委員会 19 00 第18回常任理事協議会	30	木	13 00 社会保険医療担当者(医科)の個別 指導 9 00 全国自治体病院学会開会式・総会 14 00 宮大医学部医学科外部評価 訪問調査) 15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 15 00 (日医)日医医療IT委員会	
15	水	9 30 県歯科保健推進協議会成人期部会 13 00 都道府県医師会難病・小児慢性特定 疾病担当理事連絡協議会(TV会議) 15 00 県総合計画審議会くらしづくり部会	31	金	19 00 医療安全対策セミナー(TV会議)	

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26年 9月 30日現在

11		月		
1	土	13 00 (日医)日医設立記念医学大会	15 土 14 00 産業医部会総会・研修会(TV会議)	↑ 国 保 審 査 ↓
		15 00 日医社会保険指導者講習会復講(TV会議)	16 日 10 00 (日医)日医医療事故防止研修会 13 30 世界糖尿病デー市民公開講座	
		16 00 全国医師協同組合連合会通常総会	17 月	
2	日	全国医師協同組合連合会通常総会	17 月	
3	月	(文化の日)	18 火 15 00 (日医)都道府県医師会長協議会 19 00 第22回常任理事協議会	↑ 社 保 審 査 ↓
		8 30 県医親善ゴルフ大会		
4	火	15 00 県地域医療支援機構代表者会議	19 水 18 30 医協会計監査	↓
		19 00 第20回常任理事協議会	20 木 15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会	
5	水	19 30 女性医師委員会		
6	木	宮崎銀行との懇談会	21 金 16 00 九医連常任委員会 17 10 九医連臨時委員総会	
7	金	19 00 県外科医会秋期講演会		
8	土	10 00 全国学校保健・学校医大会	22 土 10 00 九医連委員・九州各県役員合同協議会 13 00 九州医師会総会・医学会	↑ 社 保 審 査 ↓
		14 00 宮大創立330記念事業記念交流会館落成式・記念式典・記念祝賀会 16 00 県整形外科医会研修会		
9	日		23 日 (勤労感謝の日) 九医連分科会・記念行事	
10	月	19 00 高次脳機能障がい講演会(TV会議)	24 月 (振替休日)	
11	火	18 30 治験審査委員会	25 火 18 30 第7回全理事協議会 19 20 各都市医師会長協議会	↑ 社 保 審 査 ↓
		19 00 第21回常任理事協議会		
12	水	16 00 支払基金幹事会	26 水 15 00 労災診療指導委員会 19 00 広報委員会	↓
		19 00 県認知症疾患医療センターと県医役員との意見交換会		
13	木	19 00 産業医研修会	27 木 19 00 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修(TV会議)	↓
		19 00 広報委員会(宮崎の医療を考える会)		
		19 30 県産婦人科医会常任理事会		
14	金	18 10 世界糖尿病デー県庁ライトアップ	28 金 18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18 30 県医監事監査	
			29 土	
			30 日	
都合により、変更になることがあります。				

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-Mail genko@mizazakimed.or.jp

FAX 0985-27-6550

TEL 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注 FAX の際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX 0 9 8 5 -2 7 -6 5 5 0

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前

ご所属

TEL

FAX

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数, CC カリキュラムコード(当日, 参加証を交付)

がん検診 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は, 変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
延岡医学会学術 講演会 10月3日(金) 18 45~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	予防接種最新情報 2014 - 大人にも子どもにも必要なワクチン, そして接種 率向上・過誤接種防止について - 久留米大学小児科学講座講師 津村 直幹	共催 延岡医学会 宮崎県北小児科医会 ジャパンワクチン(株) 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710	1	11 13
MRSA感染症学術 講演会 10月3日(金) 18 50~ 20 45 ホテルJALシティ 宮崎	MRSA感染症に関する最近の話題 近畿大学医学部附属病院 安全管理部感染対策室教授 吉田 耕一郎 他症例報告	共催 宮崎県内科医会 MSD (株) ☎ 080-1511-5016 後援 宮崎県医師会	1.5	9 19 28
宮崎県医師会産業 医研修会 10月3日(金) 19 00~ 21 00 延岡地域職業訓練 センター	(6)作業環境管理・作業管理 労働衛生保護具について 下津労働衛生コンサルタント事務所 代表 下津 義博 生涯研修の現地研修会 2単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	9 10 11 46

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県警察医会総 会・特別講演会 10月4日(土) 15 30~ 17 00 県医師会館	鈍器損傷の観察 北海道大学医学研究科・医学部法医学分野 教授 寺沢 浩一	主催 宮崎県警察医会 ☎ 0985-22-5118	1.5	1 2 4
第 27回 宮崎乳腺 疾患研究会 10月4日(土) 17 30~ 19 30 宮崎観光ホテル	産婦人科領域からの乳癌管理へのアドバイス 徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部 産科婦人科学分野教授 苛原 稔 参加費 500円	共催 宮崎乳腺疾患研究会 アストラゼネカ(株) ☎ 092-283-8150	1	1 乳
都城市北諸県郡 医師会東洋医会 学術講演会 10月4日(土) 18 00~ 19 30 都城ロイヤル ホテル	疼痛疾患の漢方治療 織部内科クリニック院長 織部 和宏	共催 都城市北諸県郡医師会東洋医会 ☎ 0986-22-0711 (株)ソムラ	1.5	60 61 83
平成 26年度宮崎県 小児科医会秋季 学術講演会 10月5日(日) 14 30~ 17 30 宮崎観光ホテル	動物園と野生動物の子育てについて 宮崎市フェニックス自然動物園長 出口 智久 2 か月齢から接種を始める4つのワクチン - より良い効果を得るために認識しておきたいこと - 横浜南共済病院小児科部長 成相 昭吉 他会員発表	共催 宮崎県小児科医会 ☎ 0985-22-5118 ジャパンワクチン(株) 第一三共(株)	3	1 2 8 11 44 72

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
西都市西児湯医師 会学術講演会 10月6日(月) 19 00~ 21 20 ホテルプリム ローズ西都	顎骨壊死の現状と対策 宮崎大学医学部附属病院歯科口腔外科 准教授 山下 善弘 骨粗鬆症に対する考え方 - 整形外科医の立場から - 上山整形外科クリニック院長 上山 裕史	主催 西都市西児湯医師会 ☎ 0983-43-1687 共催 西都児湯歯科医師会 西都市西児湯内科医会 アステラス製薬(株)	2	10 13 77 82
宮崎県内科医会 学術講演会 10月7日(火) 19 00~ 20 30 ガーデンテラス 宮崎	腎機能を考慮した糖尿病最新治療 - エビデンスから考える - 大阪市立大学腎臓病態内科学 准教授 絵本 正憲	共催 宮崎県内科医会 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株) ☎ 092-283-8461	1.5	23 76 82
日向市東臼杵郡 医師会学術講演会 - 慢性肝疾患 - 10月8日(水) 19 00~ 21 00 ホテルベルフォー ト日向	HBV再活性化における当院の対策 宮崎大学医学部消化器血液学分野 山田 優里 これからのC型治療について 宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター 准教授 永田 賢治	共催 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 プリストル・マイヤーズ(株)	1	9 73
第6回宮崎泌尿器 科医療連携カンファ レンス 10月9日(木) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	MU-NETとBPH治療コホート研究の現況 宮崎大学医学部泌尿器科学分野講師 月野 浩昌 (臨床試験への道)前立生検後のPSA高値 - あなたに前立腺癌はいるの? - 関西医科大学医学部腎泌尿器外科学講座 助教 井上 貴昭	共催 宮崎県泌尿器科医会 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710	1.5	65 66 67

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県医師会産業 医研修会 10月9日(木) 19 00~ 21 00 延岡地域職業訓練 センター	(1)労働安全関係法規と関係通達の改正 この頃の産業保健の動向 - 厚生労働省報道発表資料から - 西部労働衛生コンサルタント事務所 代表 矢崎 武 生涯研修の更新研修会 2単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 7 8 9
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 10月10日(金) 19 00~ 21 00 ガーデンベルズ 小林	高血圧治療Up Date 高血圧治療ガイドライン 2014の概要 宮崎大学医学部循環体液制御学分野 教授 北村 和雄	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 共催 大日本住友製薬(株)	2	2 8 74 75
延岡医学会学術 講演会 10月10日(金) 19 00~ 21 00 ホテルメリージュ 延岡	Genotype2型C型肝炎に対する当科での知見 宮崎大学医学部消化器血液学分野 助教 岩切 久芳 C型肝炎治療の最新の話 同 講師 蓮池 悟	共催 延岡医学会 プリストル・マイヤーズ(株) ☎ 080-9087-2248 後援 延岡内科医会	1	9 73
周産期勉強会 10月15日(水) 19 00~ 20 00 都城市北諸県郡 医師会館	症例報告 他 都城病院産婦人科 徳永 修一 同 小児科 横山 晃子	主催 都城市北諸県郡医 師会産婦人科医会 ☎ 0986-22-0711	1	2 8

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 10月16日(木) 19 00~ 20 30 ホテル中山荘	当院におけるシメプレビル併用3剤療法の使用経験 藤元総合病院消化器内科部長 駒田 直人 C型肝炎の最新治療 鹿児島大学医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学教授 井戸 章雄	共催 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 曾於市医師会 都城市北諸県郡薬剤師会 プリストル・マイヤーズ(株)	1.5	13 27 73
第14回南那珂感染 対策セミナー 10月17日(金) 18 15~ 19 30 県立日南病院	宮崎県におけるマダニ媒介性感染症 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 客員研究員 山本 正悟	共催 県立日南病院医療連携科 大日本住友製薬(株) ☎0985-29-5855 後援 県立日南病院 南那珂医師会	1	26 28
南那珂医師会生涯 教育医学会 10月17日(金) 18 45~ 20 00 南那珂医師会館	当院における糖尿病の病診連携 県立日南病院内科医長 椎屋 智美 低血糖を生じさせない糖尿病治療戦略 熊本総合病院糖尿病センター 部長 関上 泰二	共催 南那珂医師会 ☎0987-23-3411 田辺三菱製薬(株) 第一三共(株)	1	76
宮崎県内科医会学 術講演会 Asthma control seminar 2014 10月17日(金) 19 15~ 20 30 ガーデンテラス 宮崎	喘息・COPD診療の実際 - オーバーラップも含めて - 東邦大学医療センター大橋病院 教授 松瀬 厚人	共催 宮崎県内科医会 アステラス製薬(株) ☎0985-61-1537 アストラゼネカ(株)	1	46 79

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県医師会産業 医研修会 10月 18日(土) 14 30~ 16 30 県医師会館	(7)職場巡視と討論 産業医職場巡視の実際と注視すべきポイント 宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治 基礎研修・生涯研修の現地研修会 2単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	1 3 8 11
第 23回ひむか東洋 医学学会学術大会 10月 19日(日) 9 00~ 12 30 宮崎大学医学部総 合教育研究棟	癌治療における漢方薬の使用経験 - 補剤を中心に - えびのセントロクリニック 長井 章 臨床治療に役立つ漢方を語る 九州保健福祉大学薬学部東洋医薬学研究室 程 炳鈞 イノベーション漢方 - 漢方の普通じゃない使い方 - 飯塚病院東洋医学センター漢方診療科 田原 英一 参加費 3,000円(医師) 2,000円(薬剤師・鍼灸師) 1,000円(その他) (学生・初期研修医 無料)	主催 日本東洋医学会九州 支部宮崎県部会 (連絡先) 大森内科医院 ☎ 0983-22-0055	3	13 15 73 83
宮崎市郡外科医会 10月例会 10月 20日(月) 19 10~ 20 10 宮崎観光ホテル	甲状腺疾患の診断と治療(甲状腺癌を中心に) 宮崎大学医学部附属病院第二外科 助教 河野 文彰	主催 宮崎市郡外科医会 ☎ 0985-53-3434 共催 旭化成ファーマ(株)	1	1 10
宮崎市郡医師会 10 月例会特別講演会 しののめ医学会 10月 22日(水) 19 00~ 19 45 宮崎観光ホテル	臨床解剖学実習の新たな取り組み - 臨床医に開かれた実習室 - 宮崎大学医学部超微形態科学分野 教授 澤口 朗	主催 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434	0.5	9

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県医師会産業 医研修会 10月 23日(木) 14 00~ 16 00 県医師会館	(8)有害業務管理 騒音性難聴を予防する 宮崎大学医学部公衆衛生学分野 教授 黒田 嘉紀 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	8 11 12 38
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 10月 24日(金) 19 00~ 20 30 ホテル中山荘	2型糖尿病の薬物治療 - SGLT 2 阻害薬への期待 最新的话题を含めて - 高木病院内科部長 小野 恭裕	共催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 田辺三菱薬品(株) 第一三共(株)	1.5	75 76 82
延岡医学会学術 講演会 10月 24日(金) 19 00~ 20 35 ホテルメリージュ 延岡	県北地区における地域連携報告 - 不整脈疾患における連携 - 千代田病院循環器内科部長 小宮 憲洋 心房細動における抗凝固療法の重要性 宮崎大学医学部循環体液制御学分野 助教 井手口 武史 宮崎における脳外科医と心原性脳塞栓症 同 脳神経外科分野講師 横上 聖貴	共催 延岡医学会 日本ペーリンガーインゲルハイム(株) ☎ 0985-26-9363 後援 延岡内科医会	1.5	1 43 78
第 13回宮崎難治性 疼痛研究会 10月 24日(金) 19 00~ 20 40 宮崎観光ホテル	腰痛と体幹深部筋機能 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 金岡 恒治	共催 宮崎難治性疼痛研究会 日本臓器製薬(株) ☎ 096-386-0441 後援 宮崎県医師会	1	60 61

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会 10月 25日(土) 13 30~ 16 00 JA A ZM ホール	宮崎県の地域包括ケアシステムについて 宮崎県福祉保健部医療業務課 主幹 津田 君彦 訪問看護ステーションの活用について 外山内科神経内科医院長 外山 博一	主催 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 ☎ 0985-22-5118	2	10 13 14 80
第 5回宮崎県スポーツ学会 10月 25日(土) 15 00~ 18 30 県医師会館	スポーツ栄養サポートの実際と課題 福岡大学スポーツ科学部教授 小清水 孝子 スポーツフィールドにおけるリハビリテーションと 外傷予防対策 日本福祉大学健康科学部リハビリテーション 学科理学療法学専攻教授 小林 寛和 野球肘の治療戦略 - 手術的治療を中心に - 横浜南共済病院スポーツ整形外科 部長 山崎 哲也 参加費 1,000円	共催 宮崎県スポーツ学会 久光製薬(株) 後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986	3	10 11 21 23 57 61
第 15回宮崎県眼科医会講習会 10月 25日(土) 16 10~ 19 10 KITEN	緑内障症例で遭遇する角膜障害のマネージメント(仮) 広島大学医歯薬保健学研究院 視覚病態学教室准教授 近間 泰一郎 斜視・弱視・近視の最新治療(仮) 川崎医科大学眼科学 2 教授 長谷部 聡 参加費 3,000円(開業医・勤務医) 2,000円(公的医療機関勤務医)	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015	3	36

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
皮膚の日講演会 10月 26日(日) 14 00~ 15 30 宮日会館	ヒトイボウイルス( 150種以上 )によるいろいろな 病気 - 普通のイボから呼吸器乳頭腫症 , 子宮頸癌まで - 青木皮膚科 出盛 允啓	主催 宮崎県皮膚科医会 共催 日本臨床皮膚科医会 後援 日本医師会他 ( 連絡先 ) 青木皮膚科 ☎ 0985-23-2011	1.5	1 2 9
宮崎ワクチンフォ ーラム 2014 10月 27日(月) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	定期接種化ワクチン( 仮 ) 宮崎県福祉保健部健康増進課長 瀧口 俊一 肺炎の予防と治療 埼玉医科大学病院長 金澤 實	共催 宮崎県内科医会 M SD (株) ☎ 080-5479-2752 後援 宮崎県医師会	1.5	11 13 28
第 16回宮崎「感染と 免疫」研究会 10月 28日(火) 19 15~ 20 45 宮崎観光ホテル	GRNXによるスイッチ療法が有用であったANCA関 連血管炎合併肺炎の 1 例 宮崎大学医学部免疫感染病態学分野 助教 久保 和義 クレブシエラ肺血症により眼内炎 , 肝膿瘍 , 硬膜外 膿瘍を来した 1 例 同 神経呼吸内分泌代謝学分野 宮後 冨 肺非結核性抗酸菌症 近畿中央胸部疾患センター 呼吸器内科統括診療部長 鈴木 克洋	共催 宮崎「感染と免疫」研究会 大正富山医薬品(株) ☎ 092-451-7884	1.5	28 46 73

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
延岡医学会学術 講演会 10月31日(金) 19 00~ 20 45 ホテルメリージュ 延岡	心臓手術の術後管理におけるトルバプタンの使用と その効果(仮) 県立延岡病院心臓血管外科 医長 児嶋 一司 水利尿薬トルバプタンの今まで、現在、そしてこれ から(仮) 日本大学医学部内科学系循環器学 助教 加藤 真帆人	共催 延岡医学会 大塚製薬(株) ☎ 0985-24-2287 後援 延岡内科医会	1.5	13 24 45
江南医療連携の会 特別講演会 11月1日(土) 14 30~ 16 00 宮日会館	在宅で過ごす人生最後の日々 藤元総合病院在宅医療センター長 馬見塚 勝郎 天寿と延命：人工栄養で生きるということを考える 東京大学人文社会系研究科死生学・応用倫理 センター特任准教授 会田 薫子	主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575	1.5	4
平成 26年度日本 医師会社保指導者 講習会復講 11月1日(土) 15 00~ 17 00 県医師会館(TV会 議 都城・日向・ 児湯・西都・南那 珂・西諸・西臼杵)	痛みのマネジメント 潤和会記念病院疼痛・麻酔管理センター長 宇野 武司 宮崎大学医学部附属病院麻酔科 講師 田中 信彦 同 整形外科 黒木 修司	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	1.5	60 61
平成 26年度宮崎 県外科医会秋期 講演会 11月7日(金) 19 00~ 20 20 県医師会館	外科栄養からNST活動へ - 静脈経腸栄養ガイドライン 2014を含めて - 宮崎江南病院長 白尾 一定	主催 宮崎県外科医会 ☎ 0985-22-5118	1	1 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
都城地区整形外科 医会学術講演会 11月 7日(金) 19 00~ 20 30 都 城 ロ イ ヤ ル ホ テ ル	小児整形外科診療のポイント 福岡市立こども病院感染症センター 整形外科長 高村 和幸 参加費 1,000円	共催 都城地区整形外科医会 ☎ 0986-22-0711 日本臓器製薬(株)	1.5	57 62 72
宮崎県整形外科 医会研修会 11月 8日(土) 16 00~ 18 00 県医師会館	労災審査時のレセプト診断書カルテの問題点 宮崎県医師会労災部会労災診療指導委員 小林 邦雄	共催 宮崎県整形外科医会 ☎ 0985-22-5118	1	3 7
高次脳機能障がい 講演会 11月 10日(月) 19 00~ 21 00 県医師会館 (TV会議 都城, 延岡,日向,児湯, 西都,南那珂,西 諸,西臼杵)	リハビリテーション医療におけるアパシーとその 対策(仮) 九州労災病院門司メディカルセンター 院長 蜂須賀 研二	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 9 29 78
第 92回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 11月 11日(火) 18 45~ 20 20 宮崎観光ホテル	心臓血管外科における最新治療(仮) 埼玉医科大学国際医療センター心臓病センター 心臓血管外科診療科長 新浪 博士	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 テルモ(株)	1.5	2 9 15

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 11月 11日(火) 19 00~ 20 30 都 城 ロ イ ヤ ル ホ テ ル	排尿障害治療について - BPH / OAB をどう診るか? - 古賀総合病院泌尿器科部長 南口 尚紀	共催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 キッセイ薬品工業(株)	1.5	65 66 67
第 2 回ひむか感染 症研究会 11月 12日(水) 19 00~ 20 30 ホ テ ル ベ ル フ ォ ー ト 日 向	最近の呼吸器感染症, 疾患の見分け方(仮) 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌代謝学分野 助教 松元 信弘 参加費 500円	共催 ひむか感染症研究会 大日本住友薬品(株) ☎ 0985-29-5855 後援 日向市東臼杵郡医師会 他	1	11 13
宮崎県医師会産業 医研修会 11月 13日(木) 19 00~ 21 00 延岡地域職業訓練 センター	(3)健康管理 職場における糖尿病対策 都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 11 76 82
第 1 回実地医家の ための心エコー図 勉強会 11月 14日(金) 19 00~ 20 30 野村循環器内科ク リニック	心エコー図診断についてのレクチャー 宮崎市郡医師会病院検査科長 渡邊 望	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 興和創薬(株)	1.5	2 9 15

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 41回 宮崎大腸 肛門疾患研究会 11月 14日(金) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	大腸癌に対する術前化学療法の効果 潤和会記念病院外科部長 佛坂 正幸 炎症性腸疾患に対する外科治療の位置づけ 横浜市立市民病院副病院長 杉田 昭	共催 宮崎大腸肛門疾患研究会 武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763 天藤製薬(株)	1.5	54 55 大腸
宮崎県医師会産業 医研修会 11月 15日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館(TV会 議 都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸)	(5)健康保持増進 健康管理, リスク管理, 労務管理, 経費節約, 健保 財政改善から考える職場の喫煙対策 産業医科大学産業生態科学研究所 健康開発科学研究室教授 大和 浩 (1)総論 産業医に必要な疫学統計 自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門教授 中村 好一 基礎研修の後期研修会, 生涯研修の専門研修会 4 単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	4	3 5 8 11 12 13 82 84
第 189回 宮崎県 泌尿器科医会学術 講演会 11月 20日(木) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	去勢抵抗性前立腺癌の治療戦略をよみなおす 久留米大学医学部医学科泌尿器科学講座 教授 井川 掌	共催 宮崎県泌尿器科医会 武田薬品工業(株) (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎ 0985-85-2968	1.5	9 15 84
第 8 回はまゆう整 形外科セミナー 11月 29日(土) 17 30~ 18 30 宮崎観光ホテル	夢の実現へ - 骨関節研究を通して - 宮崎大学医学部整形外科講師 関本 朝久 骨腫瘍の画像所見 - x線像と組織像を中心に - あかえ整形外科医院長 黒木 隆男	主催 はまゆう整形外科セミナー (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	77 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 69回宮崎整形外 科懇話会 12月 6 日(土) 18 00~ 19 00 県医師会館	頻度の高い足部・足関節の障害：病期分類から見た 治療の実際 東京警察病院整形外科部長 原口 直樹 参加費 1,000円	主催 宮崎県整形外科懇話会 共催 宮崎県整形外科医会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	57 61
宮崎県医師会産業 医研修会 12月 11日(木) 14 00~ 16 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 人間関係 - 自分の境界線 - 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 6 8 13

## 日本医師会生涯教育カリキュラム ( 2009 )

カリキュラムコード ( 略称 CC )

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師 - 患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害 (うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常 (下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療 (漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	84 その他

## お知らせ

(公益財団法人 労災保険情報センターより)

労災指定医療機関の皆さまへ

### RICとの契約のご案内

- ご契約をしていただくと -

労災診療費の「支払保留」や「不支給」の問題が解消されます。

#### 「立替払契約」

請求した労災診療費の同額が同月内に無利子で立替払いされます。

#### 「支援(保険・互助)契約」

《保険》 請求した労災診療費が不支給とされた場合に他保険との差額を保険金として受け取れます。

《互助》 経営改善のための長期運転資金を低利で借りられるほか、労災保険に関する図書の配付や労災診療費算定実務研修会に費用負担なしで参加できます。

* 契約金・会費は不要ですが、支援契約の費用として、初診(被災労働者の1回目)の労災診療費請求時に1,800円(内訳:保険料1,439円,互助費用361円)をいただいております。

資料請求・問い合わせ先

公益財団法人 労災保険情報センター(略称:RIC) 労災医療部

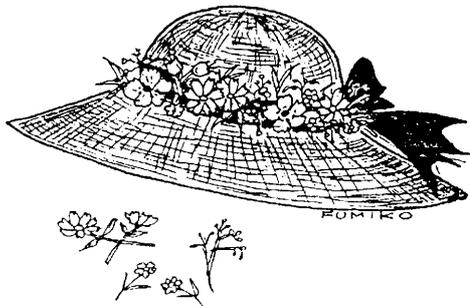
〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル

TEL 03-5684-5516

RICは、労災指定医療機関の皆さまをご支援する公益財団法人です。

## お知らせ

### カット、イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。是非、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

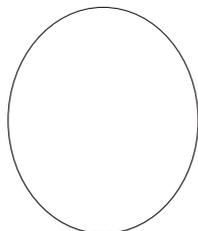
宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023

宮崎市和知川原1丁目101

genko@m-iyazakim.ed.or.jp

## 診療メモ



## 救急救命士の処置範囲拡大について

宮崎大学医学部病態解析医学講座救急・災害医学分野 おち落 あい合 ひで秀 のぶ信

今回の救急救命士処置範囲拡大へ至るまでの経緯について

救急救命士制度は、心肺機能停止傷病者における救命効果の向上を図ることを目的として平成 3 年に制定されました。この制度により救急救命士は医師の具体的な指示のもとで以下の 3 つの医療行為、すなわち 食道閉鎖式エアウェイ及びラリングアルマスクを用いた気道確保、

乳酸加リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液、半自動式除細動器を用いた電氣的除細動が施行可能となりました。平成 15 年になると救急救命士の処置範囲拡大が進み、まず医師の包括的指示下に電氣的除細動が可能となり、翌 16 年には気管挿管、そして平成 18 年には薬剤(アドレナリン)の投与、さらに平成 2 年からはアナフィラキシーを生じている傷病者に対し傷病者の持っているエピペンを使用したアドレナリンの投与ができるようになりました。もちろん救急救命士が行ったこれらの処置については必ずメディカルコントロール(以下 M C )検証会議で検証し、質を担保することが条件であることは言うまでもありません。これらの処置範囲拡大により、心肺機能停止傷病者の蘇生率も上昇傾向を認めました。しかしながらこれら救急救命士の特定行為は、アナフィラキシーに対するエピペンの使用以外は心肺機能停止傷病者に対してのみ許可されたものであり、たとえ交通事

故で内臓破裂による出血性ショックを生じ救急搬送中に心停止しそうな傷病者に対してであっても、心臓が停止するまでは輸液を開始することはできませんでした。このような問題もあり、さらに救急救命士の処置範囲拡大を図ったかどうかとの意見もうけて、厚生労働省が設置している「救急救命士の業務のあり方に関する検討会」において、血糖測定と低血糖発作症例に対するブドウ糖溶液の投与、重症喘息患者における吸入 刺激薬の使用、心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実施、の 3 行為について処置拡大に向けて平成 22 年から 3 か年実証が行われてきました。その結果、「血糖測定と低血糖発作症例に対するブドウ糖溶液の投与」ならびに「心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実施」の 2 つにおいて、薬剤投与の認定を受けている救急救命士が合計 24 時間(1 時間限は 5 分)の追加講習を受け、地域 M C 協議会の承認を受けることによりこれら 2 つの処置の施行が可能とする厚生労働省医政局指導課長の通知が平成 26 年 1 月 31 日付で発令されました。それをうけて全国各地でこれらの処置範囲拡大に対する追加講習が行われるようになりました。

今回処置範囲拡大が認められた特定行為について

救急救命士の特定行為は、必ずプロトコールと呼ばれる地域 M C 協議会が作成した手順書に

したがって行われることが義務づけられています。「血糖測定と低血糖発作症例に対するブドウ糖溶液の投与」については、意識障害を来した傷病者に対し低血糖発作が原因として疑われ、かつ、くも膜下出血の疑いを除外した上で初めて血糖測定が可能となります。そして血糖値が 50mg/dl未満の場合には電話でMC担当医師にその旨を報告し、特定行為の指示を得た上で静脈路確保を行い、50%ブドウ糖溶液 40mlを静脈内投与することとなっています。一方、「心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実施」については、増悪するショックである可能性が高いと判断された場合もしくはクラッシュ症候群を疑うかそれに至る可能性が高いと判断された場合においてのみ適応となり、やはり電話でMC担当の医師に報告し指示を得た上で静脈路確保を行い、輸液を開始することとなっています。ただし、心原性ショックが疑われる傷病者に対して輸液を行うとかえって病態が進行する可能性がありますので、心原性ショックが疑われる場合、輸液は禁止になっています。いずれも特定行為施行の最終判断はMC担当医師の判断になります。

今回の救急救命士処置範囲拡大に対する追加講習の内容と認定までの流れについて

救急救命士が今回認められた2つの新たな処置を施行するためには、まず救急救命士自身が低血糖発作ならびにショックの病態を熟知しておく必要があります。特にショックにおいては、ショックの早期認知や心原性ショックの除外など病院外では医師でもしばしば困難と思われる事項についても十分教育を受ける必要がありま

す。よって、先にも述べましたように今回の処置範囲拡大においては、追加講習が準備されています。具体的には、まず追加講習受講希望者(薬剤投与認定を受けている救急救命士)に対し講習前確認試験(筆記試験)が施行され、これに合格した者のみが講習に進めることとなっています。その後4日間にわたり低血糖並びにショックの病態と治療に関する講義、人形を用いた血糖測定、静脈路確保、ブドウ糖溶液の投与などの手技の修得、シナリオシミュレーション等を合計24時限行います。その後筆記ならびに実技試験を施行し、試験に合格した者を講習修了者として宮崎県MC協議会へ報告し、そこで承認されれば晴れて新たな2つの特定行為ができるようになるという流れになります。

宮崎県における追加講習の現状

宮崎県においては、本年5月に都城地区MC協議会の主催で、都城市消防局薬剤投与認定救急救命士を対象に追加講習会が施行されました。また本年9月18日からは、宮崎市消防局薬剤投与認定救急救命士18名を対象に追加講習会が行われる予定となっています。さらに本年10月には、宮崎県消防学校において宮崎県全体の薬剤投与認定救急救命士を対象に追加講習会が行われる予定となっています。

今後の展望について

このように救急救命士の業務の高度化並びに処置範囲拡大が進むことによって、これまで病院までもたなかった命をつなぐことができ、ひいてはより多くの傷病者の救命率の向上につながっていくものと期待されます。

## 宮大医学部学生のページ

### 宮崎大学学園祭 第 10回清花祭～祭飾絢美～

日時 平成 26年 11月 15日(土)・16日(日)

会場 宮崎大学 木花キャンパス・清武キャンパス

今年も上記の通り学園祭を行うことが決定いたしましたのでお知らせします。今年のスローガンは『祭飾絢美』です。祭りを飾り、きらびやかで美しいものにしようという願いが込められています。内容もすばらしいものになるよう一丸となって学祭を盛り上げていきたいと思っております！様々なイベント・企画がありますが、その内容の一部をご紹介します。

#### 解剖・病理企画

この企画は、体の構造や身近な病気について理解を深め、ご自身の健康について考えてもらうことを目的としています。実物の病理標本や模型、またお子様にも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。是非足を運んでいただき、医学や人体の面白さに触れてみて下さい！

#### 神輿企画

今年の清花祭も 11月 14日にみこしパレードを行います。午後 1時に栄町街区公園を出発し、デパート前、橋通り、県庁前を練り歩きます。今年も大学内の各団体がユニークな神輿を作り上げ 元気に行進をしますのでお時間のある方は是非いらしてください。

#### こども企画

清花祭に遊びに来てくれた子どもたちを招待して、ミニ運動会を開催します。子どもたちや保護者の方々と一緒に楽しい時間を過ごしなが、医学部を身近に感じてもらえるような企画にしたいと思っております。多くの子どもたちの参加をお待ちしております。

#### 年齢企画

毎年来場者が 1,000人超え、リピーター続出の、地域の方々からも愛される人気企画です。脳・肌・血管・体力といった体の状態を「年齢」という数字を通して測定することで、自身の健康に関心を持っていただきたいと思っております。皆様のご来場をお待ちしております。

#### Café de aroma

『人の心を癒す優しさ』を伝える療法として医療現場に取り入れられつつあるメディカルアロマセラピー。これについての展示と、実際にアロマオイルを使ったハンドマッサージ、ハーブティーとお菓子の提供

を通して“人を癒す”ことを考えようという企画です。ぜひ、日常とは少し違った『癒しの空間』をご堪能ください。

#### 患者さんの気持ち 看護師さんの気持ち お医者さんの気持ち

本企画は、医療にかかわる多くの方々から「気持ち」を短文形式で募集し、大学祭当日に冊子として無料配布したり、展示を行ったりしています。患者さんや医療者の「気持ち」を知っていただくことで、相互の信頼関係が深まり、よりよい医療の発展につながると考えております。

## 宮崎大学清花祭医学部特別講演会

### 医療と文学 2つの天職

海堂 尊 氏

196年 千葉県生まれ。千葉大学医学部卒。千葉大学第一外科学教室に入局後、病理医を経て、現在は独立行政法人放射線医学総合研究所重粒子医科学センター Ai情報研究推進室室長。オートプシー・イメージング(Ai)の概念を提唱し、2003年、Ai学会を創設。現在は名誉理事。2006年『チーム・バチスタの栄光』で第四回このミステリーがすごい!大賞を受賞し作家デビュー。宝島社のシリーズは累計1,000万冊を突破している。最新作は『アクアマリンの神殿』(KADOKAWA)。

上記のように医師として作家としてご活躍されている海堂尊先生に、なぜ医師と作家の双方で活躍される道をお選びになったのか、その人生について講演していただきます。

日 時 2014年11月3日(月・祝)  
開場 12:00 開演 13:00

会 場 清武町文化会館 半九ホール

主 催 宮崎大学清花祭清武キャンパス  
実行委員会

共 催 清武町文化会館  
MRT 宮崎放送, 宮崎大学医学部後援会

入場料 無料

#### 応募方法

チケットは配布しませんので、観覧をご希望の方は当日直接会場までお越し下さい。なお、席の確保をご希望の方は、「氏名・住所・年齢・電話番号・ご希望の席ならびに位置」を明記の上、次のいずれかの方法にてご連絡ください。できる限りご希望に添える形で席をご用意いたします。

はがき：〒889-1692 宮崎市清武町木原5200 清花祭実行委員会

電子メール：責任者 原澤 (tomohiro_harasawa@med.miyazaki-u.ac.jp)宛

#### 【お問い合わせ】

宮崎大学清花祭特別講演会

企画責任者 原澤 ☎ 080-3988-7197

E-mail tomohiro_harasawa@med.miyazaki-u.ac.jp

## お知らせ

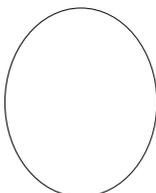
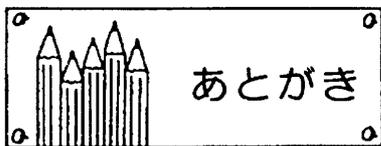
県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会地域医療課までご連絡ください。(TEL 0985-22-5118)

送付日	文 書 名
8月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刑務共済組合組合員被扶養者証の無効について(通知)</li> <li>・ 「血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(基本方針)第八に定める血液製剤代替医薬品について」の一部改正について</li> <li>・ 「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の一部改正について</li> </ul>
8月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新人看護職員研修の国民向けPRの周知について</li> </ul>
8月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電波環境協議会による「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」について(通知)</li> </ul>
8月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年度健康増進普及月間の実施について</li> <li>・ 平成26年8月15日からの大雨災害及び8月19日からの大雨災害による被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> <li>・ 平成26年台風第12号及び第1号による大雨等による被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> <li>・ 電波環境協議会による「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」について</li> <li>・ 「受結率に係る報告書」に係る周知について(依頼)</li> <li>・ 「病原微生物検出情報」の送付について</li> </ul>
8月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚生労働省共済組合員証の無効について</li> </ul>
9月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デング熱の国内感染症例について(第一報)</li> <li>・ デング熱の国内感染症例について(第一報)</li> <li>・ 「平成26年度介護報酬改定検証・研究調査への協力依頼について(再協力依頼)」の送付について</li> <li>・ 「若年性認知症生活実態調査」に関する協力依頼について</li> </ul>
9月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デング熱の国内感染症例について(第二報)</li> <li>・ セアカゴケグモ抗毒素について</li> <li>・ 組合員証等のカード化等に伴う事務の取扱いについての一部改正について(国家公務員共済組合)</li> </ul>
9月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院・診療所及び社会福祉施設に対する腰痛予防対策講習会の周知依頼について</li> <li>・ 「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について</li> <li>・ デング熱の国内感染症例について(第三報・第四報)</li> <li>・ デング熱の国内感染症例について(第三報)</li> <li>・ デング熱の国内感染症例について(第四報)</li> <li>・ 平成26年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について(送付)</li> </ul>
9月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会報告書について</li> </ul>

送付日	文 書 名
9月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己負担が2割となる「一定以上所有者」の判定基準案について</li> <li>デング熱の国内感染症例について(第五報)</li> <li>デング熱の国内感染症例について(第六報)</li> </ul>
9月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>共済組合員証の亡失についてのお知らせ</li> </ul>
9月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いに係る情報提供について</li> </ul>
9月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「道路交通法に基づく一定の症状を呈する病気等にある者を診断した医師から公安委員会への任意の届出ガイドライン」等のご送付について</li> <li>デング熱の国内感染症例について(第七報)及び代々木公園周辺以外の場所におけるデング熱の国内感染症例について</li> </ul>
9月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その9)」及び平成26年度診療報酬改定関連通知の一部訂正についての送付について</li> <li>代々木公園周辺以外の場所におけるデング熱の国内感染症例について</li> <li>蚊のデングウイルス保有調査の結果について(第一報)</li> <li>デング熱の国内感染症例について(第八報)及び代々木公園周辺以外の場所におけるデング熱の国内感染症例について</li> <li>デング熱に関する緊急対策会議(厚生労働省平成26年9月6日開催)の概要について</li> <li>デング熱の国内感染症例について(第九報)及び代々木公園周辺以外の場所におけるデング熱の国内感染症例について</li> <li>「第3期介護給付適正化計画に関する指針について」の送付について</li> <li>平成26年度認知症ケア研修会～認知症短期集中リハビリテーション研修(医師対象)～【西日本会場】のご案内(情報提供)</li> <li>平成26年度ジェネリック医薬品軽減額通知の実施について</li> <li>平成26年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて</li> <li>平成26年度日本医師会医療事故防止研修会の開催について</li> </ul>
9月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>セアカゴケグモ抗毒素について</li> </ul>
9月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>リツキサン注10mg/mlの薬事法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正について</li> <li>検査料の点数の取扱いについて</li> <li>医療事故情報収集等事業平成25年年報の公表について(通知)</li> <li>平成26年度結核予防週間の実施について</li> <li>デング熱の国内感染症例について(第十一,十二報)及び蚊のデングウイルス保有調査の結果について(第三報)</li> <li>各がん検診の精度管理要領について(通知)</li> <li>「PMDAからの医薬品適正使用のお願い」(アンジオテンシン受容体拮抗剤(ARB)及びアンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害剤の妊婦・胎児への影響について)の公表について</li> <li>支援給付の支給決定がされている中国残留邦人等に対する本人確認証交付実施要領の改正について(通知)</li> <li>公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて</li> </ul>

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	b	d	c	c	a	e	e	b, e	d, e



雨が多くて晴れの日が少ない、いつもとは違う夏が終わった。しかし、子どもの宿題が8月3日になっても終わっていないのは例年通りだった。今まで自分がさんざん失敗してきた分、子どもに同じ苦勞をさせたくないと言を酸っぱくして言ってきたが、やはり今年も同じだった。

できれば苦勞もせずすいすいと人生を渡ってほしいが、大変だったことや苦しかったことから学ぶことは多いと思う。開業した今になって、過去のうまくいったことよりも、その逆のことの方が今に生きていると強く実感する。患者さんより先に自分が潰れてしまうんじゃないかということは何度もあったが、今になれば懐かしい思い出になっている。同年輩以上の先生たちも同じか、もっと大変な思いをされたと思う。

「鉄は熱いうちに打て」、「若い時の苦勞は買ってでもしろ、昔の人はよく言ったものである。若い医師にも、なりたてはややほやのまだ体力と記憶力があるうちにがむしゃらに頑張っているいろいろ経験して欲しい。長いキャリアの中で一番大事な期間なのではないだろうか。つくづく医局在籍時(でなくてもよいのだが他の皆と働いている時)の経験こそが財産だなーと思う。

子どもたちも、失敗を自分の経験として生かして、いつか自立、自活できる強さを身につけて欲しいが、来年こそは夏らしい夏と、8月30日までに宿題を終わらせて1回くらいは気持ちよい夏休みの終わりを体験して欲しい。成功体験のない親からの願いである。(西田)

* * * * *

中学時代、丸坊主の野球少年で本なんてほとんど読んでなかった私ですが、姉の本棚にあった「赤毛のアン」にはまってしまい、気がつけば「アン」の娘リラ」までのアン・シリーズ全8冊を読破していました。ちょうどその頃、映画「赤毛のアン」も公開され(淡路島にも映画館はあるんです)、アン役のミーガン・フォロースのファンになっていた頃もありました。あれから3年。NHK連続テレビ小説「花子とアン」はそんな中学時代を思い出させてくれたドラマでした。

(沖田)

* * *

食欲の深まる秋になって来ました。今日は勤め先の看護師さんに、「先生！おめでたですか？」とのこと。私「あはは、よく言われます」と伝えると、「えっ？自腹ですか先生？」とのお返事が(笑)。ここまで来るとさすがに痩せなくてはと思うのですが、なかなか思うようにはいかない秋なのでした。ところで、大昔の誤報 捏造？ 報道でどこかの新聞が大騒動になっておりますが、ペンは剣より強しとはまさにこのことだなあをつくづく思いました。私も編集に携わる以上、細心の注意を払わねばと思います。(大野)

* * *

医家芸術展に行ってきました。もともと芸術に疎く、広報委員にならなければ行くことはなかったでしょうが、会場に入ってみると予想以上に大作揃い。よく知った先生の意外な一面をみることもでき、子ども達と楽しみながら鑑賞しました。絵も書も全く心得がないため、写真なら？と調べてインターネットで調べると、写真愛好家のお勧めカメラの値段に驚愕。さらに調べれば調べるほど写真の世界は奥深い。来年も鑑賞する側になりそうです。(岡本)

* * *

読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋。秋は何をしていても過ごしやすい季節です。インスタントコーヒーを飲みながら読書にふけるのは、我ながら安上がりで抑えた趣味ですが、近所の飲み屋で松茸を贅沢に使った(お金のかかる)コースを出していると聞き、財布のヒモを緩めてしまいたい気にもなっております。とはいえ最近夏休みの不摂生の名残が、下腹が出てきたようなので、まずはランニングをしなければならぬようです。スポーツの秋、頑張ってください。(川上)

* * *

「趣味は読書です」と言えるほど、本を読んでいるとは言い難いですが、推理小説、特に、医学+推理ものである「チームパチスタの栄光」の海堂尊さんの本は大好きです。

今年も宮崎大学の学園祭の時期が近づいてまいりました。例年、特別講演会を開催させていただいておりますが、今年は講師として海堂尊さんにお越しいただけることになりました。86、87ページには学園祭の宣伝を掲載させていただいておりますので、ご一読いただけますと幸いです。(枝元)

* * *

東京に住む知り合いの医師ががんを患いました。見舞いに行って初めて知ったのですが都会では自由診療を行うクリニックが数多くあります。がん関係では放射線療法、免疫療法、血清中蛋白マーカー検査、遺伝子検査、抗がん剤感受性検査等です。しかしその中には効果が証明されていないもの、一財産使い果たすものがあります。規制改革会議が混合診療の全面解禁を主張したのに対し、日医は患者保護のため効果と安全性が確認された治療に限るとの姿勢を貫いた理由が理解できました。(佐々木)

* * *

## 今月のトピックス

### 日州医談 医師資格証について

初めて医師免許証を手にしたとき、意外に簡素な書状だったので少しがっかりした記憶があります。顔写真がある訳でもなく、当時のコピー機でも簡単に偽造できそうでした。実際、「偽医者」騒動は後を絶ちません。そこで登場したのが日医電子認証センター発行のICチップを内蔵した医師資格証です。身分証としてだけでなくオフラインでもオンラインでも活用できるそうです。実物を拝見しましたが、デザインもスマートで「イイ感じ」です。荒木早苗常任理事からのご紹介です。 4ページ

### 新春随想 原稿募集

恒例の新春随想の原稿募集を開始します。「もうそんな季節」の感もありますが、月日が流れるのは早いものです。日頃感じておられる様々な事柄を、年初にあたりあらためて随筆にしてお寄せください。特に還暦を迎えられる1955年生まれの先生方、多数のご応募をお待ちしております。 45ページ

### 診療メモ 救急救命士の処置範囲拡大について

救急救命士制度は平成3年に制定されたそうですから、もう20年以上の歴史があるようです。当初は心肺機能停止状態傷病者に対してのみに、限定された医療行為が認められただけでした。その後の処置範囲拡大でもアナフィラキシーに対して傷病者自身のエピペンを使用する行為以外は、心肺機能停止傷病者のみが対象とされてきました。その意味で、今年1月に発令された「低血糖に対するブドウ糖投与」と、「ショック状態での輸液の実施」はこれまでと一線を画するようです。資格認定など安全を確保するための諸制度について、宮大附属病院救命救急センター長 落合秀信先生に解説していただきました。 84ページ

日 州 医 事 第 782号 (平成 26年 10月号) (毎月 1回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.iyazakimed.or.jp/> E-mail office@iyazakimed.or.jp

代表者 河 野 雅 行

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副委員長 釜付 弘志、沖田 和久

委 員 篠原 立大、上園 繁弘、原尾 拓朗、上條 苑子

大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、川上 勲、枝元 真人

担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春、久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)